

教育等の振興に関する施策の大綱の主な施策の進捗状況等について

(その4)

基本方向 6～10

令和元年9月

高知県

<b>基本方向 6</b>	私立学校の振興を図る
<b>対策 (1)</b>	教育環境の維持・向上に向けた支援

## 1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>本県の学校教育における私立学校の果たす役割に鑑み、学校経営の健全性を高め、教育環境の維持・向上を図るため、運営費に対する助成を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費に対する助成（私学・大学支援課）</li> </ul>	<p><b>ア 運営費に対する助成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問や校長会を活用して予算や補助内容を説明し、補助金について周知した。</li> <li>・私立学校運営費補助金（S51～） <ul style="list-style-type: none"> <li>H29 年度補助実績 3,184,127 千円（9 法人）</li> <li>H30 年度補助実績 3,116,391 千円（9 法人）</li> <li>R元年度補助見込 3,189,037 千円（10 法人）</li> </ul> </li> <li>・私立特別支援学校運営費補助金（S51～） <ul style="list-style-type: none"> <li>H28 年度補助実績 57,175 千円（1 法人）</li> <li>H29 年度補助実績 54,713 千円（1 法人）</li> <li>H30 年度補助実績 50,945 千円（1 法人）</li> <li>R元年度補助見込 51,507 千円（1 法人）</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>私立学校の教育力強化や教育課題の解決を図るため、特色ある学校づくりに対する助成を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある学校づくりに対する助成（私学・大学支援課）</li> </ul>	<p><b>ア 特色ある学校作りに対する助成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問や校長会を活用して予算や補助内容を説明し、補助金について周知した。</li> <li>・教育力強化推進事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>教育力強化推進事業（H22～） <ul style="list-style-type: none"> <li>H29 年度補助実績 74,118 千円（9 法人）</li> <li>H30 年度補助実績 78,470 千円（9 法人）</li> <li>※教育力強化推進事業費補助金について、H30 年度より、事業対象に「教員の負担軽減に係る取組」を追加</li> <li>R元年度補助見込 79,500 千円（9 法人）</li> </ul> </li> <li>教育改革推進事業（H11～） <ul style="list-style-type: none"> <li>H29 年度補助実績 36,708 千円（10 法人）</li> <li>H30 年度補助実績 39,601 千円（10 法人）</li> <li>R元年度補助見込 59,980 千円（11 法人）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【取組③】</b></p> <p>学校の防災機能・安全機能の強化を図り、児童生徒が安心して教育を受けられる環境を整備するため、耐震補強や学校施設の整備に対する助成を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強や学校施設の設備に対する助成（私学・大学支援課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強工事の実施：1 棟（R1）</li> </ul>	<p><b>ア 耐震補強や学校施設の設備に対する助成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問や校長会を活用して予算や補助内容を説明し、補助金について周知した。</li> <li>・私立学校耐震化促進事業費補助金（H20～） <ul style="list-style-type: none"> <li>H29 年度補助実績 7,407 千円（1 施設 1 法人）</li> <li>H30 年度補助実績 20,319 千円（1 施設 1 法人）</li> <li>R元年度補助見込 11,808 千円（1 施設 1 法人）</li> </ul> </li> <li>※国庫補助事業の上乗せ補助</li> <li>・私立学校施設耐震対策支援事業費補助金（H15～） <ul style="list-style-type: none"> <li>H29 年度補助実績 3,317 千円（2 施設 1 法人）</li> <li>H30 年度補助実績 4,578 千円（1 施設 1 法人）</li> <li>※H30 年度で事業終了</li> </ul> </li> </ul>

**対策  
の  
概要**

学校経営の健全性を高め、教育環境の維持・向上を図るための支援を行うとともに、教育の国際化やキャリア教育の推進など社会の変化に応じた教育の改革や児童生徒の学力向上、教員の指導力向上、個別支援が必要な生徒への対応など学校が抱える課題を解決し教育力を強化しようとする取組を支援します。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校の運営に対する支援について周知し、理解が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して私立学校に対する助成を実施する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の特色ある取組への支援について周知し、理解が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して私立学校に対する助成を実施する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化に向けた取組が進められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して私立学校に対する助成を実施する。</li> </ul>

基本方向 6 私立学校の振興を図る

対策 (2) 私立学校に通う児童生徒の保護者の経済的負担の軽減

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況																		
<p><b>【取組①】</b></p> <p>全ての生徒が安心して教育を受けられるよう、高等学校等の授業料に充てる高等学校等就学支援金や、教科書、教材費など授業料以外の教育費に充てる高校生等奨学給付金の支給を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校等就学支援金等の支給 (私学・大学支援課)</li> </ul>	<p>ア 高等学校等就学支援金等の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校訪問や校長会を活用して予算や補助内容を説明し、補助金等について周知した。</li> <li>私立高等学校就学支援金 (S22～)           <table border="0"> <tr> <td>H29 年度補助実績</td> <td>771,410 千円</td> <td>(対象者数 4,305 人)</td> </tr> <tr> <td>H30 年度補助実績</td> <td>723,647 千円</td> <td>(対象者数 4,066 人)</td> </tr> <tr> <td>R 元年度補助見込</td> <td>757,271 千円</td> <td>(対象者数 4,224 人)</td> </tr> </table> </li> <li>私立高校生等奨学給付金 (H26～)           <table border="0"> <tr> <td>H29 年度給付実績</td> <td>59,288 千円</td> <td>(給付者数 650 人)</td> </tr> <tr> <td>H30 年度給付実績</td> <td>56,364 千円</td> <td>(給付者数 605 人)</td> </tr> <tr> <td>R 元年度給付見込</td> <td>63,094 千円</td> <td>(給付者数 629 人)</td> </tr> </table> </li> </ul>	H29 年度補助実績	771,410 千円	(対象者数 4,305 人)	H30 年度補助実績	723,647 千円	(対象者数 4,066 人)	R 元年度補助見込	757,271 千円	(対象者数 4,224 人)	H29 年度給付実績	59,288 千円	(給付者数 650 人)	H30 年度給付実績	56,364 千円	(給付者数 605 人)	R 元年度給付見込	63,094 千円	(給付者数 629 人)
H29 年度補助実績	771,410 千円	(対象者数 4,305 人)																	
H30 年度補助実績	723,647 千円	(対象者数 4,066 人)																	
R 元年度補助見込	757,271 千円	(対象者数 4,224 人)																	
H29 年度給付実績	59,288 千円	(給付者数 650 人)																	
H30 年度給付実績	56,364 千円	(給付者数 605 人)																	
R 元年度給付見込	63,094 千円	(給付者数 629 人)																	
<p><b>【取組②】</b></p> <p>児童生徒の修学機会を確保するため、授業料の軽減措置を行う私立学校に対し助成を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業料の軽減措置を行う私立学校に対する助成 (私学・大学支援課)</li> </ul>	<p>ア 授業料の軽減措置を行う私立学校に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校訪問や校長会を活用して予算や補助内容を説明し、補助金等について周知した。</li> <li>私立学校授業料減免補助金 (H12～)           <table border="0"> <tr> <td>H29 年度補助実績</td> <td>102,798 千円</td> <td>(対象者数 1,420 人)</td> </tr> <tr> <td>H30 年度補助実績</td> <td>92,421 千円</td> <td>(対象者数 1,283 人)</td> </tr> <tr> <td>R 元年度補助見込</td> <td>116,346 千円</td> <td>(対象者数 1,457 人)</td> </tr> </table> </li> <li>私立中学校等修学支援実証事業費補助金 (H29～)           <table border="0"> <tr> <td>H29 年度補助実績</td> <td>41,426 千円</td> <td>(対象者数 437 人)</td> </tr> <tr> <td>H30 年度補助実績</td> <td>17,775 千円</td> <td>(対象者数 157 人)</td> </tr> <tr> <td>R 元年度補助見込</td> <td>31,145 千円</td> <td>(対象者数 293 人)</td> </tr> </table> </li> </ul>	H29 年度補助実績	102,798 千円	(対象者数 1,420 人)	H30 年度補助実績	92,421 千円	(対象者数 1,283 人)	R 元年度補助見込	116,346 千円	(対象者数 1,457 人)	H29 年度補助実績	41,426 千円	(対象者数 437 人)	H30 年度補助実績	17,775 千円	(対象者数 157 人)	R 元年度補助見込	31,145 千円	(対象者数 293 人)
H29 年度補助実績	102,798 千円	(対象者数 1,420 人)																	
H30 年度補助実績	92,421 千円	(対象者数 1,283 人)																	
R 元年度補助見込	116,346 千円	(対象者数 1,457 人)																	
H29 年度補助実績	41,426 千円	(対象者数 437 人)																	
H30 年度補助実績	17,775 千円	(対象者数 157 人)																	
R 元年度補助見込	31,145 千円	(対象者数 293 人)																	

**対策  
の  
概要**

経済的に厳しい環境の児童生徒が安心して教育を受けられるよう、経済的負担の軽減を図ります。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**

- ・家庭における教育費の負担軽減につながる支援について周知し、理解が図られた。
- ・高等学校等就学支援金の支給により経済的負担の軽減を図った。

- ・継続して助成を実施する。

**【課題】**

- ・所得による区分によっては、制度を活用しても授業料の負担がある家庭がある。

- ・家庭における教育費の負担軽減につながる支援について周知し、理解が図られた。

- ・継続して助成を実施する。

基本方向 7

社会の期待に応えるため大学の魅力を高める

対策 (1)

地域活性化の核となる大学づくりの推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>産学官民連携センターを核として、県内のみならず、県外からもより多くの人材や知恵を呼び込み、テーマごとのワークショップやさまざまな講座を開催するなど、産学官民の交流の機会を積極的に設けます。また、この交流の中で生まれたさまざまなアイデアを、具体的な事業プランとして磨き上げていくことを支援することで、新たな事業展開へとつなげていきます。</p> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続講座の参加者数：130人</li> </ul>	<p>ア 産学官民連携に関する相談窓口をココブラに常設し、様々な相談に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の設置(月～金、8:30～17:15)</li> <li>・事業創出アドバイザーの委嘱(4名)</li> </ul> <p>イ 県内外の企業や高等教育機関等の英知を結集し、県内でのイノベーションの創出を図るため、産学官民がともに学び合い、交流する場として、連続講座やワークショップ等を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーズ・研究内容紹介 【計画：15回程度/年】 5/15,5/29,6/5,7/3,7/17,8/28 計6回開催、延べ160名参加(予定)</li> <li>・経営者トーク 【計画：10回/年】 5/31,6/21,7/26,8/30 4回開催、130名参加(予定)</li> <li>・企業訪問キャラバン 【計画：10社/年】 7/12,8/26 2社訪問</li> <li>・ビジネストレンドセミナー 【計画：5回/年】 6/25,7/18,7/25 3回開催、122名参加</li> <li>・連続講座 【計画：7講座開催】6講座開催、100名参加(予定) 8/23～ (全6回) エグゼクティブコース 7/29～ (全8回) 目指せ！弥太郎 商人塾 6/13～ (全5回) ナリワイセミナー【東部集客塾】 5/28～6/19 (全2回×2日程) ナリワイセミナー【幡多稼ごう塾】 8/5～ (全7回) 社内起業家(イントラプレナー) 育成支援講座 8/30～ (全4回) 事業戦略フォローアップ講座</li> </ul> <p>ウ 産学官民の交流の取組等から生まれたアイデア等の事業化に向けたココブラビジネスチャレンジサポート等による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ココブラビジネスチャレンジサポート 8件着手</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>大学の学生や教員が積極的に地域に入り、住民、NPO、県や市町村の職員などと連携することで、地域とのつながりを深め、産業振興の取組をはじめ、健康長寿県づくり、中山間地域対策、南海トラフ地震対策など、地域における課題の解決や活性化に協働で取り組む活動を積極的に推進します。</p> <p>県立大学等支援費(私学・大学支援課)</p>	<p>ア 県立大学における城学共生の取組(R元)</p> <p>①地域学実習Ⅰ 県内の12地域で1～4回生330名が履修登録(実習テーマ(全22テーマ))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市中心部の災害の歴史を考察し、地域の防災訓練への参加を通して地域課題を学ぶ(高知市)</li> <li>・高知県唯一の難島(沖の島と隼来島)で活動した「保健婦(現保健師)」の足跡を訪ね地域課題を学ぶ(宿毛市)</li> <li>・少子高齢化が進む地域で伝統的な踊りを守る意義について考える(佐川町) など</li> </ul> <p>②地域学実習Ⅱ 県内の各地域で2～4回生430名が履修登録(実習テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で行っている味噌づくりの継承と、地域への波及効果(佐川町)</li> <li>・長浜地区の活性化と情報発信～神田祭り(どろんご祭り)から見る長浜地区の良さ改善点～(高知市)</li> <li>・高齢化が進む神池地区での健康寿命延伸活動～セルフケア能力の向上に向けて～(香美市) など</li> </ul> <p>③城学共生実習 下記3つのテーマで3～4回生10名が履修登録(実習テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みませ祭り強化(パワーアップ)と地域の通年の賑わい創出に向けたアイデアとコンセプトの検討と提案</li> <li>・県大立志塾の企画運営(高知市)</li> </ul> <p>④立志社中 令和元年度の「立志社中」プロジェクトに採択された8チーム、のべ323人の学生が県内地域で地域活動に参画</p> <p>⑤立志のたまご 令和元年度に新設した「立志のたまご」プロジェクトに採択された2チーム、のべ13人の学生が来年度の立志社中への申請に向けて、地域に出向き、地域課題の認識に取り組む</p>

対策  
の  
概要

地方では、産業集積が進んでいる都市部と異なり、自社で技術的な研究を進める大手企業が少なく、新たな技術開発等を行っていくためには、大学が有する研究開発力を活用するなど、知の集積が極めて重要です。このため、産学官民連携センターを核として、県内外の産学官民の交流と連携を更に深め、イノベーションの創出を図ります。また、地域のニーズに応える人材育成を行うとともに、大学における「地（知）の拠点」機能の充実・強化を図り、産業の振興や地域課題の解決に、地域住民、NPO、県や市町村などと連携・協働して取り組む活動を積極的に推進します。

## C 取組の成果・課題

## A 今後の取組の方向

## 【KPIの状況】

- ・連続講座の参加者数

## &lt;成果&gt;

連続講座の参加者数：100名（6講座）

## &lt;課題&gt;

- ・産学官民の交流と連携の更なる促進のため、各セミナーや講座への参加者を確保することが肝要。
- ・セミナーや講座等において出てきたビジネスアイデアやプランについて、ココブラビジネスチャレンジサポート等を活用して、事業化に向けた支援を継続的に行っていくことが重要。

- ・ホームページ、SNS、メルマガでの情報発信のほか、関係機関等への呼びかけ等、積極的な広報活動を継続的に行う。

- ・サポートが必要な案件についてはココブラビジネスチャレンジサポートの活用や関係機関へ繋ぐこと等により、事業化に向けた支援を実施。

## 【成果】

- ・全学挙げて域学共生に取り組んでおり、地域に入り、地域の方々と協働で取り組む活動を積極的に推進している。

## 【課題】

- ・昨年度末に第1号が誕生した地域共生推進士との卒業後のネットワークづくりについて検討し実行する。

- ・県立大学では平成27年度から域学共生の取組をスタートしており、引き続き、地域の課題解決や活性化に向けて、県や市町村をはじめとする関係機関との連携強化を図りながら、学生と教員が地域に入り、地域とのつながりを深める活動を一層推進していく。

**基本方向 7**

社会の期待に応えるため大学の魅力を高める

**対策 (2)**

「学び続ける」社会の実現に向けた学び直しの機能の強化

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組①】**

「夜間主コース」の設置や社会人入試制度の導入により、働きながら学べる機能を拡充するとともに、公開講座や県民開放授業の開催、履修証明プログラム、科目等履修制度の充実によって、社会人のニーズに応じた多様な学習プログラムを提供するなど、大学における生涯学習、社会人教育の機能の更なる充実・強化を図ります。

県立大学等支援費（私学・大学支援課）

・高知県立大学文化学部夜間主コースの入学者の状況

R元年度	定員	入学者数
推薦	10人	5人
社会人	20人	25人
3年時編入	3人	2人
合計	33人	32人

・公開講座等の開催状況（R元）

高知県立大学： 787人（受講者延べ人数）  
高知工科大学： 62人（同上）

**【取組②】**

産学官民連携センターにおいて、ビジネスの基礎から応用・実践力まで、受講者のニーズやレベルに応じて体系的に身に付けられる産学官民連携によるビジネス研修「土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐MBA）」の充実・強化を図ります。

<取組のKPI>

R元受講者数（延べ）4,000人

- ア 体験講座や気軽に相談できる場を設ける「おためしMBA」の開催
  - ・5/9 高知会場（オーテピア）（経営戦略、マーケティング、会計）40人
  - ・5/11 高知会場（ココブラ）（経営戦略、マーケティング、会計、「目指せ！弥太郎 商人塾」体験、「土佐経営塾」体験）95人
  - ・5/15 東部会場（田野町ふれあいセンター）（経営入門）11人
  - ・5/16 幡多会場（四万十市中央公民館）（会計財務）16人
  - ・7/23 高幡会場（須崎市市民文化会館）（会計財務）8人
  - ・7/28～7/29 高知会場（ココブラ）（財務会計、事業マネジメント・業務改善、「エグゼクティブコース」体験）57人

イ 本科・実科の各講座の募集開始（4月～）

ウ 各講座の開講

【本科】・経営戦略コース（7/3～8/29）：110人

- ・マーケティング・商品企画コース（5/27～7/20）：135人
- ・会計コース（6/5～6/28）：159人
- ・財務戦略コース（8/22～10/25）：109人
- ・事業マネジメント・業務改善コース（8/27～10/5）：58人
- ・スキルアップセミナー（7/30～10/30）：113人
- ・ビジネストレンドセミナー（6/25～1/17）：122人

【実科】・エグゼクティブコース（8/23～1/23）：16人

- ・目指せ！弥太郎商人塾（7/29～3/13）：12人
- ・ナリワイセミナー「東部集客塾」（6/13～9/2）：17人
- ・ナリワイセミナー「幡多稼ごう塾」（5/28～6/19）：29人
- ・社内起業家（イントラプレナー）育成支援講座（8/5～12/4）：12人
- ・事業戦略フォローアップ講座（8/30～2/21）：8人

【専科】1,848人

<R元年度バージョンアップのポイント>

- 情報発信の強化・学びを体験できる機会の拡充
  - ・企業等への個別訪問の強化、関係機関と連携したPRの強化
  - ・体験講座や気軽に相談できる場を設ける「おためしMBA」の拡充
- 課題解決と事業成長につながる学びの場を充実
  - ・事業戦略フォローアップ講座の実施と企業等のニーズに応じた講座への誘導
  - ・社内起業家育成支援講座等でのアフターフォローの強化、新しい事業創出をテーマとした事業創出コースの新設
  - ・県内企業の生産性向上を図り事業を成長につなげるため事業マネジメント・業務改善コースを設置（事業管理コースからリニューアル）
- 地域での学びの場の拡大
  - ・学び慣れない個人・小規模事業者向けに、学びの意欲を喚起するための実践的な講座「ナリワイセミナー」を東部地域、幡多地域で開催

【参考】受講者数 H28実績（延べ）3,006人

H29実績（延べ）4,313人

H30実績（延べ）5,955人



**対策  
の  
概要**

誰もが学び続け、夢や志に挑戦できる社会の実現に向け、大学における学び直しの機能を拡充し、社会人の学びを支援します。また、地域や産業を支える人づくりに向け、起業を目指す人材養成のためのビジネス研修をはじめ、社会人や企業のニーズに応じた実践的・専門的な教育プログラムの充実・強化を図ります。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**
**【成果】**

- ・夜間主コースに多くの社会人学生が入学しており、働きながら学べる場として機能している。
- ・公開講座や履修証明プログラム、リカレント講座等を活発に開催することで、生涯学習、社会人教育の機能が強化されている。

**【課題】**

- ・広報活動の充実

- ・引き続き広報活動を積極的に行い、認知度を上げていく。

**【KPIの状況】**

土佐 MBA 受講申込者数 4,000 人/令和元年度

**<成果>**

- ・今までの受講申込者数（今後実施予定の講座の申込者含む）3,070 人
- ・おためし MBA については、多くの今まで土佐 MBA を受講したことのない方に受講していただくことができ、多くの方の本講座申込につながった。
- ・地域での学びの場として新たに実施した「ナリワイセミナー」は、東部地域、幅多地域とも多くの方に受講いただき、地域での学びの機会につながった。

**<課題>**

- ・情報発信の強化

**●情報発信の強化**

- 関係機関と連携した PR を強化・継続

**●講座の実施**

- ・財務戦略コース (8/22~10/25)
- ・事業マネジメント・業務改善コース (8/27~10/5)
- ・事業創出コース (10/1~11/16)
- ・組織・人的資源マネジメントコース (10/23~12/13)
- ・スキルアップセミナー (7/30~10/30)
- ・ビジネストレンドセミナー (6/25~1/17)
- ・エグゼクティブコース (8/23~1/23)
- ・土佐経営塾(9/15~11/24)
- ・目指せ！弥太郎商人塾 (7/29~3/13)
- ・ナリワイセミナー「東部集客塾」(6/13~9/2)
- ・社内起業家（イントラプレナー）育成支援講座 (8/5~12/4)
- ・事業戦略フォローアップ講座 (8/30~2/21)

**基本方向 7**

社会の期待に応えるため大学の魅力を高める

**対策 (3)**

若者の県内定着の促進

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組①】**

県内高校生の進学先の拡充を目的とする高知県立大学文化学部等の拡充※1や、高知工科大学経済・マネジメント学群の設置※2を機に、県内大学への地元出身入学者を更に増やすとともに、県外からの学生も呼び込むことを目指します。このため、高等学校との連携を一層強化するとともに、大学のオープンキャンパスや出前講座等の広報により県内大学の先進的な教育活動等を積極的に発信します。

- ※1 高知県立大学文化学部の入学定員  
【(～H26) 80人 → (H27～) 150人】
- ※2 高知工科大学経済・マネジメント学群の入学定員 (H26 まではマネジメント学部)  
【(～H26) 100人 → (H27～) 160人】

<具体的な事業>

県立大学等支援費 (私学・大学支援課)

・高知県立大学文化学部 (夜間主コースを除く) 及び高知工科大学経済・マネジメント学群の入学者の状況

H31 年度	定員	入学者数
県立大文化学部 (夜間主コース除く)	120人	124人 (47人)
工科大経済・マネジメント学群	160人	166人 (74人)
合計	280人	290人 (121人)

※ ( ) 内は、県内出身者数

**【取組②】**

県内大学卒業者の県内就職を促進するため、県内企業に限定した就職セミナーの開催や県内企業に関する就職情報の発信等を行うとともに、高知大学、高知県立大学、高知工科大学、高知学園短期大学及び高知工業高等専門学校の県内5つの高等教育機関と、産業界、県等が連携・協働し、地域の雇用創出や大学生等の地元就職率の向上に取り組めます。

<具体的な事業>

県立大学等支援費 (私学・大学支援課)

・高知県立大学及び高知工科大学は、県内企業に限定した就職セミナーを実施している。

<開催実績 (R元)>

- 高知工科大 5回 (参加延べ人数 14人)
- 高知県立大 6回 (同上 17人)

(参考: H30 実績)

※高知県立大学では県内の企業約20社を直接訪問するなどし、県内就職率の向上や高知県内の就職状況の現状把握のための関係構築及び情報収集を行った。また、その企業に関するだけでなく、仕事に対する意識向上を目的としたバスツアー「高知の会社の魅力を見る・知る・感じる企業訪問ツアー」を実施し、10名の学生が参加した。

※高知工科大学では、通年(3月以降)受け付ける形式の個別会社説明会において、県内企業6社に13名が参加した。12月には県内製造業有志(6社)による業会研究会を香美キャンパスで開催し、15名が参加した。また、県内企業の協力による交流会や就活対策講座を11月から2月にかけて新規に実施し、15社に88名が接触した。さらに、経済・マネジメント学群では「経営システム特別講義」の配当を1年次から3年次に変更し、就活を控えた学生72名が県内企業15社の経営者から講話を聴く機会とした。

※県立大学と工科大学の共催企画

①業界研究セミナー

- 参加企業数 延べ113社 (永国寺 CP: 61社、香美 CP: 52社)
- 参加学生数 139人 (県立大: 40人、工科大: 99人)

②公務員業務セミナー (永国寺 CP で2回開催)

- 参加団体数 延べ28団体 (12月: 10団体、2月: 8団体)
- 参加学生数 60人 (県立大: 35人、工科大: 25人)

<県内高等教育機関の地元就職率>

	H30	H29	H28
高知大	27.2%	25.8%	29.3%
高知県立大	41.9%	33.3%	39.6%
高知工科大	18.3%	15.7%	19.8%
高知学園短大	84.9%	71.1%	86.1%
高知高専	18.3%	18.9%	10.0%

**対策  
の  
概要**

若者の県外流出を防止し、地域活性化の中心となる「ひと」の地方への集積を図るため、県内高校から県内大学への進学者を増やすとともに、県内大学卒業者の県内就職を促進します。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**
**【成果】**

- 両学部（学群）とも、平成 27 年度の定員増とともに、県内高校からの入学者が増加傾向にある。

- 引き続き、県内高校との連携を強化するなど、県内高校からの進学者増加に取り組む。

**【成果】**

- 県内企業に限定した就職セミナーを着実に実施している。

**【課題】**

- 県内志向の学生には県内企業限定のセミナーは効果があるが、県外志向（県内との併願者含む）の学生を惹きつけるための効果的な情報発信等の対策が課題である。
- 売り手市場という状況もあり、より好待遇である県外企業等を選択する学生が多くなる傾向が出てきているので、こうした面に対する検討が必要である。

- 今後も県内企業に限定した就職セミナーを開催し、学生に向けて、県内企業に関する就職状況等を積極的に発信していくと同時に、県内 5 つの高等教育機関と、産業界、県等が連携・協働して地域の雇用創出や大学生等の地元就職率の向上に取り組んでいく。

**基本方向 8**

生涯にわたって学び続ける環境をつくる

**対策 (1)**

生涯学習の推進体制の再構築

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>社会教育関係者の専門的な資質・能力の向上を目指した研修を充実させるとともに、社会教育の指導的立場にある社会教育主事の養成を推進し、地域の学びを支える人材の育成を図ります。また、PTA をはじめとする社会教育関係団体の活動を支援するとともに、社会教育関係団体が多様な実践事例に学ぶ機会として交流会を開催することなどにより、関係者の輪を広げます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育推進人材育成事業（生涯学習課）</li> <li>・社会教育活動活性化支援事業（生涯学習課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村社会教育担当者研修会各回の参加者数：             <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回（6月）70名以上</li> <li>第2回（8月）30名以上</li> <li>第3回（2月）30名以上</li> <li>（計 延べ130名以上）</li> </ul> </li> <li>・社会教育実践交流会の参加者数：270名以上</li> </ul>	<p>ア 社会教育関係者の専門的な資質・能力向上のための研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村社会教育担当者の研修会の開催【計画：3回】 2回開催</li> </ul> <p>イ 社会教育主事の養成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香川大学で開催される社会教育主事講習への派遣 2名（7月）</li> </ul> <p>ウ PTAをはじめとする社会教育関係団体の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の強化及び活動の支援 7団体</li> <li>・PTAが開催する協議会等の企画等に対する助言・指導及び事務支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回保幼小中高PTA連合体連絡協議会開催</li> <li>中国・四国地区公民館研究集会出席</li> <li>高知県小中学校PTA連合会と高知県小中学校長会との懇談会出席</li> </ul> </li> </ul> <p>エ 社会教育関係団体の交流の輪の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育実践交流会（1月開催予定）</li> <li>社会教育団体から選出された実行委員による実行委員会の開催【計画：3回】 2回開催</li> <li>企画委員会の不定期開催（3回程度）予定</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>県民の多様な生涯学習ニーズに対応し、県民の学びを次の学びへとつなげていくため、市町村や民間・大学等と連携し、生涯学習に関する情報提供機能の強化を図ります。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習活性化推進事業（生涯学習課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習支援センターへの相談件数：150件 前年同月比で検証</li> </ul>	<p>ア 生涯学習に関する情報提供機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人高知県生涯学習支援センターに、市町村等が行う生涯学習講座の情報提供や相談業務、視聴覚ライブラリーの管理等を委託し実施</li> <li>・県内で開催される生涯学習講座の情報を一元的に提供するポータルサイトの構築</li> <li>プロポーザルにより委託業者を選定するとともに、サイトに掲載する講座の実施機関との連携体制構築を図る</li> </ul>

**2 第2期高知県教育振興基本計画における指標の状況**

	H30	R元	R元目標値
県・市町村教育委員会及び公民館（類似施設含む）における社会教育学級・講座数（教育委員会所管分）	4,976	6,250	5,000以上

対策  
の  
概要

現に社会教育を担っている関係者の持てる力を十分に生かしていただけるよう努めるとともに、これまで必ずしも社会教育に携わってこなかった人材の掘り起こしも図ることにより、生涯学習の推進体制を再構築していきます。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組

【KPIの状況】

- ・市町村社会教育担当者研修会の各回の参加者数  
第1回研修会(5月)参加者 94名  
研修会全体の肯定的評価:75%  
社会教育について知識が深まり、新しい学びがあった:98%  
講演の内容が参考になった:100%

<成果>

- ・研修会を高知県社会教育委員連絡協議会と同時開催することで、参加者の増加及び近年、出席のなかった(あるいは少ない)市町の出席につなげることができた。  
H30:50名→R1:94名

<課題>

- ・社会教育の活性化に向けて、市町村の社会教育担当者、県・市町村の社会教育委員間のネットワークづくりを進める必要がある。

- ・社会教育主事等研修の内容を充実するとともに、高知県社会教育連絡協議会との同時開催などを通じて、市町村の社会教育担当者及び県・市町村の社会教育委員間のネットワークを構築する。

- ・社会教育実践交流会を、社会教育関係団体の代表者による実行委員会が企画・運営を主体的に担う方式で実施する。

- ・愛媛大学、国立教育政策研究所社会教育実践センターへ開催される社会教育主事講習への派遣(2名予定)

【KPIの状況】

- ・生涯学習支援センターへの相談件数 39件:6月末時点(H30:38件)

<成果>

- ・相談件数は順調に推移している。

<課題>

- ・県民の様々なニーズに対応したポータルサイトを構築するためには、民間・大学など多様な関係機関と連携する必要がある。
- ・R2年度からのポータルサイト運用開始により、大幅に拡大する情報提供・相談業務への対応が必要。

- ・県民の多様な相談ニーズにマッチする講座紹介などが円滑に行えるよう体制の強化を検討する。

基本方向 8

生涯にわたって学び続ける環境をつくる

対策 (2)

新図書館等複合施設を核とした県民の読書環境・情報環境の充実

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組

D これまでの取組状況

【取組①】

県民の知的ニーズに応えるとともに、課題解決を支援するための図書館機能のさらなる充実に向け、司書の専門性の向上や資料の充実、関係機関と連携したサービスの提供等に取り組みます。

<具体的な事業>

- ・図書館活動事業（県立図書館）

<取組の KPI>

- ・レファレンス件数：延べ 30,000 件

ア 研修等の充実による司書の専門性の向上

- ・外部講師等による研修 バスファインダー研修など 2 回（7/未現在）
- ・県外研修への派遣 日本図書館協会主催研修への派遣など 4 回（7/未現在）

イ 課題解決支援機能の充実に向けた専門機関や行政機関との関係づくり

- ・アウトリーチ専門職員による専門機関訪問・打ち合わせなど 245 件（7/未現在）
- ・オーテピアの行政支援サービスの説明 33 回（7/未現在）
- ・イベント、展示、セミナー・相談会等の共同実施 52 回（うち出前図書館 14 回（7/未現在））
- ・まちゼミ講座「津波からのサバイバル！」開催（5/4、5/11）参加者：計 60 人
- ・こどもの読書週間関連行事（5/7）参加者：中高生 40 人
- ・開館 1 周年記念行事の開催（7/24 7/28 8/27）
- ・県内の市町村立図書館（図書室）と連携した啓発展示 1 回

ウ 資料の充実及びデータベースや電子書籍による情報の提供

- ・資料の収集状況（7/未現在）※寄贈は除く。  
一般図書：20,182 冊（県立分 13,304 冊※移動図書館含む）  
雑誌：843 タイトル（県立分 569 タイトル）
- ・データベースの整備  
24 種類（高知新聞データベース等）延べ利用件数：1,032 回（7/未現在）
- ・電子書籍の導入（H29/10/18 サービス開始）（7/未現在）  
累計登録者数 1,141 名、延べ閲覧回数 1,317 回、延べ貸出回数 499 回
- ・オーテピアを便利に使う、「オーテピアアプリ」の利用開始（7/4～）
- ・図書展示等 38 テーマ

【取組②】

住む場所にかかわらず、県民が等しく、必要な図書館サービスが受けられるよう、市町村立図書館等への協力貸出や巡回訪問、県立学校等への団体貸出のほか、図書館職員等を対象とした研修を実施するなど、市町村立図書館等に対する支援を行います。

また、図書館が実施している様々なサービスについて、ホームページやブログなどを活用し、周知を図ります。

<具体的な事業>

- ・図書館活動事業（県立図書館）

<取組の KPI>

- ・市町村立図書館等への年間総協力貸出冊数：32,000 冊以上

ア 市町村立図書館等への協力貸出

- ・協力貸出冊数：10,309 冊（7/未現在）
- ・高等学校への貸出 12 校（実数）259 冊（延べ）

イ 市町村立図書館等の業務への助言・サポート

- ・巡回訪問：32 市町村 延べ 63 回（7/未現在）  
うち高知県図書館振興計画に基づく市町村教育長等訪問 15 市町村 15 回
- ・業務支援：改修する図書室レイアウトのための職員派遣（仁淀川町）
- ・児童書選定支援サービス利用者 29 人（7/未現在）

ウ 市町村職員等を対象とした研修の実施

- ・図書館サービス基礎研修：総合編（再掲）4/23（参加者数：30 名）
- ・どこでも研修の実施 香美市立図書館（8/22）仁淀教育事務所（8/21）
- ・ブロック別研修の実施 6/10 日高村 6/17 宿毛市 6/24 安田町

エ 県立学校等との連携

- ・現状とニーズを把握するための学校訪問 3 校
- ・高知リハビリテーション専門職大学図書館との相互協力に関する協定書締結 4/26

オ ホームページ等を通じたオーテピア高知図書館提供サービスの周知

- ・機関紙「コトノハ Vol.1」の発行、配布（年 3 回発行）
- ・図書館見学等 <館内ツアー> 7 回 28 人 <視察> 6 団体 119 人  
<見学> 保幼小特支/学校 44 校 2,725 人 一般 10 団体 208 人
- ・各種団体等が実施する会議等への講師派遣等
- ・フェイスブック（37 件）やブログ（3 件）による情報発信
- ・メールマガジン（図書館通信）の配信 4 回

対策の概要

「オーテピア高知図書館サービス計画」に基づき、図書館の貸出し等に加えて、関係機関と連携・協働しながら課題解決を支援するサービスや取組をはじめ、社会状況や県民のニーズの変化等に応じた様々なサービスを実施します。また、県民がそれぞれの地域で読書し、役立つ情報が得られるよう、市町村立図書館や県立学校等の状況に応じた支援の充実・強化のほか、オーテピア高知図書館の行うサービスの周知などに取り組みます。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組

【KPIの状況】

- レファレンス件数 14,446 件 (7/未現在)

<成果>

- オーテピア来館者 100 万人達成セレモニー 7/2
- オーテピア開館後の状況 (7/未現在)
  - 来館者数: 351,212 人 (累計 1,098,605 人)
  - 個人貸出冊数: 366,869 冊 (累計 1,081,339 冊)
  - 利用登録件数: 5,919 件 (累計 25,977 件)
  - (※共通利用カード新規登録者数 (個人))
- レファレンス件数は順調で目標達成の見込み。
- 県職員や専門機関職員等を対象とした研修等でレファレンス等のサービスを説明したことを契機に、連携したイベント等の開催に関する相談が増えつつある。

<課題>

- 利用者から寄せられる多様なレファレンスに応え、質の高いサービスを提供していくため、司書の専門性をさらに高めていく必要がある。
- 各サービスを利用者や専門機関が効率的かつ効果的に利用できるよう、更なる周知を図る必要がある。
- 課題解決支援に携わる専門機関や行政機関と連携・協力しながらサービスを提供するため、連携出来ていない専門機関等へのアウトリーチが必要である。
- 暮らしや仕事の中で生じる様々な課題を解決するための資料が必要であり、また、必要な情報を探しやすくする工夫が必要である。

- ア 研修等の充実による司書の専門性の向上
- レファレンス研修等司書の専門性アップ研修
  - 県外研修への派遣
  - 外部講師招聘研修 (対象: 図書館職員)

- イ 課題解決支援機能の充実に向けた専門機関や行政機関との関係づくり
- 専門機関、行政機関とのイベントやセミナー・相談会等の共同実施
  - 行政機関等へのサービスの周知
  - ビブリオバトルの開催 (11/24)
  - 周辺関連施設や商店街等と連携したイベントの開催

- ウ 資料の充実及びデータベースや電子書籍による情報の提供
- 地域や住民の自立的な判断に役立つ多様な資料の充実と必要な情報にアクセスしやすい環境 (ブックリスト、パスファインダー) の充実
  - 利用者等を対象とした図書館活用講座等の実施
  - 「図書館活用講座」 現在調整中
  - 「データベース講習会」 時期等は未定

【KPIの状況】

- 市町村立図書館等への年間総協力貸出冊数 10,309 冊 (7/未現在)

<成果>

- 企画展示用資料の収集、貸出しセット (5セット) の作成
- 高等学校との連携について検討するため、県立学校長会等でオーテピア高知図書館のサービスを説明するとともに、現状とニーズを把握するため学校を訪問 (3校)
- 県立学校の利用促進を目的に、県立学校マニュアルを作成し配布した。(4月)
- 図書館の建替等を検討する市町村立図書館が増えているため、巡回訪問等での助言、サポートが増えている。

<課題>

- オーテピア高知図書館が提供する様々なサービス (市町村立図書館を通じた資料の貸出や、レファレンス・サービス、リクエストなど) について県民への周知が不十分である。
- 市町村立図書館等において、住民のニーズに対応できる資料が十分に整備できていない。
- 職員体制の関係もあり、市町村立図書館等の職員が研修を受講できる機会が少ない。
- 県立学校との連携が十分ではなく、学校のニーズに沿った資料が提供できていない。

- ア 市町村立図書館等への協力貸出
- 課題解決に関する資料のセット貸し
  - 市町村立図書館における企画展示実施のための資料の収集・貸出
  - 学校図書館のニーズに沿った団体貸出

- イ 市町村立図書館等の業務への助言・サポート
- 市町村立図書館等においても課題解決型サービスが行えるよう支援
  - ※レファレンスへの協力、企画展示等へのサポート
  - オーテピアが実施した出前図書館、イベントの事例紹介を行い、市町村立図書館等のサービス企画を実施

- 巡回訪問等による図書館の充実に向けた、情報提供や働きかけを実施

- ウ 市町村職員等を対象とした研修の実施
- ブロック別研修

- エ ホームページ等を通じたオーテピア高知図書館提供サービスの周知

- サービスチラシの作成・配布
- ガイドブックの作成
- 多様な広報媒体の活用や様々な機会を活用した情報発信により、幅広い層に図書館サービスを周知
- 各種団体等が実施する会議等への講師派遣
- 連携機関の広報ツールの活用
- メールマガジンの配信 (月 1 回)
- 周辺公共施設と連携した広報

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組③】</b></p> <p>子どもに小さい頃から読書に親しむ習慣を身に付けてもらうため、「高知県子ども読書活動推進計画」に基づき、乳幼児期から本に触れる機会の提供や、読書の魅力を発信する読書ボランティアの養成などを行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書活動推進事業（生涯学習課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書ボランティア養成講座参加者数           <ul style="list-style-type: none"> <li>地区別講座：80名</li> <li>全県講座：100名</li> <li>出張講座：30名</li> </ul> </li> </ul>	<p>ア 高知県子ども読書活動推進計画における施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3次高知県子ども読書活動推進委員会による施策の推進の検討</li> <li>「子ども司書」指導者養成研修の実施【計画：いの町、四万十市、香南市】</li> </ul> <p>イ 乳幼児期から本に触れる機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブックスタート応援事業推薦図書リスト「絵本おはなし・宝箱」作成・配付（7月）</li> </ul> <p>ウ 読書ボランティアの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書ボランティア養成講座【計画：地区別講座6回、全県講座1回、出張講座3回】</li> </ul>
<p><b>【取組④】</b></p> <p>県内全域の図書館振興に向け、市町村教育長との協議や「高知県市町村図書館等振興協議会」の開催など「高知県図書館振興計画」に基づく取組を着実に進めます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書活動推進事業（生涯学習課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村図書館等の振興策の策定</li> <li>※R2年度より実施を想定</li> </ul>	<p>ア 「高知県市町村図書館等振興協議会」における振興策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村訪問による図書館の現状、取組状況に関する情報収集（5～7月）           <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問：14市町村</li> </ul> </li> <li>協議会の開催【計画：年間2回】           <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 市町村図書館等の現状、取組状況を踏まえた振興策の方向性を検討</li> </ul> </li> </ul>

## 2 第2期高知県教育振興基本計画における指標の状況

	H30	R元	R元目標値
県民一人当たりの図書貸出冊数	4.4冊	冊	4.2冊以上
市町村への協力貸出冊数	22,245冊	冊	32,000冊以上



C 取組の成果・課題	A 今後の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書ボランティア講座：9月以降実施予定</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書環境の厳しい地域において読書活動の推進を図るため読書活動を推進する人材を育成する必要がある。</li> <li>読書ボランティア養成講座の参加者確保に向けて、幅広い周知が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書ボランティア養成講座について、オーテピア高知図書館や県内の読書ボランティア団体と連携した幅広い周知により参加者を確保し、地域で読書活動の推進を担う人材を育成する。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村図書館等の振興策の策定方向性の決定（7月）、具体的な振興策案を検討（10月予定）</li> </ul> <p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高知県市町村図書館等振興協議会において「図書館振興に向けたビジョンづくりを支援する取組」や「中長期的な専門人材育成やボランティア育成を支援する取組」、「集落活動センターや学校図書室の活用を促す取組」等振興策の方向性が示された。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方向性に基づく実効性のある振興策の検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回協議会（10月）を経て、本年度内に予算も含めた振興策を策定する。</li> </ul>

	H30	R元	R元目標値
オーテピア高知図書館におけるレファレンス件数	22,100件	14,446件 (7月末時点)	30,000件以上

**基本方向 8** 生涯にわたって学び続ける環境をつくる

**対策 (3)** 子どもも大人も学び合う地域づくり

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組①】**

地域学校協働本部や放課後子ども教室に多くの地域住民が参画し、学習活動への支援にとどまらず、子どもたちの地域行事や清掃活動への参加などさまざまな体験活動を支援するなどの取組を充実させることにより、地域住民と子どもたちとの交流を深め、地域コミュニティの活性化につなげます。このような取組を進める上で地域において中核的な役割を担う地域コーディネーターの育成・確保を図ります。

**<具体的な事業>**

- ・地域学校協働活動推進事業（生涯学習課）
- ・新・放課後子ども総合プラン推進事業（生涯学習課）

**<取組のKPI>**

- ・地域学校協働本部における年間活動回数の設定：25,000回以上

**ア** 地域学校協働本部・放課後子ども教室における多くの地域住民が参画する多様な体験活動への支援の充実

- ・学び場人材バンク登録者の発掘と利用案内  
学び場人材バンク登録数（7月末現在）：計 388 名（H30.3 末現在：380 名）  
マッチング数（7月末）：延べ 98 名（H30 年間：320 名）  
学校訪問等回数（7月末）：延べ 182 回（H30 年間：延べ 785 回）

【計画】年間活動回数（R元、6月末現在）

**<R元活動計画回数>**

	回数 (延)	実施校数(実施率)	
		小学校	中学校
1 学習支援	10,446	115(77.7%)	53(66.3%)
うち放課後学習	4,151	43(29.1%)	32(40.0%)
2 学びによるまちづくり	322	32(21.6%)	9(11.3%)
3 地域課題解決型学習	467	36(24.3%)	13(16.3%)
4 地域人材育成	256	30(20.3%)	12(15.0%)
5 郷土学習	867	83(56.1%)	30(37.5%)
6 部活動指導	1,897	26(17.6%)	31(38.8%)
7 学校周辺環境整備	1,391	105(70.9%)	47(58.8%)
8 その他(登下校安全指導・学校行事等)	11,479	113(76.4%)	50(62.5%)
計	27,125	-	-

**イ** 地域コーディネーターの育成・確保

- ・地域コーディネーター研修会  
(第1回：6/17 91名、満足度 80%、第2回：8/30 満足度等集計中)

**【取組②】**

より多く、より幅広い層の地域住民や団体等により主体的に学校における子どもたちの育ちに関わっていただくため、定期的に地域住民等と学校とが話し合う場を学校区ごとに設置し、地域の方々により深く子どもたちの現状を知っていただくとともに、地域の声を学校の活動に反映させる形をつくることで、「地域学校協働本部」の活動を、地域と学校がパートナーとして子どもたちを見守り育てる「高知県版地域学校協働本部」への展開を推進します。

**<具体的な事業>**

- ・地域学校協働活動事業（生涯学習課）

**<取組のKPI>**

- ・高知県版地域学校協働本部の仕組みを構築した小・中学校の割合：40%以上

**ア** 地域学校協働本部の活動を「高知県版地域学校協働本部」の活動へと展開する取組

- ・高知県版地域学校協働本部における取組

(参考)「高知県版地域学校協働本部」の要件

- ① 充実した地域学校協働活動の実施  
(4種類以上の地域学校協働活動を、年間計 100 日以上実施)
- ② 学校と地域との定期的な協議の場の確保  
(年度初め及び学期末など、年間概ね 4 回以上の開催)
- ③ 民生・児童委員の参画による見守り体制の強化  
(本部活動の機会等を捉えた学校との情報共有)

- ・学校地域連携推進担当指導主事（教育事務所、高知市教委）による支援  
高知県版地域学校協働本部実施校の取組支援：61 回
- ・市町村・関係機関等との協議・協力要請、個別訪問等による啓発  
市町村教育長会議、地区別校長会、県民生委員児童委員協議会連合会総会、市町村教育長訪問等訪問等回数：20 回
- ・高知県版地域学校協働本部実施校の数（7月末現在）：54 校

対策  
の  
概要

地域全体で子どもを見守り育てる体制をつくることにより、子どもも大人も学び合う地域づくりを進めます。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組

【KPI の状況】

- ・地域学校協働本部における年間活動予定回数の設定  
R 元年度実施計画 27,125 回 (6 月末現在)

<成果>

- ・地域学校協働本部の年間活動予定回数が 100 日 (100 回) 以上の箇所が増えてきており、活動内容の充実につながるものと期待される。

<課題>

- ・様々な体験活動が行われ、また、年間活動日数についても 100 日 (100 回) 以上取り組んでいる学校・地域が半数を超える一方、50 回未満のところも多くあり、取組状況には差がある。
- ・引き続き地域コーディネーター人材の確保や育成を行っていく必要がある。

- ・活動に参画する学校や地域の方を対象とした研修会を実施する。

〔地域学校協働活動研修会  
(全体会 1 回・ブロック別 3 箇所×各 1 回)  
地域コーディネーター研修会 (第 3 回、9 月)  
放課後子ども教室のボランティア等を対象とした各種資質向上研修の実施〕

- ・活動内容の充実の鍵となる地域コーディネーターの確保・育成に向け、新たに「地域学校協働活動実践ハンドブック」を作成・配布する。
- ・市町村等が高知県版地域学校協働本部の設置計画に基づき実施する地域・学校の資源や特色を生かした協働活動の推進に対し、県として後方支援を行っていく (通年)。

【KPI の状況】

- ・高知県版地域学校協働本部の仕組みを構築した小・中学校の割合  
※11~12 月中旬検証予定

<成果>

- ・本年度、新たに 54 校において高知県版地域学校協働本部の仕組みの構築が進められており、地域による見守り体制づくりが進んでいる。  
※54 校+66 校(H30 年度未実績)=120 校(41.4%)

<課題>

- ・各市町村の「高知県版地域学校協働本部」の取組が円滑に進むよう、支援を行っていく必要がある。

- ・学校地域連携推進担当指導主事等による支援

〔学校経営計画の PDCA の仕組みを活用したチェック及び助言  
学校訪問等による進捗状況確認及び助言〕

- ・市町村等が高知県版の設置計画に基づき実施する地域・学校の資源や特色を生かした協働活動の推進に対し、県として後方支援を行っていく (通年)

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>・【取組③】</p> <p>県立青少年教育施設等において、子どもも大人も参加できる魅力的な体験プログラムを実施します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年教育施設振興事業（生涯学習課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年教育施設の小・中・高校生の延べ利用者数：160,000人</li> </ul>	<p>ア 中1学級づくり合宿※の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校数（8月末）：青少年センター 10校 幅多青少年の家 12校</li> <li>※中学校との連携により、課題に合わせたプログラム構成を運用し、入学後の集団宿泊訓練を通して、規範意識や生活・学習習慣の定着とともに、円滑な学級づくりや仲間づくりを支援。</li> </ul> <p>イ 不登校対策事業※の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加生徒数（8月末）：青少年センター6人 幅多青少年の家 6人</li> <li>※不登校又は不登校傾向にある小中高校生に、体験活動や集団活動の場を提供することにより、自主性、社会性、人間関係能力等の向上を図る目的で実施する活動を支援</li> </ul> <p>ウ 積極的な広報の実施（青少年センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内全小学校・関係機関への主催事業チラシの配布（5月下旬）</li> <li>陸上競技場のリニューアルに伴い利用方法をホームページで周知（6月下旬）</li> </ul> <p>（幅多青少年の家）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅多地区6市町村教育委員会訪問によるPR（4月）</li> <li>幅多地域小・中学校等への年間カレンダー配布（4月）</li> <li>四国内大学サークル・スポーツ少年団等への利用案内送付（4月）</li> <li>フェイスブック・ケーブルテレビによる主催事業等の情報発信（4・7・8月）</li> </ul>
<p>・【取組④】</p> <p>小・中学校等における、集団での宿泊活動を通して、さまざまな自然体験や社会体験を行う取組を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験活動の推進（生涯学習課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験型学習事業実施校：30校</li> <li>・実施校対象アンケートにおける肯定的評価：100%</li> </ul>	<p>ア 小・中学校等での2泊3日以上の宿泊活動を通じた自然体験・社会体験の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校への支援と現地視察：8市町村15校（8月末現在）</li> <li>※H28：6校→H29：13校→H30：19校（長期宿泊体験活動事業の実施校数）</li> <li>・これまでの実施を踏まえ、より教育効果の高い体験プログラムを青少年教育施設と連携し検討</li> </ul>

## C 取組の成果・課題

## A 今後の取組

## 【KPI の状況】

- ・青少年教育施設の小・中・高校生の延べ利用者数：40,947人（6月末）  
※対前年度 97%

## &lt;成果&gt;

## (青少年センター)

- ・夏休み中の合宿等の利用が増加しており、体育系だけでなく、文化系の部活動の利用も増加している。
- ・夏の主催事業では、3倍を超える申し込みがある事業もあり、体験活動への興味関心の広がりが感じられる。

## (幅多青少年の家)

- ・7月に開催した親子宿泊事業に多くの申し込みがあり、9月に追加開催を予定している。

## &lt;課題&gt;

## (青少年センター)

- ・リニューアルした陸上競技場が東部のスポーツ拠点として多くの方に利用されるよう、管理や利用調整を適切に行う必要がある。

## (幅多青少年の家)

- ・施設の老朽化や備品の不足により、受入れ数や事業活動が制約される。

- ・自然体験の充実や交通手段の提供など、施設の特長やスタッフのノウハウを活かした活動プログラムを提供することにより、さらなる利用促進を図る。

- ・不登校対策事業について、学校及び関係期間への周知を強化し、参加者拡大を図る。

- ・施設の状況やニーズを踏まえて、施設の老朽化への対応や備品の購入など、利用者の満足度向上に向けて計画的に取り組む。

- ・自然体験活動の指導ノウハウを学ぶ研修会への参加等を通じて、職員の資質・指導力の向上を図る。

- ・様々な媒体を通じて、適切な時期に効果的な広報を行い、利用促進につなげる。

## 【KPI の状況】

- ・長期宿泊体験活動実施校：15校（本年度実施予定校：16校）
- ・実施校対象アンケートにおける肯定的評価：（10月集計予定）

## &lt;成果&gt;

- ・実施校から、事業を通じて集団作りを行った結果、全国学力調査結果が全国平均を大きく上回るなど学力の向上につながっているとの報告や、休校舎等の利用により、地域との協働、活性化につながったなどの報告が寄せられている。  
また、保護者アンケートでは、子どもの自尊感情や家庭での役割意識の向上がうかがえたとの意見が寄せられている。

## &lt;課題&gt;

- ・本年度の実施予定校が KPI を下回る 16 校にとどまっている。
- ・授業日数の減少、教員への負担（宿泊）があるために、事業への参加を断る市町村、学校が多い。

- ・市町村・学校訪問等により、広域市町村での合同実施や学校統合に伴う集団づくりへの本事業の効果を説明するとともに、体験活動の教育課程への位置付けの例の紹介、効果の高い活動プログラムや学校のニーズに応じた、教員の負担過重とならないプログラムの提供を通じて、今年度及び来年度の実施を働きかける。

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組⑤】</b></p> <p>高知市が設置する高知みらい科学館の運営支援を通じて、県内全域を対象とした理科教育・科学文化振興を図ります。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知みらい科学館運営事業（生涯学習課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数：200,000 人（R1）</li> <li>・プラネタリウム観覧者数：36,000 人（R1）</li> <li>・科学館理科学習等利用学校数：180 校（R1）</li> </ul>	<p>ア 県内全域を対象とした理科教育・科学文化の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の運営への参画 <ul style="list-style-type: none"> <li>県指導主事の派遣及び市職員との併任（4月～）</li> <li>県市実務者レベルによる協議「科学館事業検討会」への参加（毎月）</li> </ul> </li> <li>・「れいけいこうち」での出前理科学習、科学体験展示の周知の協力（5・6月）</li> <li>・科学館で行う事業に全国的な視点を取り入れるための体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>運営に意見を述べる「科学館協議会」 第一回（7/26）</li> </ul> </li> <li>・高知みらい科学館で行う主な事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>プラネタリウム番組「流れ星のひみつ」(4/16～)「七夕と天の川」(6/25～)</li> <li>GW 特別企画「さわって楽しむ科学館」(4/27～5/6)</li> <li>企画展「高知の海をカガクする」(7/13～9/23) 等</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【取組⑥】</b></p> <p>自然体験や環境学習を推進する指導者を養成し、学校や青少年育成団体等の求めに応じて派遣します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験活動の推進（生涯学習課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動実施団体数：5 団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施団体募集（市町村、各種団体へ周知）</li> <li>実施団体 <ul style="list-style-type: none"> <li>四万十町内小学校（6/9）</li> <li>本山町立本山小学校（7/14）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

## 2 第2期高知県教育振興基本計画における指標の状況

	H30	R元	R元目標値
保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加している学校の割合(当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した割合)【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小：95.3%</li> <li>・中：88.2%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小：%</li> <li>・中：%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小：100%</li> <li>・中：100%</li> </ul>
地域学校協働本部が設置された学校数【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小：154校</li> <li>・中：86校</li> <li>・義：2校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小：168校（見込）</li> <li>・中：98校（見込）</li> <li>・義：2校（見込）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小：150校以上</li> <li>・中：80校以上</li> </ul>

C 取組の成果・課題	A 今後の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数：80,412 人 (7/未現在)</li> <li>プラネタリウム観覧者数：17,172 人 (7/未現在)</li> <li>科学館理科学習等利用学校数：55 校 (7/未現在)</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの県民の皆様に来館いただいております、プラネタリウムや「サイエンスショー」などに好評を得ています。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが何度も来館したくなる、また、科学への関心をより高め、ひいては、理系分野の科目にも興味を持ってもらうよう、設置者である高知市と連携して事業内容の更なる充実を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣指導主事や併任職員、また、「科学館事業検討会」の定期的な開催により、科学館の運営に日常的に関与し、事業内容のさらなる充実を図る。</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動実施団体数：2 団体</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動実施校からは、来年度以降も事業の活用を希望する声が上がっている。</li> <li>PTA 事業での活用をチラシ等で周知した結果、子どもだけでなく大人も巻き込んだ体験活動を実施することができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、各施設団体への事業の周知が必要。</li> <li>指導者の活躍の場を広げるためにも、自然体験型学習事業等との連携が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師に対し、実施団体からの感想や意見を伝えることによって、講師の質を上げていく。</li> <li>次年度には、要項・チラシとともに PTA 事業での活用の例等を添付し、大人を巻き込んだ事業となるような周知を行う。</li> </ul>

	H30	R元	R元目標値
放課後子ども教室及び放課後児童クラブの設置率 (小学校)【再掲】	95.8%	%	95%以上
県立青少年教育施設の利用者数(小・中・高校生)	137,121 人	人	160,000 人以上

基本方向 8 社会の期待に応えるため大学の魅力を高める

対策 (4) 「学び続ける」社会の実現に向けた学び直しの機能の強化

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組

D これまでの取組状況

【取組①】

「夜間主コース」の設置や社会人入試制度の導入により、働きながら学べる機能を拡充するとともに、公開講座や県民開放授業の開催、履修証明プログラム、科目等履修制度の充実によって、社会人のニーズに応じた多様な学習プログラムを提供するなど、大学における生涯学習、社会人教育の機能の更なる充実・強化を図ります。

県立大学等支援費 (私学・大学支援課)

・高知県立大学文化学部夜間主コースの入学者の状況

R元年度	定員	入学者数
推薦	10人	5人
社会人	20人	25人
3年時編入	3人	2人
合計	33人	32人

・公開講座等の開催状況 (R元)

高知県立大学： 787人 (受講者延べ人数)  
高知工科大学： 62人 (同上)

【取組②】

産学官民連携センターにおいて、ビジネスの基礎から応用・実践力まで、受講者のニーズやレベルに応じて体系的に身に付けられる産学官民連携によるビジネス研修「土佐まるごとビジネスアカデミー(土佐MBA)」の充実・強化を図ります。

<取組のKPI>

R元受講者数 (延べ) 4,000人

- ア 体験講座や気軽に相談できる場を設ける「おためしMBA」の開催
- ・5/9 高知会場 (オーテピア) (経営戦略、マーケティング、会計) 40人
  - ・5/11 高知会場 (ココブラ) (経営戦略、マーケティング、会計、「目指せ! 弥太郎 商人塾」体験、「土佐経営塾」体験) 95人
  - ・5/15 東部会場 (田野町ふれあいセンター) (経営入門) 11人
  - ・5/16 幡多会場 (四万十市中央公民館) (会計財務) 16人
  - ・7/23 高幡会場 (須崎市市民文化会館) (会計財務) 8人
  - ・7/28~7/29 高知会場 (ココブラ) (財務会計、事業マネジメント・業務改善、「エグゼクティブコース」体験) 57人

イ 本科・実科の各講座の募集開始 (4月~)

ウ 各講座の開講

【本科】・経営戦略コース (7/3~8/29) : 110人

・マーケティング・商品企画コース (5/27~7/20) : 135人

・会計コース (6/5~6/28) : 159人

・財務戦略コース (8/22~10/25) : 109人

・事業マネジメント・業務改善コース (8/27~10/5) : 58人

・スキルアップセミナー (7/30~10/30) : 113人

・ビジネストレンドセミナー (6/25~1/17) : 122人

【実科】・エグゼクティブコース (8/23~1/23) : 16人

・目指せ! 弥太郎商人塾 (7/29~3/13) : 12人

・ナリワイセミナー「東部集客塾」 (6/13~9/2) : 17人

・ナリワイセミナー「幡多稼ごう塾」 (5/28~6/19) : 29人

・社内起業家 (イントラプレナー) 育成支援講座 (8/5~12/4) : 12人

・事業戦略フォローアップ講座 (8/30~2/21) : 8人

【専科】 1,848人

<R元年度バージョンアップのポイント>

●情報発信の強化・学びを体験できる機会の拡充

・企業等への個別訪問の強化、関係機関と連携したPRの強化

・体験講座や気軽に相談できる場を設ける「おためしMBA」の拡充

●課題解決と事業成長につながる学びの場を充実

・事業戦略フォローアップ講座の実施と企業等のニーズに応じた講座への誘導

・社内起業家育成支援講座等でのアフターフォローの強化、新しい事業創出をテーマとした事業創出コースの新設

・県内企業の生産性向上を図り事業を成長につなげるため事業マネジメント・業務改善コースを設置 (事業管理コースからリニューアル)

●地域での学びの場の拡大

・学び慣れていない個人・小規模事業者向けに、学びの意欲を喚起するための実践的な講座「ナリワイセミナー」を東部地域、幡多地域で開催

【参考】: 受講者数 H28実績 (延べ) 3,006人

H29実績 (延べ) 4,313人

H30実績 (延べ) 5,955人



**対策  
の  
概要**

誰もが学び続け、夢や志に挑戦できる社会の実現に向け、大学における学び直しの機能を拡充し、社会人の学びを支援します。また、地域や産業を支える人づくりに向け、起業を目指す人材養成のためのビジネス研修をはじめ、社会人や企業のニーズに応じた実践的・専門的な教育プログラムの充実・強化を図ります。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**
**【成果】**

- ・夜間主コースに多くの社会人学生が入学しており、働きながら学べる場として機能している。
- ・公開講座や履修証明プログラム、リカレント講座等を活発に開催することで、生涯学習、社会人教育の機能が強化されている。

**【課題】**

- ・広報活動の充実

- ・引き続き広報活動を積極的に行い、認知度を上げていく。

**【KPI の状況】**

土佐 MBA 受講申込者数 4,000 人/令和元年度

**<成果>**

- ・今までの受講申込者数（今後実施予定の講座の申込者含む）3,070 人
- ・おためし MBA については、多くの今まで土佐 MBA を受講したことのない方に受講していただくことができ、多くの方の本講座申込につながった。
- ・地域での学びの場として新たに実施した「ナリワイセミナー」は、東部地域、幅多地域とも多くの方に受講いただき、地域での学びの機会につながった。

**<課題>**

- ・情報発信の強化

**●情報発信の強化**

- 関係機関と連携した PR を強化・継続

**●講座の実施**

- ・財務戦略コース (8/22~10/25)
- ・事業マネジメント・業務改善コース (8/27~10/5)
- ・事業創出コース (10/1~11/16)
- ・組織・人的資源マネジメントコース  
(10/23~12/13)
- ・スキルアップセミナー (7/30~10/30)
- ・ビジネストレンドセミナー (6/25~1/17)
- ・エグゼクティブコース (8/23~1/23)
- ・土佐経営塾(9/15~11/24)
- ・目指せ！弥太郎商人塾 (7/29~3/13)
- ・ナリワイセミナー「東部集客塾」(6/13~9/2)
- ・社内起業家（イントラプレナー）育成支援講座  
(8/5~12/4)
- ・事業戦略フォローアップ講座 (8/30~2/21)

**基本方向 9** 文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る

**対策 1- (1)** 県民一人一人が文化芸術に親しむ環境づくりの推進

**1** 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況																																																			
<p><b>【取組①】</b></p> <p>美術館をはじめとする県立文化施設において、質の高い文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、地域に出向いてのワークショップやクラシック音楽教室の実施などのアウトリーチ活動を通して、文化芸術を身近に感じてもらえる取組を推進します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知城歴史博物館管理運営委託（文化振興課）</li> <li>・美術館管理運営委託（文化振興課）</li> <li>・歴史民俗資料館管理運営委託（文化振興課）</li> <li>・坂本龍馬記念館管理運営委託（文化振興課）</li> <li>・文学館管理運営委託（文化振興課）</li> <li>・県民文化ホール管理運営委託（文化振興課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <p>（年間観覧者数の目標：R元年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知城歴史博物館：106,000人</li> <li>・美術館：13,000人</li> <li>・歴史民俗資料館：31,000人</li> <li>・坂本龍馬記念館：160,000人</li> <li>・文学館：22,700人</li> <li>・県民文化ホール：休館</li> </ul>	<p>県立文化施設の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6つの県立施設の管理・運営を指定管理者に委託し、様々な企画展示やホール事業、教育普及活動を実施</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>7月末時点</th> <th>(30年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高知城歴史博物館</td> <td>29,076人</td> <td>(106,247人)</td> </tr> <tr> <td>美術館</td> <td>休館中</td> <td>(34,799人)</td> </tr> <tr> <td>歴史民俗資料館</td> <td>9,756人</td> <td>(23,784人)</td> </tr> <tr> <td>坂本龍馬記念館</td> <td>59,550人</td> <td>(208,951人)</td> </tr> <tr> <td>文学館</td> <td>5,381人</td> <td>(24,368人)</td> </tr> <tr> <td>県民文化ホール</td> <td>休館中</td> <td>(242,210人)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチ活動を通じた取組（30年度実績）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施機関</th> <th>実施内容</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(高知城歴史博物館)</td> <td>出前授業</td> <td>(7校)</td> </tr> <tr> <td>出前びじゅつ講座</td> <td>(12校)</td> </tr> <tr> <td>出前クラシック教室</td> <td>(7校)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(美術館)</td> <td>出前演劇教室</td> <td>(3校)</td> </tr> <tr> <td>出張派遣授業</td> <td>(8校)</td> </tr> <tr> <td>(歴史民俗資料館)</td> <td>史跡めぐり・バスツアー</td> <td>(2回)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(坂本龍馬記念館)</td> <td>出張派遣授業</td> <td>(8校)</td> </tr> <tr> <td>出前授業</td> <td>(延13校)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(文学館)</td> <td>紙芝居普及活動</td> <td>(49回)</td> </tr> <tr> <td>出張朗読会</td> <td>(3回)</td> </tr> <tr> <td>児童生徒文学作品朗読コンクール</td> <td>(546人)</td> </tr> </tbody> </table>	利用者数	7月末時点	(30年度実績)	高知城歴史博物館	29,076人	(106,247人)	美術館	休館中	(34,799人)	歴史民俗資料館	9,756人	(23,784人)	坂本龍馬記念館	59,550人	(208,951人)	文学館	5,381人	(24,368人)	県民文化ホール	休館中	(242,210人)	実施機関	実施内容	回数	(高知城歴史博物館)	出前授業	(7校)	出前びじゅつ講座	(12校)	出前クラシック教室	(7校)	(美術館)	出前演劇教室	(3校)	出張派遣授業	(8校)	(歴史民俗資料館)	史跡めぐり・バスツアー	(2回)	(坂本龍馬記念館)	出張派遣授業	(8校)	出前授業	(延13校)	(文学館)	紙芝居普及活動	(49回)	出張朗読会	(3回)	児童生徒文学作品朗読コンクール	(546人)
利用者数	7月末時点	(30年度実績)																																																		
高知城歴史博物館	29,076人	(106,247人)																																																		
美術館	休館中	(34,799人)																																																		
歴史民俗資料館	9,756人	(23,784人)																																																		
坂本龍馬記念館	59,550人	(208,951人)																																																		
文学館	5,381人	(24,368人)																																																		
県民文化ホール	休館中	(242,210人)																																																		
実施機関	実施内容	回数																																																		
(高知城歴史博物館)	出前授業	(7校)																																																		
	出前びじゅつ講座	(12校)																																																		
	出前クラシック教室	(7校)																																																		
(美術館)	出前演劇教室	(3校)																																																		
	出張派遣授業	(8校)																																																		
(歴史民俗資料館)	史跡めぐり・バスツアー	(2回)																																																		
(坂本龍馬記念館)	出張派遣授業	(8校)																																																		
	出前授業	(延13校)																																																		
(文学館)	紙芝居普及活動	(49回)																																																		
	出張朗読会	(3回)																																																		
	児童生徒文学作品朗読コンクール	(546人)																																																		
<p><b>【取組②】</b></p> <p>県民一人一人が文化芸術活動に主体的に参加できる環境を更に整えます。また、高知城歴史博物館や坂本龍馬記念館など、県民が地域の歴史や文化に楽しみながら触れることができるとともに、新たなにぎわいを生み出すことができる施設を整備します。</p>																																																				
<p><b>【取組③】</b></p> <p>学校等との連携により、各文化施設の特色に応じた、地域の歴史学習や鑑賞活動を促進するとともに、出前授業や体験学習などのさまざまな学習機会を活用して、文化芸術活動を推進します。</p>	<p>教育普及活動</p> <p>※取組①のとおり</p>																																																			

対策  
の  
概要

県民一人一人が文化芸術に普段から親しむことにより、心豊かな人生を送ることができるよう、文化芸術に親しむ環境づくりを推進します。

## C 取組の成果・課題

## A 今後の取組の方向

## 【成果】

- ・企画展やホール事業、教育普及事業を実施し、来館機会の創出に努めている。

## 【課題】

- ・出前授業等の取組を広げていくには、学校や教員の理解を得ることが必要である。

- ・文化芸術振興ビジョンに基づき、幼少期から文化芸術に触れる機会の創出や児童生徒の文化芸術活動の促進につなげられるよう、県立文化施設においては企画展やホール事業、教育普及事業を実施する。
- ・アウトリーチ活動や学校・教育委員会へのチラシ等の配付、HP 等により周知を行う。

教育普及活動  
※取組①のとおり

教育普及活動  
※取組①のとおり

基本方向 9 文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る

対策 1-(2) 文化芸術等を活用した地域活性化の推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>県民が自主的に文化芸術活動を行った成果としての発表会や、県民に優れた芸術活動の鑑賞機会を提供する「高知県芸術祭」を開催します。</p> <p>また、県内各地の民間団体が行う文化芸術活動を支援することにより、県民が文化芸術に親しむ環境づくりを推進します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術振興ビジョン推進事業（文化振興課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <p>文化人材育成プログラム受講者（R 元）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アートビジネス講座（延べ 50 人）</li> <li>アートクリエイション講座（15 人）</li> <li>アートマネジメント講座（延べ 60 人）</li> </ul>	<p>1 文化芸術に触れる機会の充実</p> <p>(1) 発表の場の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベントや県立文化施設等における発表機会の創出のために関係機関と調整（随時、7月末；延べ6団体）</li> </ul> <p>(2) 高知県芸術祭の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハーバード大学クロコディオロス（男声合唱団）公演（6/28～30）</li> <li>Kochi Art Projects（15 事業採択）</li> </ul> <p>(3) 文化芸術団体の情報収集と発信：文化芸術 HP 芸事図鑑の充実 62 件（8月末）</p> <p>(4) 本県人材と文化人との交流の場の設定（カーニバル 00in 高知の開催、11/2～4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会設立（5/7）</li> </ul> <p>2 人材の育成（文化人材育成プログラム）</p> <p>(1) アートビジネス講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に多様な職を創出し、さらには地域の文化の確実な継承を図るために、本県の文化芸術を素材としたビジネスプランを策定するための講座を実施。</li> <li>→年 6 回開催予定（7/19、8/23、9/20、10/18、11/15、12/20 予定）</li> </ul> <p>(2) アートクリエイション講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カーニバル 00in 高知に向けて舞台制作を行うこととし、その制作活動を通じて創造力や表現力を習得する。また、アドバイザーのネットワークを生かした外部講師を招へいする等により、文化芸術面における創造的な人材の育成を図る。</li> <li>→各月 1 回程度開催予定（4/21、5/19、6/8、7/19、7/26）</li> </ul> <p>(3) アートマネジメント講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術団体と、福祉・教育・地域などのさまざまな分野とが連携し、持続的な地域振興につなげるための講座を実施。</li> <li>→年 5 回開催予定（7/7・9・12・1・2月）</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>山、海、川の豊かな自然から生まれた本県の文化や歴史、人を文化広報誌により県内外に向け積極的に発信していきます。高知県を新たな視点から紹介することにより、それぞれの地域への関心を高め、交流人口の増加や、観光、産業振興につなげていきます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化広報誌発行事業（文化振興課）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化広報誌「とさぶし」の発行（7,9,12,3月）</li> <li>・27号の発行（6/30）</li> <li>・28号の発行準備（①6/26、②7/2 編集会議、9月末発行予定）</li> </ul>

**対策  
の  
概要**

県民の文化芸術活動を支援するとともに、本県の文化芸術や歴史等を発信し、交流人口の増加や観光振興等につなげるにより、地域の活性化を推進します。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**
**【課題】**

- ・芸術祭について、県民や文化芸術団体等へのさらなる周知
- ・文化人材育成プログラムの周知

**【成果】**

- ・本物の芸術や新しい文化を創出する機会を提供することで、県民の文化芸術に触れる機会の創出が図られた。

- ・県文化財団と連携し、情報の収集発信を行い、観光イベント等の主催者と文化芸術団体とのマッチングや発表の場の創出を図り、団体とイベント主催者が直接調整を行うことができるよう、情報の一元化を更に進める。

- ・芸術祭の助成事業や共催・協賛行事であることを周知するために芸術祭ロゴの使用の徹底を図る。

- ・協賛・共催事業や参加者の増加を目指し、高知県芸術祭の活性化を図る。

- ・本県の文化資源を活用したプログラムを構築し、文化芸術を産業につなげるなど、講座の充実を図る。

**【成果】**

- ・高知県ならではの文化や地域に埋もれた文化を広く県内外に発信。

**【課題】**

- ・県外イベント等での情報発信に関する効果の測定

- ・文化広報誌を活用した高知文化の発信

**基本方向 9** 文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る

**対策 2-(1)** 高知城の保存管理と整備の推進

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b> 高知城は、多くの建造物が建築後 200 年を超え、昭和の解体修理からも 60 年が経過しており、保全のための対応が必要な箇所が増加しています。このため、引き続き適切な維持修繕に取り組むとともに、南海トラフ地震に備えるための取組を進めます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt; ・高知城保存管理事業（文化財課）</p>	<p>ア 高知城の適切な維持修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修理工事（天守高欄塗装改修工事） 国庫補助申請（4/25）→内示（6/3）、設計作業中</li> <li>・修理工事（追手門トイレ改修工事） 国庫補助申請（5/30）</li> </ul> <p>イ 高知城の南海トラフ地震に備える取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面保全工事（公園北口斜面崩壊対策工事） 積算・施工管理委託（6/3 契約）→現状変更許可（7/19）→入札準備中</li> <li>・石垣カルテ作成委託（7/31 契約）</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b> 高知城を訪れる方々の満足度の向上を図るため、継続的な景観対策等を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt; ・高知城保存管理事業（文化財課）</p>	<p>ア 高知城の継続的な景観対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家協議（7/24） エリアごとの管理計画、剪定及び伐採対象の検討</li> </ul>
<p><b>【取組③】</b> 高知城の文化財的価値についての理解を深めるため、高知城歴史博物館と連携し、現地講座の開催や建造物内の説明看板の改修（多言語化）などの取組を行うとともに、重要文化財建造物の調査を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt; ・高知城保存管理事業（文化財課）</p> <p>&lt;取組の KPI&gt; ・高知城入場者数：年計画 270,000 人</p>	<p>ア 高知城歴史博物館と連携した現地講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの高知城探検開催（8/3）</li> </ul> <p>イ 高知城アプリの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の前提となる Wi-Fi ネットワークの整備（現地に表示）（H29 年度までに完了）</li> <li>・アプリダウンロード数累計 817 件（H30.4～R1.7）</li> <li>・広報媒体（フライヤー原稿）の作成について受託事業者と協議</li> <li>・ガイドボランティア団体への情報提供</li> </ul> <p>ウ 重要文化財建造物の調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井工業大学調査資料、県外博物館資料の調査→報告会（3/24）（H30 年度）</li> </ul>

**2 第 2 期高知県教育振興基本計画における指標の状況**

	H30	R元	R元目標値
高知城の入場者数	349,677 人 (うち有料入場者数 280,646 人、 うち小・中・高校生 35,158 人)	114,783 人 (うち小・中・高校生 15,448 人) ※7 月末時点	270,000 人以上 (うち小・中・高校生 38,000 人以上)

**対策  
の  
概要**

次世代に高知城（国史跡・重要文化財）を良い状態で引き継ぐため、適正な管理や計画的な修理と併せて、継続的な景観の改善に取り組みます。  
また、文化財的価値についての理解を深めるため、高知城歴史博物館と連携した取組や重要文化財建造物の調査を推進します。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組**

<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度施工箇所は、問題なく経過良好である。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>梅ノ段は、令和2年度事業実施に向けた準備が必要。</li> <li>施工時における観光への配慮 天守高欄塗装改修工事及び追手門トイレ改修工事について、行楽シーズンやイベント実施時期と重なることが想定され、影響を最小限にするための調整を行う。</li> <li>斜面保全工事の施工時及び竣工後の文化財及び景観や周辺への配慮 ①現状変更を最小限に留めること、②施工時及び竣工後の景観及び利用に配慮すること、③周辺交通への影響が見込まれることから、道路管理者などと十分な調整が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修理工事（天守高欄塗装改修工事） 現状変更申請 工事入札、契約（10月予定）</li> <li>修理工事（追手門トイレ改修工事） 現状変更申請 工事入札、契約（10月予定）</li> <li>斜面保全工事（公園北口斜面崩壊対策工事） 現状変更申請 工事入札、契約（8月予定）</li> <li>石垣カルテ 調査実施、カルテ作成</li> <li>高知城磨き上げ推進委員会（8月）</li> <li>史跡高知城跡整備計画推進委員会石垣部会（9月予定）</li> </ul>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>景観維持に必要な剪定及び伐採について、専門家から意見をいただいた。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財や景観を保全するための樹木の管理（剪定、伐採）が必要であることの県民理解の促進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家との協議に基づき、経費積算等の管理剪定実施に向けた作業を進める。</li> <li>樹木医など関係者との意見交換を行い日常の剪定や除草など管理作業の技術向上に努めるとともに管理計画に対する意見募集を行い、継続的な景観管理作業の推進と理解促進につなげていく。</li> <li>管理計画の県民への広報</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高知城入場者数：114,783人（R.元年7月末現在）対前年比12,741人増（H30.7末102,042人）</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高知城天守は一国一城令までに建築された国宝指定された望楼型天守とは異なる新しい工法で再建されている。</li> <li>現地講座や報告会を開催し、高知城への興味関心を喚起することができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創建天守との関係性や建築時期の評価にとられない高知城の魅力の発信が必要。</li> <li>高知城アプリのダウンロード数増加のため、今後とも丁寧なPRが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地講座の企画 次年度に向けた連携の取組について協議を行う。</li> <li>高知城アプリの活用 広報に努め、利用の拡大を図る。</li> <li>他城における調査及び広報の情報を収集し、調査の参考とする。</li> </ul>

基本方向 9 文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る

対策 2-(2) 文化財の保存と活用の推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>国・県指定文化財の保存と活用を図るため、文化財に関する専門知識を持つ文化財保護指導員や市町村教育委員会と連携した文化財に対する巡視活動等に基づき、文化財の保存上必要な事業に対する財政的支援や技術的指導を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財管理調査事業（文化財課）</li> </ul>	<p>ア 文化財保護指導員や市町村教育委員会と連携した文化財の巡視活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護指導員（各地域の文化財専門家による巡視活動：45名委嘱）の推薦依頼→文化財巡視を実施</li> <li>文化財保護指導者講習会（7/12開催 108名参加） ※参加対象者：文化財保護指導員及び市町村教育委員会文化財担当者</li> </ul> <p>イ 文化財の保存上必要な事業に対する財政的支援・技術的指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財政的支援（R1.7月末現在）           <ul style="list-style-type: none"> <li>国庫補助事業（市町村等事業）15団体 20事業 226,439千円</li> <li>県補助事業（文化財保存事業）13団体 15事業 22,624千円</li> <li>県補助事業（指定文化財管理事業）8団体 8事業 469千円</li> <li>県補助事業（地域文化財保存伝承事業）8団体 12事業 2,088千円</li> </ul> </li> <li>適切な保存のための助言           <ul style="list-style-type: none"> <li>国史跡・天然記念物 龍河洞の現状変更許可申請にあたり、洞内コンテンツ事業について技術的指導、現状変更許可申請（7/8）→許可（7/19）</li> <li>四万十市「竹屋敷の藤」現状調査、周辺の倒木に伴う現状変更許可申請にあたり技術的助言（7/23）</li> </ul> </li> </ul> <p>ウ 文化財保存活用大綱の策定（2カ年で策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護法改正に伴う県条例・規則改正及び指定基準の改正（4/1施行）</li> <li>高知県文化財保存活用大綱策定委員会（5/17）</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>文化財建造物に関する専門的知識を身に付けた人材を育成するため、講座等を開催します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財管理調査事業（文化財課）</li> </ul>	<p>ア 文化財建造物に関する専門知識を身に付けた人材を育成</p> <p>※ヘリテージマネージャー養成講座 （H27～29年度 ヘリテージマネージャー 79名、ヘリテージサポーター 32名）</p> <p>（修了者の活動内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重要伝統的建造物群保存地区（室戸市吉良川町）の修理物件の設計監理（R元年度）</li> <li>重要文化的景観の集落見直し調査（津野町、四万十町）（R元年度）</li> </ul>



対策  
の  
概要

国・県指定文化財の保存上必要な事業に対する財政的支援や技術的指導を行うとともに、不足している文化財建造物に関する専門的知識を持つ人材を育成することや、文化財の計画的な調査を実施することにより、文化財的価値の向上に資する文化財の保存と活用を推進します。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組

<成果>

- ・保存修理等が着実に実施されている。

<課題>

- ・文化財を継承する地域の人口減少など活力の低下に加え市町村に文化財専門職員が少なく、地域の文化財保護活動の担い手育成が重要である。
- ・文化財保存活用大綱は、保存と活用につなげる具体的な課題を整理するとともに、市町村・所有者の課題をどう盛り込むか、文化財保存活用地域計画にどうつなげていくか検討する必要がある。

- ・市町村担当者会
- ・文化財保護連絡協議会研修会
- ・高知県文化財保存活用大綱策定委員会 (10/23)

<成果>

- ・ヘリテージマネージャー要請講座修了生の文化財保存活動への参加が継続。

<課題>

- ・継続的な活動とするためには、ヘリテージマネージャー等に対する市町村や所有者の認知度を高める必要がある。
- ・修了者の継続的な研修機会の確保や次の世代の養成に対する支援が必要。

- ・活動状況について継続的に把握する。
- ・ヘリテージマネージャー等の活動状況について市町村及び所有者への情報提供を行う。

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組③】</b></p> <p>文化財を保存し後世に伝えるとともに、その価値についての理解を深めるため、計画的な調査と文化財指定等を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財管理調査事業（文化財課）</li> </ul>	<p>ア 文化財の計画的な調査と文化財指定等</p> <p>※既指定文化財について、衰亡や管理上の課題のあったものについて現地確認及び対策の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国特別天然記念物カモシカ特別調査 合同調査委員会(7/10)</li> <li>・国特別天然記念物オオサンショウウオ生息地文化庁視察 (7/11)</li> <li>・県保護有形文化財 <ul style="list-style-type: none"> <li>新指定に向けた調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>大太刀等 (6/19、7/5 高岡神社 四万十町)</li> <li>大太刀等 (6/21 興津八幡宮 四万十町)</li> <li>→高知県文化財保護審議会へ報告 (7/22)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・旧陸軍歩兵第 44 連隊跡地保存活用検討委員会 (5/11、7/23) <ul style="list-style-type: none"> <li>4.4 連帯跡地の保存・活用について、専門家からの助言をもとに検討する。</li> </ul> </li> <li>・民俗芸能緊急調査委員会 (5/20) <ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化・過疎化など著しい地域社会の変容の中にある民俗芸能の現況を記録として残すために、令和元年度～3年度にわたって調査を行う。</li> <li>→ブロック説明会で事業説明(県内5ブロック) (6/6、6/10、6/13、6/17、6/20)</li> </ul> </li> </ul>

## 2 第2期高知県教育振興基本計画における指標の状況

※計画における指標の設定なし

## C 取組の成果・課題

## A 今後の取組

## &lt;成果&gt;

- ・オオサンショウウオについて文化庁調査官の視察を受け、希少な個体群である可能性が高く、継続的な調査の必要性が確認できた
- ・新たな文化財の県指定に向けて必要な調査を行い、文化財保護審議会へ報告することができた

## &lt;課題&gt;

- ・オオサンショウウオ生息域の町や関係団体との情報共有
- ・カモシカの特別調査については、生息域の拡大と生息数の現状を適切に評価することと併せ、保護意識を高める取組を進める必要がある。
- ・旧陸軍歩兵第 44 連隊跡地について、検討委員会における議論を踏まえて検討を進める。
- ・既指定文化財の適切な保存及び活用を進めるため、県の基本的な方向性を明確化していく必要がある。
- ・民俗芸能緊急調査について、市町村との連携を円滑に進めるため、積極的な情報共有と意思疎通を行っていく必要がある。

## ・指定対象となる文化財の検討

所有者及び市町村との調整を行った上で、文化財保護審議会を開催し、協議された課題や指定候補案件について検討を進める。

- ・保存に課題のある文化財の現地確認と対策の実施  
巡視で課題を確認したものについて、現地確認後適切な対策を所有者や市町村と検討する。
- ・カモシカ特別調査委員会の開催
- ・旧陸軍歩兵第 4 連隊跡地保存活用検討委員会
- ・民俗芸能調査の実施  
アンケート調査及び悉皆調査の実施
- ・令和 2 年度実施予定の保存修理等の事前調整

基本方向 9

文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る

対策 2-(3)

埋蔵文化財の発掘調査・保護の推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を円滑に行うため、事前の試掘確認調査を実施するとともに、関係機関と十分に連携します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財発掘調査事業（文化財課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試掘確認調査実施日数：年計画 35 日</li> </ul>	<p>ア 開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査のための事前試掘確認調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南国安芸道路(7/25,7/26,7/29,7/30,7/31 香南市西野地区)</li> </ul> <p>イ 発掘調査の円滑化のための関係機関との十分な連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南国安芸道路(関係機関:四国地方整備局土佐国道事務所)</li> <li>4 月末……全体事業について土佐国道事務所による説明と協議</li> <li>5 月～6 月…試掘確認調査場所について情報交換(用地の買収状況 他)</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>埋蔵文化財の適切な保存と活用を図るため、発掘調査で出土した遺物は、埋蔵文化財センターで適切に保存するとともに、各種講座や市町村と連携した地域展等を開催します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財センター管理運営事業（文化財課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財センター入館者数：年計画 3,700 人</li> </ul>	<p>ア 埋蔵文化財センターにおける出土遺物の適切な保存</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29・30 年度に実施した発掘調査によって出土された遺物についての洗浄・註記・実測・トレース、現場図面をもとに製図等の整理作業</li> <li>※高田遺跡、若宮ノ東遺跡、新堀川護岸</li> </ul> <p>イ 埋蔵文化財に関する各種講座や市町村と連携した地域展等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報普及事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>発掘速報展「東野土居遺跡展」の開催(4/21～7/6)</li> <li>出前考古学教室 (50 校 延べ 1,627 人)</li> <li>公開講座の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>親子考古学教室 (34 回)</li> <li>古代ものづくり (20 回)</li> <li>考古学から学ぶ史跡の見方 (1/3 回:40 人)</li> <li>先生のための遺跡調査入門講座 (1 回)</li> <li>遺跡解説会 (2/3 回:64 人)</li> <li>まいぶんセンターまつり (11/10)</li> <li>巡回展「四国の風土とくらし」(7/14～9/23)</li> <li>企画展「鎌倉時代の土佐」(10/13～4/5)</li> <li>移動展「嶺北地域の遺跡展」(12/1～12/22)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

2 第 2 期高知県教育振興基本計画における指標の状況

※計画における指標の設定なし

**対策  
の  
概要**

開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を円滑に実施し出土遺物を保存するとともに、市町村との連携により地域の歴史や文化を知る機会を設けるなど、埋蔵文化財の発掘調査や保護を推進します。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組**
**【KPIの状況】**

- ・試掘確認調査実施日数：5日

**<成果>**

- ・発掘調査の実施の有無の確認することによって事業着手がスムーズにできることに繋がっていくこととなる。

**<課題>**

- ・開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を円滑に行うに当たっては、その必要性の有無を把握するための事前試掘確認調査として、当該計画区域内外の用地境界、工程、方法、以降の手続き等について関係機関や地元自治体と十分に調整する必要がある。
- ・開発事業者により用地取得がなされた部分について試掘確認調査を実施するため、当該の事業量は取得状況に左右される。

- ・引き続き関係機関等と十分に連携し、事前試掘確認調査及び発掘調査を円滑に実施していく。

**【KPIの状況】**

- ・埋蔵文化財センター入館者数：1,198人(6.30現在)

**<成果>**
**<課題>**

- ・これまでの取組みで着実に埋蔵文化財センターの知名度は向上しており、引き続き埋蔵文化財に関する核となる施設として、発掘調査成果について新しい知見や最前線の発掘情報を分かりやすく、また、体験や講座を通して古代人の暮らしや生活を考えていく公開講座など、更に、調査研究や埋蔵文化財に対する関心や親しみが広がるよう努めていく。

- ・各種講座等の企画や実施について、さまざまな広報ツールを活用して積極的に情報提供するとともに、地域や歴史教育に欠くことのできない施設であることを一層アピールしていく。

- ・出土遺物や資料を持って出向く出前考古学事業を実施し、埋蔵文化財に関する授業や展示・体験により地域の歴史を知る機会をつくっていく。また、学校での授業以外にもPTA活動や学校行事、社会教育活動等のイベントでも実施する。

**基本方向 10** スポーツの振興を図る

**対策 1- (1)** 新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>総合型地域スポーツクラブ等を、各市町村のスポーツ活動の拠点「地域スポーツハブ」として育成し、地域のニーズに応じた公益性の高いスポーツ活動の展開を支援することにより、地域スポーツを通じたビジネス化の促進や地域におけるスポーツ活動の活性化につなげます。</p> <p>また、地域スポーツハブ等の運営を中心的に担い、スポーツ活動の企画・運営・調整等を行う「地域スポーツコーディネーター」を育成します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）</li> <li>・地域スポーツコーディネーター等育成事業（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標6）</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充</p> <p>①地域スポーツハブの設置等に向けた打ち合わせ会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（2回実施） ・土佐市（2回実施） ・土佐清水市（2回実施）</li> <li>・室戸市（3回実施） ・香南市（1回実施）</li> </ul> <p>②地域スポーツコーディネーターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（まほろばクラブ南国）：5月</li> <li>・土佐市（総合クラブとさ）：4月</li> <li>・土佐清水市（スポーツクラブスクラム）：4月</li> <li>・室戸市（むろとスポーツクラブ）：4月</li> <li>・香南市（こうなんスポーツクラブ）：7月</li> </ul> <p>③促進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（3回実施） ・土佐市（1回実施） ・土佐清水市（3回実施）</li> <li>・室戸市（1回実施）</li> </ul> <p>④事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市【1事業（1回）】 ・土佐市【2事業（5回）】</li> <li>・土佐清水市【2事業（2回）】</li> </ul> <p>イ 地域のスポーツ活動を支える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業担当者情報交換会（7月）</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ登録認証制度説明会（8月）</li> <li>・総合型地域スポーツクラブアシスタントマネージャー養成講座【予定】</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>1つの市町村では解決できないスポーツ活動の課題を、広域のスポーツ関係者等が連携して解決する取組を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域に共通するニーズを捉えたスポーツ活動が展開され、広域からの参加が得られている。</li> </ul>	<p>ア 広域の関係者が連携した取組</p> <p>○スポーツ関係団体等が連携して行う取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県スポーツ協会による関係者との打ち合わせ（5月～7月）</li> </ul> <p>○幡多地区での取組（幡多地区広域エリア事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業開始</li> <li>第1回（4/29）</li> <li>・エリアネットワーク会議（7/18：荒天のため延期）</li> </ul>

**対策  
の  
概要**

既存の総合型地域スポーツクラブ等を核として地域のスポーツ活動の拠点「地域スポーツハブ」の育成を進めるとともに、多分野の関係者の連携による取組を支援することにより、民間活力やノウハウ等を活用したスポーツの産業化を目指し、地域の実情や地域住民の多様なニーズに応じたスポーツ活動の充実を図ります。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**
**【KPI の状況】**

・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標6）

※設置数：5（南国市、土佐市、土佐清水市、室戸市、香南市）

※四万十町は調整中

**<成果>**

ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実

- ・昨年度から継続している3市（南国市、土佐市、土佐清水市）の地域スポーツハブに加え、2市（室戸市、香南市）の新規地域スポーツハブが立ち上がり、促進委員会が開催された。
- ・南国市、土佐市、土佐清水市で事業が開始された。

**<課題>**

ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実

- ・地域のニーズや課題を継続して収集する仕組みが十分でない。
- ・各地域スポーツハブにおいて実施される取組を次年度以降に継続するための工夫が必要。
- ・地域スポーツハブがない地域への支援が不十分。

イ 地域のスポーツ活動を支える人材の育成

- ・将来を見据えて、総合型地域スポーツクラブのマネージャーや地域スポーツハブのコーディネーターなど、地域スポーツを支える人材の掘り起こしが必要。

ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実

- ・各地域スポーツハブの次回の促進委員会において、定期的なニーズ等の把握や各取組の継続について協議するよう促す。

- ・各取組を効果的に継続させるため、関係市町村を訪問し、本事業へのさらなる理解と協力を求める。

- ・次年度、新たに地域スポーツハブを立ち上げる候補地域の関係者に説明し、立ち上げに向けた準備を進める。

- ・地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める。

イ 地域のスポーツ活動を支える人材の育成

- ・高知県スポーツ振興県民会議及び専門部会をはじめ、地域スポーツに関連する取組等を通じて、市町村やスポーツ関係団体・関係者等と地域スポーツを支える人材の掘り起こしについて検討する。

**【KPI の状況】**

- ・広域に共通するニーズを捉えたスポーツ活動が展開され、広域からの参加が得られている。 ※R2.3月に確認

**<成果>**
**<課題>**

- ・地域スポーツハブがない地域のスポーツに関するニーズや課題の把握が難しい。
- ・幡多地区の取組においては、事務局に負担がかかっている。

- ・地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める

P 対策に位置付けた主な取組

D これまでの取組状況

<p><b>【取組③】</b></p> <p>総合型地域スポーツクラブの質的向上と自立的運営を促進するため、県スポーツ協会が行う総合型地域スポーツクラブの創設から自立までを一体的に支援するクラブアドバイザーや、総合型地域スポーツクラブの運営の核となるクラブマネージャーの育成を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツコーディネーター等育成塾事業(スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アシスタントマネージャー資格新規取得者増</li> </ul>	<p>ア 地域のスポーツ活動を支える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業担当者情報交換会(7月)</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ登録認証制度説明会(8月)</li> <li>・総合型地域スポーツクラブアシスタントマネージャー養成講座【予定】</li> </ul>
<p><b>【取組④】</b></p> <p>さらなる競技力の向上や地域におけるスポーツ活動の充実を図るため、指導者のリスト化やマッチング、活動の場の拡充など、スポーツ現場に指導者を提供する取組を行うとともに、民間クラブチーム等を含めた県内指導者の資質を継続的に高める資格取得・研修の拡充を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導者の資質向上・対象者の拡大・活動の場の拡充(スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者リストの登録数(調整中)</li> <li>・公認指導者資格取得者数(前年度比増)</li> </ul>	<p>ア 人材バンク(指導者のリスト化)によるマッチング</p> <p>県立学校長会での取り組みの周知(4/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校からの要望に応じた競技団体との調整(4/15~)</li> <li>・各団体への周知(5/17・5/24・5/27・5/31)</li> <li>・(高知県レクリエーション協会、高知県スポーツ推進委員連絡協議会、高知県障害者スポーツ指導者協議会、スポーツ協会加盟団体、市町村担当者会)運動部活動指導者研修会での周知(6/29・7/6・7/13)</li> </ul> <p>イ 資質向上及び対象者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団の指導者登録(4月~9月)</li> <li>・スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団養成講習会の実施(6/22)</li> <li>・スポーツ指導者研修会の実施(6/29)</li> <li>・スポーツ推進委員初任者研修会の実施(7/21)</li> <li>・日本スポーツ協会公認指導者資格取得講習会の開催</li> <li>・ウェイトリフティング(6月/6名)、バドミントン【10月】、水泳【2月】</li> <li>・障がい者スポーツ指導員養成講習会【9月・11月】</li> <li>・研修会の開催</li> <li>・全高知チームによる実践研修(4月~3月)</li> <li>・SSCによるスポーツ医科学研修【11月】</li> </ul>
<p><b>【取組⑤】</b></p> <p>スポーツを知る機会を拡充し、スポーツ参加の拡大につなげるため、県民スポーツ月間によるスポーツ機運の醸成を図る取組を進めるとともに、インターネット等を活用した情報発信の強化や情報収集・発信網の拡大を進めます。また、スポーツ活動において若者が企画・運営・PRに関わる仕組みづくりを検討します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県スポーツ情報総合サイト「こうちスポーツNAVI」の新設</li> <li>・子どもから高齢者まで障害の有無に関わらず参加できるスポーツ体験イベント「スポーツJAMフェスタ」の開催</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトの閲覧者数(10月以降の設定)</li> <li>・イベント参加者数1,000人</li> </ul>	<p>ア SNS等を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagram、フェイスブックによる情報発信(4/24~)</li> <li>・高知工科大学との意見交換(5/29)</li> </ul> <p>イ スポーツ情報発信ウェブサイトによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札(4/18)</li> <li>・サイト名(こうちスポーツNAVI)の決定(5/9)</li> <li>・市町村担当者会での概要説明(5/31)</li> <li>・ウェブサイトで紹介するイベントや大会、サークルやクラブの募集(7/5~)</li> <li>・管理者(市町村、スポーツ関係団体)へのイベント情報登録依頼(7/25)</li> </ul> <p>ウ スポーツJAMフェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK高知放送局との協議(5/28、7/26)</li> <li>・高知陸上競技協会、高知大学との協議(5/22、6/26)</li> <li>・(一社)日本トップリーグ連携機構への申請</li> <li>・高知県ラグビーフットボール協会との協議(5/24)</li> <li>・高知ソフトボール協会との協議(5/24)</li> <li>・高知県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との協議(6/21)</li> <li>・高知県レクリエーション協会での概要説明(6/25)</li> <li>・日本3B体操協会高知県支部との協議(7/16)</li> <li>・高知県フォークダンス連盟との協議(7/1)</li> <li>・ZUMBA講師及びまほろばクラブ南国との協議(7/5)</li> <li>・県立障害者スポーツセンターとの協議(6/27)</li> <li>・施設の利用申請(7/9)</li> <li>・共催申請(7/9)</li> <li>・飲食出店業者への出店打診(7/14~)</li> <li>・ボランティア募集依頼(県立大、福祉系専門学校)(8/2)</li> </ul>



C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アシスタントマネージャー資格新規取得者増 ※R2.3月に確認</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>—</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来を見据えて、総合型地域スポーツクラブのマネージャーや地域スポーツハブのコーディネーターなど、地域スポーツを支える人材の掘り起こしが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知県スポーツ振興県民会議及び専門部会をはじめ、地域スポーツに関連する取組等を通じて、市町村やスポーツ関係団体・関係者等と地域スポーツを支える人材の掘り起こしについて検討する。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者リストの登録数（調整中） ※R2.3月に集計</li> <li>公認指導者資格取得者数（前年度比増） ※R2.3月に集計</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 人材バンク（指導者のリスト化）によるマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校からの要望に対して情報提供することで、指導者の配置につながった。</li> </ul> <p>イ 資質向上及び対象者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全高知チームにおける実践研修が行われ、県内指導者の意識の変容につながっている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 人材バンク（指導者のリスト化）によるマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リストへの登録者が少ない。</li> <li>人材バンク制度が十分に認知されていない。</li> </ul> <p>イ 資質向上と対象者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公認指導者資格を持たない指導者に対する研修が少ない。</li> </ul>	<p>ア 人材バンク（指導者のリスト化）によるマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材バンク制度について、県が9月に開設するスポーツウェブサイトや関係団体のホームページ等を活用して周知を図る。</li> <li>県内の大学生に指導者として人材バンクに登録してもらえるよう、各大学の運動部に理解・協力を求める。</li> </ul> <p>イ 資質向上及び対象者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より多くのジュニア指導者の資質向上を図るための対策について、競技団体等からのヒアリングや関係団体との協議を行い、施策に反映できるよう検討する。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイトの閲覧者数（10月以降の設定） ※10月以降に毎月集計</li> <li>イベント参加者数 1,000人 ※10月初旬に集計</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こうちスポーツ NAVI に掲載するスポーツ情報の集約が進んだ。</li> <li>スポーツ JAM フェスタは、NHK など民間企業と連携した企画を盛り込むことができた。また、障害者も参加できる大会を新たに企画することができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こうちスポーツ NAVI の周知</li> <li>スポーツ JAM フェスタにおける若者が関心を示すイベント内容の充実</li> </ul> <p>(来年度に向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージ別のニーズに適した情報発信対策</li> <li>こうちスポーツ NAVI 内で、イベント等への応募ができる応募フォームの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こうちスポーツ NAVI の運用開始 (9/1~)</li> <li>スポーツ JAM フェスタの開催 (10/6)</li> </ul>

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

<p><b>【取組⑥】</b></p> <p>誰もが気軽にスポーツに親しむ機会を創出するため、体験型のイベントを開催するとともに、地域スポーツの拠点づくりや県内企業が参加するイベントの開催、スポーツ推進委員によるスポーツ体験会などを支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから高齢者まで障害の有無に関わらず参加できるスポーツ体験イベント「スポーツ JAM フェスタ」の開催【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント参加者数 1,000 人</li> </ul>	<p><b>ア スポーツ JAM フェスタの開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NHK 高知放送局との協議 (5/28、7/26)</li> <li>高知陸上競技協会、高知大学との協議 (5/22、6/26)</li> <li>(一社) 日本トップリーグ連携機構への申請</li> <li>高知県ラグビーフットボール協会との協議 (5/24)</li> <li>高知ソフトボール協会との協議 (5/24)</li> <li>高知県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との協議 (6/21)</li> <li>高知県レクリエーション協会での概要説明 (6/25)</li> <li>日本 3 B 体操協会高知県支部との協議 (7/16)</li> <li>高知県フォークダンス連盟との協議 (7/1)</li> <li>ZUMBA 講師及びまほろばクラブ南国との協議 (7/5)</li> <li>県立障害者スポーツセンターとの協議 (6/27)</li> <li>施設の利用申請 (7/9)</li> <li>共催申請 (7/9)</li> <li>飲食出店業者への出店打診 (7/14~)</li> <li>ボランティア募集依頼 (県立大、福祉系専門学校) (8/2)</li> </ul>
<p><b>【取組⑦】</b></p> <p>障害者スポーツ情報を効果的に収集・発信・共有する体制を構築するとともに、特別支援学校を中心に多様な関係者が連携して、在校生、卒業生、地域住民など誰もが参加できるスポーツ機会を提供します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害者スポーツ推進プロジェクト</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各取組ごとに設定する評価指標の達成</li> </ul>	<p><b>ア 誰もが参加できるスポーツ機会の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ庁との委託契約締結 6/10</li> <li>再委託先との打ち合わせ             <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO 法人まほろばクラブ南国との協議 (5/29)</li> <li>NPO 法人総合クラブとさ、日高特別支援学校との協議 (6/14)</li> <li>NPO 法人まほろばクラブ南国、山田特別支援学校との協議 (6/17)</li> </ul> </li> <li>再委託先との契約             <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO 法人総合クラブとさ委託契約締結 (6/28)</li> <li>NPO 法人くぼかわスポーツクラブ委託契約締結 (7/3)</li> <li>高知県社会福祉協議会委託契約締結 (7/10)</li> <li>NPO 法人まほろばクラブ南国契約締結 (7/10)</li> </ul> </li> <li>第 1 回実行委員会の開催 7/8</li> <li>NPO 法人総合クラブとさ第 1 回関係者検討会 (7/18)</li> <li>NPO 法人総合クラブとさ取組視察 (7/22)</li> <li>NPO 法人くぼかわスポーツクラブ第 1 回関係者検討会 (8/1)</li> </ul>
<p><b>【取組⑧】</b></p> <p>市町村が行う、地域の特色あるスポーツの競技力向上やスポーツツーリズムの推進につながる施設整備を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進交付金 (スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p>	<p><b>ア 施設整備の支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進交付金交付要綱及び実施要領の制定 (7/11)</li> </ul>

**2 第 2 期高知県スポーツ推進計画における指標の状況**

	H29	H30	H31 目標値
総合型地域スポーツクラブの会員数	7,726 人		8,500 人以上
運動やスポーツを行っているが、もっと行いたいと思う人の割合	25.2% (H28)		30%以上
運動やスポーツに関心が無い人の割合	13.3% (H28)		10%以下
各地域スポーツハブでのスポーツ活動数	-		地域スポーツハブ立ち上げから 3 年後のスポーツ活動数が、立ち上げ年度比で 10%増

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント参加者数 1,000 人 ※10月以降に毎月集計</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>スポーツ JAM フェスタは、NHK など民間企業と連携した企画を盛り込むことができた。また、障害者も参加できる大会を新たに企画することができた。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ JAM フェスタにおける若者が関心を示すイベント内容の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ JAM フェスタの開催 (10/6)</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各取組ごとに設定する評価指標の達成 ※R2.3月に確認</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の課題を共有し、改善策が講じられている。</li> <li>各事業のプロジェクト検討委員が地域住民や関係団体等に事業への協力や参加について声をかけ、スポーツ参加の拡充につながりつつある。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移動手段の確保</li> <li>本事業の情報が地域住民等に十分に届いていない。</li> <li>在校生や施設入所者の参加はあるが、在宅の方の参加が少ない。</li> <li>各取組の継続と普及を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動手段の確保については、地域の関係機関や団体が所有するバス等の利用の検討を促す。</li> <li>情報発信については、県のホームページや9月に開設するスポーツウェブサイトをはじめ、関係市町村や関係団体等からの情報発信の協力を求め、積極的な PR に努める。</li> <li>特別支援学校の卒業生の在宅者に対しては、学校の広報機会を捉えて、情報発信を行う。</li> <li>本事業で実施する各取組の継続や、成果の普及について、具体的な対策をまとめて次年度につなげる。</li> </ul>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>—</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施計画の提出に向けた市町村との連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施計画の進捗管理</li> </ul>

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 1-(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>幼児期の運動機会を増やすため、「幼児期運動指針」に沿った理論と実技を学ぶことができる研修会の開催など、運動遊びの指導ができる人材の育成に取り組みます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育・保健体育指導力向上伝達講習会（幼児の運動遊び部会）（保健体育課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育・保健体育指導力向上伝達講習会（幼児の運動遊び）の参加者 50 名以上。</li> </ul>	<p>ア 体育・保健体育指導力向上伝達講習会（幼児の運動遊び部会）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 8/23（春野総合運動公園体育館）</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>誰もが気軽にスポーツに親しむ機会を創出するため、体験型のイベントを開催するとともに、地域スポーツの拠点づくりや県内企業が参加するイベントの開催、スポーツ推進委員によるスポーツ体験会などを支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもから高齢者まで障害の有無に関わらず参加できるスポーツ体験イベント「スポーツ JAM フェスタ」の開催【再掲】</li> <li>・ 企業合同交流運動会の開催（県企業スポーツ推進協議会主催）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント参加者数 1,000 人</li> <li>・ 運動会参加者満足度：実施後に実施するアンケート結果で「よかった」と回答した参加者の割合が 8 割以上</li> </ul>	<p>ア スポーツ JAM フェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NHK 高知放送局との協議（5/28、7/26）</li> <li>・ 高知陸上競技協会、高知大学との協議（5/22、6/26）</li> <li>・ （一社）日本トップリーグ連携機構への申請</li> <li>・ 高知県ラグビーフットボール協会との協議（5/24）</li> <li>・ 高知ソフトボール協会との協議（5/24）</li> <li>・ 高知県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との協議（6/21）</li> <li>・ 高知県レクリエーション協会での概要説明（6/25）</li> <li>・ 日本 3 B 体操協会高知県支部との協議（7/16）</li> <li>・ 高知県フォークダンス連盟との協議（7/1）</li> <li>・ ZUMBA 講師及びまほろばクラブ南国との協議（7/5）</li> <li>・ 県立障害者スポーツセンターとの協議（6/27）</li> <li>・ 施設の利用申請（7/9）</li> <li>・ 共催申請（7/9）</li> <li>・ 飲食出店業者への出店打診（7/14～）</li> <li>・ ボランティア募集依頼（県立大、福祉系専門学校）（8/2）</li> </ul> <p>イ 企業合同交流運動会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知県企業スポーツ推進協議会 総会の開催【9月】</li> </ul>
<p><b>【取組③】</b></p> <p>地域スポーツハブや総合型地域スポーツクラブ等が提供するスポーツ活動が、子どもから高齢者、子育て世代、職場、女性、障害者などの多様なニーズに応じた取組として拡充するよう支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 6）</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充</p> <p>① 地域スポーツハブの設置等に向けた打ち合わせ会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南国市（2 回実施） ・ 土佐市（2 回実施） ・ 土佐清水市（2 回実施）</li> <li>・ 室戸市（3 回実施） ・ 香南市（1 回実施）</li> </ul> <p>② 地域スポーツコーディネーターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南国市（まほろばクラブ南国）：5 月</li> <li>・ 土佐市（総合クラブとさ）：4 月</li> <li>・ 土佐清水市（スポーツクラブスクラム）：4 月</li> <li>・ 室戸市（むろとスポーツクラブ）：4 月</li> <li>・ 香南市（こうなんスポーツクラブ）：7 月</li> </ul> <p>③ 促進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南国市（3 回実施） ・ 土佐市（1 回実施） ・ 土佐清水市（3 回実施）</li> <li>・ 室戸市（1 回実施）</li> </ul> <p>④ 事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南国市【1 事業（1 回）】 ・ 土佐市【2 事業（5 回）】</li> <li>・ 土佐清水市【2 事業（2 回）】</li> </ul>

**対策  
の  
概要**

地域の実情や多様なニーズに応じたスポーツ環境の充実に向けて、地域スポーツハブ等が核となって行う取組を支援するとともに、多様なスポーツ活動への参加機会の拡充を図ります。また、運動遊びコーディネーターを養成するための研修会や「幼児期運動指針」に沿った理論と実技を学ぶことができる研修会の開催など、運動遊びの指導ができる人材の育成に取り組みます。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**

<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育・保健体育指導力向上伝達講習会（幼児の運動遊び）の参加者 50 名以上。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県教育センターと連携して進めた結果、現時点で 161 名の保育士や小学校教員等の参加申込となっている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も県教育センターと連携しながら、幼児期の運動遊びに関する指導者の指導力向上を図っていく。</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント参加者数 1,000 人 ※10月に確認</li> <li>・ 運動会参加者満足度：実施後に実施するアンケート結果で「よかった」と回答した参加者の割合が8割以上 ※11月に確認</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>スポーツ JAM フェスタは、NHK など民間企業と連携した企画を盛り込むことができた。また、障害者も参加できる大会を新たに企画することができた。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ JAM フェスタにおける若者が関心を示すイベント内容の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ JAM フェスタの開催（10/6）</li> <li>・ 企業合同交流運動会の開催（11月）</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 6） ※設置数：5（南国市、土佐市、土佐清水市、室戸市、香南市） ※四万十町は調整中</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度から継続している3市（南国市、土佐市、土佐清水市）の地域スポーツハブに加え、2市（室戸市、香南市）の新規地域スポーツハブが立ち上がり、促進委員会が開催された。</li> <li>・ 南国市、土佐市、土佐清水市で事業が開始された。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のニーズや課題を継続して収集する仕組みが十分でない。</li> <li>・ 各地域スポーツハブにおいて実施される取組を次年度以降に継続するための工夫が必要。</li> <li>・ 地域スポーツハブがない地域への支援が不十分。</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地域スポーツハブの次回の促進委員会において、定期的なニーズ等の把握や各取組の継続について協議するよう促す。</li> <li>・ 各取組を効果的に継続させるため、関係市町村を訪問し、本事業へのさらなる理解と協力を求める。</li> <li>・ 次年度、新たに地域スポーツハブを立ち上げる候補地域の関係者に説明し、立ち上げに向けた準備を進める。</li> <li>・ 地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める。</li> </ul>

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組④】**

運動部活動の指導者の資質向上のための取組や、優秀な外部指導者の招へいなどにより、運動部活動の更なる充実を図ります。

<具体的な事業>

- ・運動部活動サポート事業（保健体育課）
- ・運動部活動指導員派遣事業（保健体育課）

<取組の KPI>

- ・公立中学校及び高等学校・特別支援学校への運動部活支援員の派遣部数と運動部活動指導員の配置部数の合計：170 部以上

**ア 外部指導者等の招へい**

**【公立中学校】**

- ・運動部活動支援員の派遣状況  
33 校 84 部（54 名）（うち中山間対策 2 校 4 部 3 名）
- ・運動部活動指導員の配置状況  
20 校 37 部（27 名）（9 市町）  
市町村立中学校：16 校 30 部 22 名  
県立中学校：4 校 7 部 5 名  
※H30：市町村立中学校 4 校 6 部（4 市）、県立中学校 1 校 2 部に配置

**【高等学校・特別支援学校】**

- ・運動部活動支援員の配置状況  
19 校 55 部（37 名）
- ・運動部活動指導員の配置状況  
17 校 23 部（23 名）  
※H30：県立高等学校・特別支援学校 12 校 15 部（15 名）

**イ 運動部活動支援員、運動部活動指導員の研修会の実施**

- ・支援員・指導員合同研修会（1 回）10 月～12 月の期間で実施  
※講師はスポーツ医・科学面からサポートできるスポーツトレーナーを予定
- ・コーチングアカデミー（県スポーツ協会主催）への参加（1 回）

**ウ 高知県スポーツ指導者バンクの活用**

- ・研修会等における登録要請の実施  
9 月以降に開催する運動部活動支援員、運動部活動指導員対象の研修会にて登録要請を予定

**【取組⑤】**

地域スポーツハブ等が行う子どもたちが切れ目無くスポーツに親しむことができる環境づくりを支援します。

<具体的な事業>

- ・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）【再掲】

<取組の KPI>

- ・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 6）

**ア 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充**

**①地域スポーツハブの設置等に向けた打ち合わせ会の開催**

- ・南国市（2 回実施） ・土佐市（2 回実施） ・土佐清水市（2 回実施）
- ・室戸市（3 回実施） ・香南市（1 回実施）

**②地域スポーツコーディネーターの設置**

- ・南国市（まほろばクラブ南国）：5 月
- ・土佐市（総合クラブとさ）：4 月
- ・土佐清水市（スポーツクラブスクラム）：4 月
- ・室戸市（むろとスポーツクラブ）：4 月
- ・香南市（こうなんスポーツクラブ）：7 月

**③促進委員会の開催**

- ・南国市（3 回実施） ・土佐市（1 回実施） ・土佐清水市（3 回実施）
- ・室戸市（1 回実施）

**④事業の実施**

- ・南国市【1 事業（1 回）】 ・土佐市【2 事業（5 回）】
- ・土佐清水市【2 事業（2 回）】

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動部活動支援員の派遣部数と運動部活動指導員の配置部数の合計 199 部（8月時点）</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動部活動指導員の配置が拡大し、教員の負担軽減が進んできている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動部活動指導員の配置を増やすこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村教育委員会や県立学校に対して、運動部活動指導員配置についての意向を聞き取りながら、次年度のさらなる増員に向けた取組を進める。</li> <li>支援員や指導員に対してスポーツ課の高知県スポーツ指導者バンクへの登録を促すとともに、市町村教育委員会にもこの制度を紹介し周知させることで、マッチングによる配置・拡大を進める。</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 6） ※設置数：5（南国市、土佐市、土佐清水市、室戸市、香南市） ※四万十町は調整中</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度から継続している 3 市（南国市、土佐市、土佐清水市）の地域スポーツハブに加え、2 市（室戸市、香南市）の新規地域スポーツハブが立ち上がり、促進委員会が開催された。</li> <li>南国市、土佐市、土佐清水市で事業が開始された。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のニーズや課題を継続して収集する仕組みが十分でない。</li> <li>各地域スポーツハブにおいて実施される取組を次年度以降に継続するための工夫が必要。</li> <li>地域スポーツハブがない地域への支援が不十分。</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域スポーツハブの次回の促進委員会において、定期的なニーズ等の把握や各取組の継続について協議するよう促す。</li> <li>各取組を効果的に継続させるため、関係市町村を訪問し、本事業へのさらなる理解と協力を求める。</li> <li>次年度、新たに地域スポーツハブを立ち上げる候補地域の関係者に説明し、立ち上げに向けた準備を進める。</li> <li>地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める。</li> </ul>

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組⑥】**

「高知龍馬マラソン」、「県民スポーツフェスティバル」、「レクリエーション大会」など、県民の誰もが参加しやすいスポーツイベントを開催することを通じて、スポーツ活動への参加機会を提供します。

<具体的な事業>

- ・高知龍馬マラソン（スポーツ課）
- ・県民スポーツ月間関連イベントの開催
- ・子どもから高齢者まで障害の有無に関わらず参加できるスポーツ体験イベント「スポーツ JAM フェスタ」の開催

<取組の KPI>

- ・高知龍馬マラソン：1万人規模の大会継続
- ・県スポ・レク大会の開催（15団体）
- ・スポーツ JAM フェスタ参加者数 1,000人

**ア スポーツイベントの開催**

①高知龍馬マラソンの開催

- ・ファンラン種目に関する協議（4月～）
- ・他県大会の聞き取り調査（4月～）
- ・関係機関等との調整  
県警（5/8、6/6、6/24、7/1、7/5、7/26）

②高知龍馬マラソン関連イベント

- ・「FREE10」の実施（7/15）

③第36回高知県スポーツ・レクリエーション大会

- ・高知県レクリエーション協会評議員会・理事会合同会議（5/10）
- ・第1回実行委員会（6/25）
- ・第2回実行委員会（8/1）

④スポーツ JAM フェスタの開催

- ・NHK 高知放送局との協議（5/28、7/26）
- ・高知陸上競技協会、高知大学との協議（5/22、6/26）
- ・（一社）日本トップリーグ連携機構への申請
- ・高知県ラグビーフットボール協会との協議（5/24）
- ・高知ソフトボール協会との協議（5/24）
- ・高知県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との協議（6/21）
- ・高知県レクリエーション協会での概要説明（6/25）
- ・日本3B体操協会高知県支部との協議（7/16）
- ・高知県フォークダンス連盟との協議（7/1）
- ・ZUMBA 講師及びまほろばクラブ南国との協議（7/5）
- ・県立障害者スポーツセンターとの協議（6/27）
- ・施設の利用申請（7/9）
- ・共催申請（7/9）
- ・飲食出店業者への出店打診（7/14～）
- ・ボランティア募集依頼（県立大、福祉系専門学校）（8/2）

**【取組⑦】**

県老人クラブ連合会が開催する「ろうれんピック」及び高知県社会福祉協議会が開催する「こうちシニアスポーツ交流大会」、「ねんりんピック」への選手派遣の支援を通じ、高齢者の健康と生きがいづくりの推進を図ります。

<具体的な事業>

- ・高知県老人クラブ連合会活動促進事業（高齢者福祉課）
- ・高齢者の生きがいと健康づくり事業（高齢者福祉課）

**ア 大会の開催及び選手派遣**

①こうちシニアスポーツ交流大会の開催

- ・総合開会式（5/9）
- ・種目別競技会（20種目）の開催（4/29～6/22）

②ねんりんピック紀の国わかやま 2019 への選手派遣支援：開催期間【11/9～11/12】

③ろうれんピックの開催支援

- ・東部会場（芸西村）【10/10】
- ・中部会場（高知市）【11/22】
- ・西部会場（黒潮町）【10/31】



C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知龍馬マラソン：1万人規模の大会継続 <ul style="list-style-type: none"> <li>※R2.2月末に確認</li> </ul> </li> <li>・高知県スポーツ・レクリエーション大会の開催（15団体） <ul style="list-style-type: none"> <li>※13団体で開催</li> </ul> </li> <li>・スポーツ JAM フェスタ参加者数 1,000人 <ul style="list-style-type: none"> <li>※10月に確認</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>①高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去最高のフルマラソンエントリー数を記録。（2019大会）</li> <li>・高知龍馬マラソン関連イベント「FREE10」の新規開催(54人)</li> </ul> <p>②第36回高知県スポーツ・レクリエーション大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の全レクのレガシーにより、各団体が積極的に活動をしている</li> </ul> <p>③スポーツ JAM フェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK など民間企業と連携した企画を盛り込むことができた。また、障害者も参加できる大会を新たに企画することができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>①高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートゲートでのランナーの滞留による、大幅な遅れによる第一関門収容者数の大幅な増加。警備の強化。</li> </ul> <p>②第36回高知県スポーツ・レクリエーション大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度実施した全国レクリエーション大会の成果を反映する必要がある。</li> <li>・各会場の参加者増に向けた対応が必要。</li> </ul> <p>③スポーツ JAM フェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ JAM フェスタにおける若者が関心を示すイベント内容の充実。</li> </ul>	<p>①高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県警との警備計画についての協議</li> <li>・大幅な遅れの原因となった、警備会社、仮設トイレ業者、コーン設置・除去会社との改善に向けた協議。また、大会終了後、課題の洗い出し及び改善に向けた報告の義務化。</li> </ul> <p>②第36回高知県スポーツ・レクリエーション大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月から10月に開催</li> <li>・県のホームページや9月に開設するスポーツウェブサイト等の活用、関係団体等への情報提供、報道機関による情報発信などにより、大会の周知を図る。</li> </ul> <p>③スポーツ JAM フェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ JAM フェスタの開催（10/6）</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>①こうちシニアスポーツ交流大会の開催</p> <p>1,333名が参加（対前年度比名▲11名）</p> <p>&lt;課題&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会への参加者数が伸び悩みまたは減少傾向にあることから、生きがいや健康づくりに資する活動についてより広く認知してもらえよう、関係団体の取組を支援していく。</li> </ul> <p>①こうちシニアスポーツ交流大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の開催（2月頃予定）</li> </ul>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
1週間の層運動時間が60分未満の児童生徒の割合	小学5年男子：7.3% (6.3%) 小学5年女子：12.7% (11.6%) 中学2年男子：9.7% (6.0%) 中学2年女子：22.4% (19.1%) ※ ( ) は全国平均		全国平均値
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する男性(20代・30代・40代)の割合	38.3% (H28)		45%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する女性(20代・30代・40代)の割合	27.5% (H28)		32%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する男性(50代・60代)の割合	46.8% (H28)		55%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する女性(50代・60代)の割合	49.9% (H28)		60%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する男性(70代)の割合	58.2% (H28)		69%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する女性(70代)の割合	51.2% (H28)		60%以上
高知県障害者スポーツ大会への参加者数	1,471人	1,539人	1,600人以上



<b>基本方向 10</b>	スポーツの振興を図る
<b>対策 1- (3)</b>	障害者のスポーツ参加機会の拡充

**7 対策に位置付けた取組の実施状況**

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>県障害者スポーツセンターが、スポーツ推進委員をはじめとする各地域のスポーツ関係者や地域スポーツハブと連携する取組を支援し、地域における障害者のスポーツ活動を支援する体制づくりを促進します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツ推進プロジェクト（スポーツ課） 【再掲】</li> <li>・障害者スポーツ競技力向上支援事業（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各取組ごとに設定する評価指標の達成</li> </ul>	<p>ア 誰もが参加できるスポーツ機会の提供</p> <p>①障害者スポーツ推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ庁との委託契約締結 6/10</li> <li>・再委託先との打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO法人まほろばクラブ南国との協議 (5/29)</li> <li>NPO法人総合クラブとさ、日高特別支援学校との協議 (6/14)</li> <li>NPO法人まほろばクラブ南国、山田特別支援学校との協議 (6/17)</li> </ul> </li> <li>・再委託先との契約 <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO法人総合クラブとさ委託契約締結 (6/28)</li> <li>NPO法人くぼかわスポーツクラブ委託契約締結 (7/3)</li> </ul> </li> <li>高知県社会福祉協議会委託契約締結 (7/10)</li> <li>NPO法人まほろばクラブ南国契約締結 (7/10)</li> </ul> <p>・第1回実行委員会の開催 7/8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人総合クラブとさ第1回関係者検討会 (7/18)</li> <li>・NPO法人総合クラブとさ取組視察 (7/22)</li> <li>・NPO法人くぼかわスポーツクラブ第1回関係者検討会 (8/1)</li> </ul> <p>②障害者スポーツ競技力向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの配置 (4/1)</li> <li>県立盲学校に対するヒアリング (4/3)</li> <li>県立青少年の家に対するヒアリング(4/10)</li> <li>障害者スポーツセンターに対するヒアリング (5/28)</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>地域や学校におけるオリンピック・パラリンピック教育を強く推進し、障害者スポーツ等の理解や共生社会の実現に向けた学習機会の充実を図ります。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック・ムーブメント 全国展開事業（保健体育課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の公立小・中学校でのオリンピック・パラリンピック教育を実施した割合が昨年度を上回る。小学校 47.7% 中学校 53.6%</li> </ul>	<p>ア オリンピック・パラリンピック教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック教育研修会の実施 2回 地域セミナー：高知市 7/29 宿毛市 8/16 地域ワークショップ：2/20</li> <li>・ホストタウンと連携した地域の取組実践モデルの構築 宿毛市との委託契約完了 7月</li> <li>・推進校と連携した取組実践モデルの構築 須崎市立朝ヶ丘中学校、香美市立片地小学校、香美市立香長小学校</li> <li>・出前授業等の実施：市町村へ募集要項配布 6/10 → 8月中に派遣校を選定中 あすチャレ！ School in KOCHI：7校（全校種対象） ゆめチャレ！ School in KOCHI：2校（全校種対象） パラスポ体験教室：10校（全校種対象） 障がい者スポーツ選手による記念講演会の実施：4校（全校種対象） スポチャレ！ School in KOCHI：6校（特別支援学校対象）</li> <li>・オリバラ教材（指導資料（I'mPOSSIBLE））の活用促進 小学校、中学校、高等学校・特別支援学校の体育主任研修会等で周知</li> </ul>

対策  
の  
概要

県障害者スポーツセンターや地域スポーツクラブ等が核となって、学校、競技団体、福祉関係者などが連携する仕組みづくりを行うことにより、地域で障害者が安心してスポーツ活動に参加できる環境を創出し、障害者のスポーツ参加の増加を目指します。

また、障害者をはじめ配慮が必要な多様な人々が、スポーツを通じて社会参画できるよう、障害者スポーツの理解啓発や、障害の有無に関わらず誰もが一緒に活動することができる機会の拡充などを通じて、共生社会の実現を目指します。

## C 取組の成果・課題

## A 今後の取組の方向

## 【KPI の状況】

- 各取組ごとに設定する評価指標の達成  
※R2.3月に確認

## &lt;成果&gt;

- 昨年度の課題を共有し、改善策が講じられている。
- 各事業のプロジェクト検討委員が地域住民や関係団体等に事業への協力や参加について声をかけ、スポーツ参加の拡充につながりつつある。

## &lt;課題&gt;

- ①障害者スポーツ推進プロジェクト（4団体で実施）
  - 移動手段の確保
  - 本事業の情報が地域住民等に十分に届いていない。
  - 在校生や施設入所者の参加はあるが、在宅の方の参加が少ない。
  - 各取組の継続と普及を図る必要がある。
- ②障害者スポーツ競技力向上支援事業
  - 障害者スポーツをサポートする人材が不足している。
  - 既存のチームや団体の活動が十分に認知されていない。
  - 個人や団体の活動を支援する制度や体制が不十分。

## ①障害者スポーツ推進プロジェクト

- 移動手段の確保については、地域の関係機関や団体が所有するバス等の利用の検討を促す。
- 情報発信については、県のホームページや9月に開設するスポーツウェブサイトをはじめ、関係市町村や関係団体等からの情報発信の協力を求め、積極的なPRに努める。
- 特別支援学校の卒業生の在宅者に対しては、学校の広報機会を捉えて、情報発信を行う。
- 本事業で実施する各取組の継続や、成果の普及について、具体的な対策をまとめて次年度につなげる。

## ②障害者スポーツ競技力向上支援事業

- 地域地域における障害者スポーツをコーディネートする人材として、スポーツ推進委員に協力を求めるとともに、スポーツ推進委員の障害者スポーツの理解を深めるための研修会を実施する。
- 県のホームページや9月に開設するスポーツウェブサイト等を活用し、既存のチームや団体の紹介を行うとともに、県に配置している障害者スポーツ競技力向上支援コーディネーターによる関係者への情報提供を行う。
- 個人や団体の活動の充実に向けて、支援制度の在り方や支援体制について関係団体等と協議し、具体的な対策をまとめ、次年度につなげる。

## 【KPI の状況】

- 県内の公立小・中学校でのオリンピック・パラリンピック教育を実施した割合が昨年度を上回る。（H30:小学校 47.7% 中学校 53.6%）  
（平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査）

## &lt;成果&gt;

- 今年度は推進校を新たに3校増やすことができた。

## &lt;課題&gt;

- オリンピック・パラリンピック教育を実施する（実施予定）学校が少ない。取組の具体的方法をさらに広げる必要がある。

- 今年度中に、推進校等の実践等をもとに、オリパラ教育の具体的な取組の進め方について資料を作成しHP等に掲載する。

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組③】</b></p> <p>障害者が身近な地域で日常的にスポーツ活動に参加しやすい環境を整備するため、地域スポーツハブ等が、市町村、学校、競技団体、福祉関係者などと連携する取組を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業(スポーツ課)【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域スポーツハブ」設置数(設置目標6)</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充</p> <p>①地域スポーツハブの設置等に向けた打ち合わせ会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市(2回実施) ・土佐市(2回実施) ・土佐清水市(2回実施)</li> <li>・室戸市(3回実施) ・香南市(1回実施)</li> </ul> <p>②地域スポーツコーディネーターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市(まほろばクラブ南国):5月</li> <li>・土佐市(総合クラブとさ):4月</li> <li>・土佐清水市(スポーツクラブスクラム):4月</li> <li>・室戸市(むろとスポーツクラブ):4月</li> <li>・香南市(こうなんスポーツクラブ):7月</li> </ul> <p>③促進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市(3回実施) ・土佐市(1回実施) ・土佐清水市(3回実施)</li> <li>・室戸市(1回実施)</li> </ul> <p>④事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市【1事業(1回)】 ・土佐市【2事業(5回)】</li> <li>・土佐清水市【2事業(2回)】</li> </ul>
<p><b>【取組④】</b></p> <p>障害者のスポーツ活動を支援する指導者やボランティアを育成します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ指導員養成事業(スポーツ課)</li> <li>・障がい者スポーツ指導員養成講習会派遣事業(スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ指導員の増加(240名)</li> </ul>	<p>ア 指導者等の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ指導員養成事業委託契約締結</li> <li>・障がい者スポーツ指導員養成講習会(中級)【9月・11月】</li> <li>・障がい者スポーツ指導員養成講習会派遣(上級)【8月～9月・10月～11月】</li> </ul>
<p><b>【取組⑤】</b></p> <p>県内トップ選手の活動をさらに充実させるための経費面の支援を行うとともに、県競技団体が中央競技団体と連携し、計画的・戦略的にトップ選手の育成・強化を行う一貫指導体制の整備を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業(特別強化選手支援)(スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別強化選手の指定選手数(S指定:15名、A指定:35名、B指定:40名)</li> </ul>	<p>ア トップ選手の育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動費の交付(4月～)</li> </ul> <p>*S指定 12名(うち障害者2名) (飛込、レスリング、ソフトボール、卓球、ハンドボール、ウチアゲラグビー、近代五種、バドミントン)</p> <p>*A指定 30名(うち障害者5名) (ゴルフ、クレー射撃、レスリング、ライフル射撃、卓球、競泳、陸上、飛込、ソフトボール、パラオムニクス)</p> <p>*B指定 38名(うち障害者1名) (飛込、ゴルフ、陸上、卓球、レスリング、ソフトボール、車いすバスケットボール、柔道、自転車)</p>

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域スポーツハブ」設置数（設置目標6）</li> <li>※設置数：5（南国市、土佐市、土佐清水市、室戸市、香南市）</li> <li>※四万十町は調整中</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から継続している3市（南国市、土佐市、土佐清水市）の地域スポーツハブに加え、2市（室戸市、香南市）の新規地域スポーツハブが立ち上がり、促進委員会が開催された。</li> <li>・南国市、土佐市、土佐清水市で事業が開始された。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のニーズや課題を継続して収集する仕組みが十分でない。</li> <li>・各地域スポーツハブにおいて実施される取組を次年度以降に継続するための工夫が必要。</li> <li>・地域スポーツハブがない地域への支援が不十分。</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域スポーツハブの次回の促進委員会において、定期的なニーズ等の把握や各取組の継続について協議するよう促す。</li> <li>・各取組を効果的に継続させるため、関係市町村を訪問し、本事業へのさらなる理解と協力を求める。</li> <li>・次年度、新たに地域スポーツハブを立ち上げる候補地域の関係者に説明し、立ち上げに向けた準備を進める。</li> <li>・地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者スポーツ指導員の増加（240名）</li> <li>※H30年度：224名 R1.3月に確認</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>-</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得を目指す人材を増やすための手立てが必要。</li> <li>・日本障がい者スポーツ協会公認資格である「障がい者スポーツ指導員」が十分に認知されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ指導員及びその資格を取得する講習会について、県のホームページや9月に開設するスポーツウェブサイト等を活用して周知するとともに、県に配置している障害者スポーツ競技力向上支援コーディネーターによる関係者への直接の説明等を行い、広く周知する。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別強化選手の指定選手数（S指定：15名、A指定：35名、B指定：40名）</li> <li>※2019年度の特別強化選手の各カテゴリーの指定選手数の確定数（S指定：12名、A指定：30名、B指定：38名）</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業の取組により、特別強化選手の中で、全国大会入賞や世界大会出場・優勝などの成果が出ている。</li> </ul> <p>【主な成績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*S指定：飛込（日本選手権1位、世界大会2位）、レスリング（世界大会1位、アジア大会複数入賞）</li> <li>*A指定：レスリング（全国選抜、IH2位）、競泳（全国大会6位）、陸上（日本選手権2位）、ソフトボール（世界選手権2位）、飛込（日本選手権入賞）</li> <li>*B指定：飛込（関西選手権3位）、ゴルフ（全国大会4位）、柔道（全日本選手権2位）、レスリング（全日本選手権複数入賞）</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別強化選手が選ばれている競技種目がまだ少ない。（全47種目中、12種目：26%）</li> <li>・特別強化選手数を増やすとともに、ハイレベルの指定を受ける選手を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全高知チームを立ち上げている競技をはじめ、競技団体において、より質の高い戦略的な育成・強化が実践されるよう、県スポーツ協会と連携して引き続き支援する。</li> </ul>

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組⑥】**

障害者スポーツ情報の効果的な収集・発信・共有体制を構築するとともに、特別支援学校を中心に多様な関係者が連携して、在校生、卒業生、地域住民など誰もが参加できるスポーツ機会を提供します。

＜具体的な事業＞

・障害者スポーツ推進プロジェクト

＜取組のKPI＞

・各取組ごとに設定する評価指標の達成

**A 誰もが参加できるスポーツ機会の提供**

- ・スポーツ庁との委託契約締結 6/10
- ・再委託先との打ち合わせ
  - NPO法人まほろばクラブ南国との協議 (5/29)
  - NPO法人総合クラブとさ、日高特別支援学校との協議 (6/14)
  - NPO法人まほろばクラブ南国、山田特別支援学校との協議 (6/17)
- ・再委託先との契約
  - NPO法人総合クラブとさ委託契約締結 (6/28)
  - NPO法人くぼかわスポーツクラブ委託契約締結 (7/3)
  - 高知県社会福祉協議会委託契約締結 (7/10)
  - NPO法人まほろばクラブ南国契約締結 (7/10)
- ・第1回実行委員会の開催 7/8
- ・NPO法人総合クラブとさ第1回関係者検討会 (7/18)
- ・NPO法人総合クラブとさ取組視察 (7/22)
- ・NPO法人くぼかわスポーツクラブ第1回関係者検討会 (8/1)

**2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況**

対策4-(3)の指標	H29	H30	H31目標値
障害者がスポーツ参加しやすい仕組みを構築している総合型地域スポーツクラブ等の数	2団体		4団体



C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各取組ごとに設定する評価指標の達成 ※R2.3月に確認</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の課題を共有し、改善策が講じられている。</li> <li>各事業のプロジェクト検討委員が地域住民や関係団体等に事業への協力や参加について声をかけ、スポーツ参加の拡充につながりつつある。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移動手段の確保</li> <li>本事業の情報が地域住民等に十分に届いていない。</li> <li>在校生や施設入所者の参加はあるが、在宅の方の参加が少ない。</li> <li>各取組の継続と普及を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動手段の確保については、地域の関係機関や団体が所有するバス等の利用の検討を促す。</li> <li>情報発信については、県のホームページや9月に開設するスポーツウェブサイトをはじめ、関係市町村や関係団体等からの情報発信の協力を求め、積極的なPRに努める。</li> <li>特別支援学校の卒業生の在宅者に対しては、学校の広報機会を捉えて、情報発信を行う。</li> <li>本事業で実施する各取組の継続や、成果の普及について、具体的な対策をまとめて次年度につなげる。</li> </ul>

<b>基本方向 10</b>	スポーツの振興を図る
<b>対策 1- (4)</b>	中山間地域におけるスポーツ活動の充実

## 1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>市町村のスポーツ関係者等が市町村の枠を越えて連携・協働し、市町村単独では解決できない課題を解決する取組や集落活動センターにおけるスポーツ活動を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）</li> <li>・集落活動センター推進事業（中山間地域対策課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域に共通するニーズを捉えたスポーツ活動が展開され、広域からの参加が得られている。</li> </ul>	<p><b>ア 広域の関係者が連携した取組</b></p> <p>○スポーツ関係団体等が連携して行う取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県スポーツ協会による関係者との打ち合わせ（5月～7月）</li> </ul> <p>○幅多地区での取組（幅多地区広域エリア事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業開始 第1回（4/29）</li> <li>・エリアネットワーク会議（7/18；荒天のため延期）</li> </ul> <p><b>イ 集落活動センター等で行う健康づくり活動や運動会等、スポーツ活動に対する支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センター推進事業買補助金等による支援</li> <li>集落活動センター下川口家（令和元年秋開催予定 運動会実施）</li> <li>集落活動センター「汗見川」（6/16 運動会実施）</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>地域の実情に応じたスポーツ機会が拡充するよう、県スポーツ協会が行う既存の総合型地域スポーツクラブの質的向上の取組を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツコーディネーター等育成塾事業（スポーツ課）【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アシスタントマネージャー資格新規取得者増</li> </ul>	<p><b>ア 地域のスポーツ活動を支える人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業担当者情報交換会（7月）</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ登録認証制度説明会（8月）</li> <li>・総合型地域スポーツクラブアシスタントマネージャー養成講座【予定】</li> </ul>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
広域に共通するニーズを捉えたスポーツ活動が展開され、広域からの参加が得られている	-	-	-

**対策  
の  
概要**

市町村の枠を越えたスポーツ関係者等のネットワーク化を促進し、中山間地域で行うことができるスポーツ機会の充実を図ります。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**
**【KPI の状況】**

- ・広域に共通するニーズを捉えたスポーツ活動が展開され、広域からの参加が得られている。 ※R2.3月に確認

**<成果>**

-

**<課題>**
**ア 広域の関係者が連携した取組**

- ・地域スポーツハブがない地域のスポーツに関するニーズや課題の把握が難しい。
- ・幡多地区の取組においては、事務局に負担がかかっている。

**ア 広域の関係者が連携した取組**

- ・地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める

**【KPI の状況】**

- ・アシスタントマネージャー資格新規取得者増  
※R2.3月に確認

**<成果>**

-

**<課題>**

- ・将来を見据えて、総合型地域スポーツクラブのマネージャーや地域スポーツハブのコーディネーターなど、地域スポーツを支える人材の掘り起こしが必要。

- ・高知県スポーツ振興県民会議及び専門部会をはじめ、地域スポーツに関連する取組等を通じて、市町村やスポーツ関係団体・関係者等と地域スポーツを支える人材の掘り起こしについて検討する。

<b>基本方向 10</b>	スポーツの振興を図る
<b>対策 1- (5)</b>	多様なスポーツ機会の提供

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>サイクリングや登山、カヌーなど本県の自然環境を生かしたスポーツアクティビティの活性化に向けて、インフルエンサーからのアドバイスなどを環境整備や効果的なプロモーションに生かし取組を進めます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進(スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 1,500人(5大会)</li> <li>・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人</li> </ul>	<p>ア サイクリング</p> <p>①「ぐるっと高知サイクリングロード」環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングコース環境整備に向けた道路課との協議(随時)</li> <li>・サイクリングアイランド四国・4県連携サイクリングイベントキャンペーン(5/12～12/1)</li> </ul> <p>②サイクリング観光のプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSやパンフレットを活用したPR活動(随時)</li> <li>・高知仁淀ブルーライド(5/26)</li> </ul> <p>③県境をまたぐサイクリングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十・南予横断2リバービューライド担当者会(5/14)</li> <li>・四国4県連携イベント担当者会(4/2、7/17)</li> <li>・サイクリングアイランド四国推進協議会(4/26)</li> </ul> <p>イ サーフィン</p> <p>①サーフィン高知県知事杯担当者会(随時)</p>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>国内外で開催されるサイクリングイベントへの出展やサイクリング関連雑誌等での紹介などにより、県推奨のサイクリングコース(「ぐるっと高知サイクリングロード」)のプロモーション強化を行うとともに、四国一周サイクリングルートのプロモーションの実施や、県域を跨ぐサイクリングイベント等を開催します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進(スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 1,500人(5大会)</li> <li>・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人</li> </ul>	<p>ア サイクリング</p> <p>①「ぐるっと高知サイクリングロード」環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングコース環境整備に向けた道路課との協議(随時)</li> <li>・サイクリングアイランド四国・4県連携サイクリングイベントキャンペーン(5/12～12/1)</li> </ul> <p>②サイクリング観光のプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSやパンフレットを活用したPR活動(随時)</li> <li>・高知仁淀ブルーライド(5/26)</li> </ul> <p>③県境をまたぐサイクリングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十・南予横断2リバービューライド担当者会(5/14)</li> <li>・四国4県連携イベント担当者会(4/2、7/17)</li> <li>・サイクリングアイランド四国推進協議会(4/26)</li> </ul>

対策  
の  
概要

本県の豊かな自然環境を生かしたスポーツ活動を推進するとともに、全国規模の大会の誘致や新たなスポーツ大会の開催を支援することにより、県内の地域間交流の活性化や県外・国外からの参加による交流人口の拡大を図ります。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組の方向

【KPI の状況】

- ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）1,500 人（5 大会）
- ・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500 人

<成果>

- ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）54 人（1 大会）
- ・サイクリングイベントの県外参加者数 625 人（2 大会）

<課題>

ア サイクリング

- ・自然環境を生かしたスポーツ補助金活用後の自立したイベントの実施（計 3 年）
- ・出展イベントの選定が必要（効果の大きいイベントの調査）
- ・参加者増に向けた大会の磨き上げが必要
- ・集客増につながる取組の検討が必要（効率の良い集客方法等）
- ・4 県連携事業の協議が必要（開催方法などで課題がある）

イ サーフィン

- ・サーフィン高知県知事杯の PR 強化が必要（ギャラリーなど）

ア サイクリング

- ・道路課と連携したコース環境の整備
- ・高知県サイクリングロード環境整備調査
- ・インフルエンサーを活用した PR 活動（招請、動画 UP 等）
- ・各イベント開催に向けた関係者との協議
- ・イベントの開催
- ・4 県連携サイクリングイベントの検討（サイクリングアイランド四国）

イ サーフィン

- ・担当者会の開催
- ・第 54 回全日本サーフィン大会の開催（8/19～24）
- ・サーフィン知事杯の開催（11/3）

【KPI の状況】

- ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）1,500 人（5 大会）
- ・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500 人

<成果>

- ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）54 人（1 大会）
- ・サイクリングイベントの県外参加者数 625 人（2 大会）

<課題>

ア サイクリング

- ・自然環境を生かしたスポーツ補助金活用後の自立したイベントの実施（計 3 年）
- ・出展イベントの選定が必要（効果の大きいイベントの調査）
- ・参加者増に向けた大会の磨き上げが必要
- ・集客増につながる取組の検討が必要（効率の良い集客方法等）
- ・4 県連携事業の協議が必要（開催方法などで課題がある）

ア サイクリング

- ・道路課と連携したコース環境の整備
- ・高知県サイクリングロード環境整備調査
- ・インフルエンサーを活用した PR 活動（招請、動画 UP 等）
- ・各イベント開催に向けた関係者との協議
- ・イベントの開催
- ・4 県連携サイクリングイベントの検討（サイクリングアイランド四国）

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組③】</b> 大規模大会の誘致や新たなスポーツ大会、イベントの開催を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt; ・県民スポーツ月間関連イベントの開催</p> <p>&lt;取組の KPI&gt; ・県スポ・レク大会の開催 (15 団体) ・スポーツ推進員による地区別スポーツ振興事業の開催 (7 地区) ・自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業の補助金を活用して開催する大会の数 (6)</p>	<p>ア. 第 36 回高知県スポーツ・レクリエーション大会 ・高知県レクリエーション協会評議員会・理事合同会議 (5/10) ・第 1 回実行委員会 (6/25) ・第 2 回実行委員会 (8/1)</p> <p>イ. スポーツ推進員による地区別スポーツ振興事業 ・事前説明会 (3 月末…吾川・4/19…香美香南・4/26…高岡・5/12…高知市) ・県総会にて全地区へ説明 (5/24) ・市町村スポーツ担当者会での説明及び呼びかけ (5/30) ・開催地区の募集呼びかけ (6/12～)</p> <p>ウ. 自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業 ・高知龍馬マラソン関連イベント「FREE10」の実施 (7/15)</p>

## 2 第 2 期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
新たなスポーツ大会やイベントの数 (高知県観光コンベンション協会の助成金を活用して開催した新たなスポーツ大会やイベント)	1	1	6

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高知県スポーツ・レクリエーション大会の開催（15 団体） ※13 団体で開催</li> <li>スポーツ推進委員による地区別スポーツ振興事業の開催（7 地区） ※R 元年 10 月に確認</li> <li>自然環境を生かした補助金を活用した新たな大会等の数（6） ※新たな大会等の数：1</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア. 第 36 回高知県スポーツ・レクリエーション大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年の大会のレガシーにより、各団体が積極的に活動をしている</li> </ul> <p>イ. スポーツ推進委員による地区別スポーツ振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前の説明では、前向きな回答（7 地区中 4 地区）</li> </ul> <p>ウ. 自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高知龍馬マラソン関連イベント「FREE10」：参加者 54 名</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア. 第 36 回高知県スポーツ・レクリエーション大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度実施した全国レクリエーション大会の成果を反映する必要がある。</li> <li>各会場の参加者増に向けた対応が必要。</li> </ul> <p>イ. スポーツ推進委員による地区別スポーツ振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての地区（7 地区）での実施を目指す。</li> <li>各地区の取組の参加者増に向けた対応が必要。</li> </ul> <p>ウ. 自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たなスポーツイベント創出</li> <li>各市町村への自然環境を生かした補助金の周知</li> </ul>	<p>ア. 第 36 回高知県スポーツ・レクリエーション大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9 月から 10 月に開催</li> <li>県のホームページや 9 月に開設するスポーツウェブサイト等の活用、関係団体等への情報提供、報道機関による情報発信などにより、大会の周知を図る。</li> </ul> <p>イ. スポーツ推進委員による地区別スポーツ振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施に関する地区ごとの状況を把握し、全ての地区で実施されるよう支援する。</li> <li>実施が決まった地区の取組については、県のホームページや 9 月に開設するスポーツウェブサイト、開催地区の市町村の SNS 等を活用した周知を図る。</li> </ul> <p>ウ. 自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村に自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業補助金を周知する。</li> </ul>

<b>基本方向 10</b>	スポーツの振興を図る
<b>対策 1-(6)</b>	スポーツを通じた健康増進

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>高知家健康パスポート事業の啓発を行い、総合型地域スポーツクラブ等運動施設の利用やスポーツイベントへの参加等による健康づくりを推進します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知家健康パスポート事業（健康長寿政策課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知家健康パスポート I 取得者数</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの健康パスポート事業参加率</li> <li>・ヘルシーポイントが付与された主要なスポーツイベントの数</li> </ul>	<p>ア 健康パスポート事業を活用した総合型地域スポーツクラブの利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PRパンフレット、市町村広報誌等による広報の実施</li> <li>・未参加の総合型地域スポーツクラブへの事業協力依頼（R1.8）</li> </ul> <p>イ 主要なスポーツイベントでのヘルシーポイント付与</p> <p>ウ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康パスポート取得促進イベントの実施（R1.7）</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>住民の運動習慣定着への機会の拡大を図るため、市町村や事業所、関係機関等と連携し、高知家健康パスポート事業を活用した運動イベントの実施を促進します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知家健康パスポート事業（健康長寿政策課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康パスポートを活用したインセンティブ事業（運動）の実施市町村数</li> <li>・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度「健康経営部門」の認証企業数（認証には健康パスポートの活用その他、健康宣言や受動喫煙対策の取組が必須）</li> </ul>	<p>ア 健康パスポートを活用したインセンティブ事業（運動）を実施する市町村への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PRパンフレットへの掲載など広報の実施</li> </ul> <p>イ 健康パスポートアプリを活用したウォーキングの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康パスポートアプリの歩数ランキング機能の拡充（R1.5）</li> </ul> <p>ウ 健康経営に取り組む事業所への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界団体の研修会や企業への戸別訪問による周知・働きかけ</li> <li>・こうち健康企業プロジェクト（高知新聞社主催）による「高知家健康経営アワード」の実施（R1.8～）</li> <li>・県内6会場における職場の健康づくり応援研修会の開催（R1.7）</li> <li>・事業所における健康経営の取り組みを促進するハンドブックの作成（R1.8）</li> </ul>
<p><b>【取組③】</b></p> <p>健康づくりにおける運動の効果や重要性について、出前講座の実施や健康づくりひとくちメモ等、マスメディアも活用することで広く啓発を行います。また、手軽な運動として、引き続きウォーキングの普及に取り組みます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働きざかりの総合啓発（健康長寿政策課）</li> <li>・健康づくりひとくちメモ（健康長寿政策課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座（運動編）実施回数</li> <li>・健康づくりひとくちメモ（運動編）テレビ放送回数</li> </ul>	<p>ア 働きざかりへの総合啓発の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県政出前講座のPR（広報広聴課広報広聴課）</li> <li>・健康づくりひとくちメモの活用</li> </ul> <p>イ 健康パスポートアプリを活用したウォーキングの促進【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康パスポートアプリの歩数ランキング機能の拡充（R1.5）</li> </ul>



対策  
の  
概要

成人の身体活動の増加と運動習慣の更なる定着を図ります。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組の方向

【KPIの状況】

- ・高知家健康パスポートI取得者数 37,941名 (R1.6.30時点)
- ・総合型地域スポーツクラブの健康パスポート事業参加率 59% (17クラブ)
- ・主要なスポーツイベントでのヘルシーポイント付与  
マラソン大会 3 (高知大方シーサイドはだしマラソン全国大会、北山林道駆け足大会、いごっそうアクアスロン大会)

<成果>

<課題>

【KPIの状況】

- ・健康パスポートを活用したインセンティブ事業(運動)の実施市町村数 27市町村
- ・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度「健康経営部門」の認証企業数 37社 (R1.8.1時点)
- ・健康経営の取り組みとして従業員にパスポートの取得を促進している事業所数 52社 (2,984名の従業員がパスポートを取得) (R1.7.31現在)

<成果>

<課題>

【KPIの状況】

- ・県政出前講座(運動編): 1回
- ・健康づくりひとロメモ(運動編): テレビ放送3回

<成果>

<課題>

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組④】</b></p> <p>地域スポーツハブ等が地元の企業にスポーツ指導者を派遣するなど、企業におけるスポーツを通じた健康経営の促進につながる取組を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標6）</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充</p> <p>①地域スポーツハブの設置等に向けた打ち合わせ会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（2回実施） ・土佐市（2回実施） ・土佐清水市（2回実施）</li> <li>・室戸市（3回実施） ・香南市（1回実施）</li> </ul> <p>②地域スポーツコーディネーターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（まほろばクラブ南国）：5月</li> <li>・土佐市（総合クラブとさ）：4月</li> <li>・土佐清水市（スポーツクラブスクラム）：4月</li> <li>・室戸市（むろとスポーツクラブ）：4月</li> <li>・香南市（こうなんスポーツクラブ）：7月</li> </ul> <p>③促進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（3回実施） ・土佐市（1回実施） ・土佐清水市（3回実施）</li> <li>・室戸市（1回実施）</li> </ul> <p>④事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市【1事業（1回）】 ・土佐市【2事業（5回）】</li> <li>・土佐清水市【2事業（2回）】</li> </ul>
<p><b>【取組⑤】</b></p> <p>スポーツ医学の知見に基づき、地域スポーツハブをはじめ、総合型地域スポーツクラブ、県レクリエーション協会などのスポーツ団体や広く県民に対して、健康づくりにつながる効果的な運動プログラムなどを普及・提供します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県スポーツ科学センター（SSC）のによるスポーツ医学の活用（健康増進）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SSCによるパフォーマンス向上支援事業（一般スポーツ愛好者向け体力測定）の利用数（年間115名）</li> </ul>	<p>ア ニーズに応じた運動プログラムなどの提供</p> <p>■スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医学面からのサポート強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パフォーマンス向上支援事業</li> <li>健康づくりや競技力向上の実践に対するスポーツ医学面からのサポート強化</li> <li>*一般スポーツ愛好者向け体力測定</li> <li>4月：4名（一般男性1名 一般女性3名）</li> <li>5月：14名（一般男性3名 一般女性11名）</li> <li>6月：11名（一般男性2名 一般女性4名 小学生5名）</li> <li>7月：20名（一般女性2名 小学生18名）</li> </ul>
<p><b>【取組⑥】</b></p> <p>地域スポーツハブや総合型地域スポーツクラブ等が提供するスポーツ活動が、子どもから高齢者、子育て世代、職場、女性、障害者などの多様なニーズに応じた取組として拡充するよう支援します。【再掲】</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標6）</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充</p> <p>①地域スポーツハブの設置等に向けた打ち合わせ会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（2回実施） ・土佐市（2回実施） ・土佐清水市（2回実施）</li> <li>・室戸市（3回実施） ・香南市（1回実施）</li> </ul> <p>②地域スポーツコーディネーターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（まほろばクラブ南国）：5月</li> <li>・土佐市（総合クラブとさ）：4月</li> <li>・土佐清水市（スポーツクラブスクラム）：4月</li> <li>・室戸市（むろとスポーツクラブ）：4月</li> <li>・香南市（こうなんスポーツクラブ）：7月</li> </ul> <p>③促進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（3回実施） ・土佐市（1回実施） ・土佐清水市（3回実施）</li> <li>・室戸市（1回実施）</li> </ul> <p>④事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市【1事業（1回）】 ・土佐市【2事業（5回）】</li> <li>・土佐清水市【2事業（2回）】</li> </ul>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
日常生活における歩数の増加	※平成28年 20歳～64歳 男性：6,387歩 女性：6,277歩 65歳以上 男性：4,572歩 女性：4,459歩		20歳～64歳 男性：9,000歩 女性：8,500歩 65歳以上 男性：7,000歩 女性：6,000歩 (平成35年度)
健康パスポートI取得者数	24,935人 (平成30年3月末)	34,683人 (平成31年1月末)	50,000人 (平成33年度)

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 6） ※設置数：5（南国市、土佐市、土佐清水市、室戸市、香南市） ※四万十町は調整中</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度から継続している 3 市（南国市、土佐市、土佐清水市）の地域スポーツハブに加え、2 市（室戸市、香南市）の新規地域スポーツハブが立ち上がり、促進委員会が開催された。</li> <li>南国市、土佐市、土佐清水市で事業が開始された。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のニーズや課題を継続して収集する仕組みが十分でない。</li> <li>各地域スポーツハブにおいて実施される取組を次年度以降に継続するための工夫が必要。</li> <li>地域スポーツハブがない地域への支援が不十分。</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域スポーツハブの次回の促進委員会において、定期的なニーズ等の把握や各取組の継続について協議するよう促す。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>各取組を効果的に継続させるため、関係市町村を訪問し、本事業へのさらなる理解と協力を求める。</li> <li>次年度、新たに地域スポーツハブを立ち上げる候補地域の関係者に説明し、立ち上げに向けた準備を進める。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める。</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SSC によるパフォーマンス向上支援事業（一般スポーツ愛好者向け体力測定）の利用数（年間 115 名） 利用者数：49 名（8 月末現在）（年間目標 115 名）</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア ニーズに応じた運動プログラムなどの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SSC での取組が徐々に認知されて、一般の利用に加えて小学生のスポーツチームの利用も増加している。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SSC の認知度向上のための効果的な情報発信が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県のホームページや 9 月に開設するスポーツウェブサイトを活用した情報発信を行うとともに、学校、スポーツ団体、クラブチーム、指導者、市町村等に幅広く SSC の取組を周知する。</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 6） ※設置数：5（南国市、土佐市、土佐清水市、室戸市、香南市） ※四万十町は調整中</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度から継続している 3 市（南国市、土佐市、土佐清水市）の地域スポーツハブに加え、2 市（室戸市、香南市）の新規地域スポーツハブが立ち上がり、促進委員会が開催された。</li> <li>南国市、土佐市、土佐清水市で事業が開始された。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のニーズや課題を継続して収集する仕組みが十分でない。</li> <li>各地域スポーツハブにおいて実施される取組を次年度以降に継続するための工夫が必要。</li> <li>地域スポーツハブがない地域への支援が不十分。</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域スポーツハブの次回の促進委員会において、定期的なニーズ等の把握や各取組の継続について協議するよう促す。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>各取組を効果的に継続させるため、関係市町村を訪問し、本事業へのさらなる理解と協力を求める。</li> <li>次年度、新たに地域スポーツハブを立ち上げる候補地域の関係者に説明し、立ち上げに向けた準備を進める。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める。</li> </ul>

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 1-(7) スポーツに親しむ場の確保

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況																																														
<p><b>【取組①】</b>            学校の体育施設の開放を進めるとともに、施設が利用者にとってより利用しやすいものとなるよう、公共施設の開放状況等の情報共有など市町村等と連携して取り組みます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;            ・地域の実情に応じた公共施設の有効利用の促進（保健体育課）</p> <p>&lt;取組の KPI&gt;            ・開放している学校の使用施設数及び団体登録数が昨年度を上回る。</p>	<p>ア 公共施設の有効利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開放している学校数・(市町村数)〈施設数〉・・28校(16市町村)(55施設)              →うち、利用学校数・(市町村数)(施設数)・・20校(13市町村)(31施設)</li> <li>団体登録数・・69団体</li> </ul>																																														
<p><b>【取組②】</b>            スポーツ施設や設備について、市町村や競技団体と連携し、必要な整備を計画的に進めます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;            ・拠点施設の整備（スポーツ課）</p> <p>&lt;取組の KPI&gt;            ・スポーツ参加人口の拡大や競技力向上、新たな大会の開催や合宿誘致など、多面的なスポーツ振興につながる整備計画ができています。</p>	<p>ア 拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エリアの拠点となるスポーツ施設や各競技団体の活動拠点となるスポーツ施設の整備</li> </ul> <table border="1" data-bbox="647 1048 1466 1711"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>整備内容</th> <th>取組状況</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年センター</td> <td>陸上競技場の改修</td> <td>計画どおり</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>高知東高校レスリング場</td> <td>空調の整備</td> <td>計画どおり</td> <td>学校安全対策課</td> </tr> <tr> <td>山田高校トラック</td> <td>トラックの改修</td> <td>計画どおり</td> <td>学校安全対策課</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">須崎市海洋スポーツパーク</td> <td>体験学習棟・観覧席の</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="2">須崎市 (スポーツ課)</td> </tr> <tr> <td>カーコース(500m)整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">さめうら湖及び周辺</td> <td>艇庫の整備</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="3">土佐町 (スポーツ課)</td> </tr> <tr> <td>カー用レーン2本の整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td>伴走艇(カヌー)整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">春野総合運動公園</td> <td>野球場の耐震改修</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="4">公園下水道課</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場防球ネットの</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td>体育館防災施設照明</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場防災施設</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">県民体育館</td> <td>トイレの改修</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="2">スポーツ課</td> </tr> <tr> <td>補助競技場空調整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	整備内容	取組状況	所管課	青少年センター	陸上競技場の改修	計画どおり	生涯学習課	高知東高校レスリング場	空調の整備	計画どおり	学校安全対策課	山田高校トラック	トラックの改修	計画どおり	学校安全対策課	須崎市海洋スポーツパーク	体験学習棟・観覧席の	計画どおり	須崎市 (スポーツ課)	カーコース(500m)整備	計画どおり	さめうら湖及び周辺	艇庫の整備	計画どおり	土佐町 (スポーツ課)	カー用レーン2本の整備	計画どおり	伴走艇(カヌー)整備	計画どおり	春野総合運動公園	野球場の耐震改修	計画どおり	公園下水道課	屋内運動場防球ネットの	計画どおり	体育館防災施設照明	計画どおり	屋内運動場防災施設	計画どおり	県民体育館	トイレの改修	計画どおり	スポーツ課	補助競技場空調整備	計画どおり
施設名	整備内容	取組状況	所管課																																												
青少年センター	陸上競技場の改修	計画どおり	生涯学習課																																												
高知東高校レスリング場	空調の整備	計画どおり	学校安全対策課																																												
山田高校トラック	トラックの改修	計画どおり	学校安全対策課																																												
須崎市海洋スポーツパーク	体験学習棟・観覧席の	計画どおり	須崎市 (スポーツ課)																																												
	カーコース(500m)整備	計画どおり																																													
さめうら湖及び周辺	艇庫の整備	計画どおり	土佐町 (スポーツ課)																																												
	カー用レーン2本の整備	計画どおり																																													
	伴走艇(カヌー)整備	計画どおり																																													
春野総合運動公園	野球場の耐震改修	計画どおり	公園下水道課																																												
	屋内運動場防球ネットの	計画どおり																																													
	体育館防災施設照明	計画どおり																																													
	屋内運動場防災施設	計画どおり																																													
県民体育館	トイレの改修	計画どおり	スポーツ課																																												
	補助競技場空調整備	計画どおり																																													
<p><b>【取組③】</b>            スポーツ施設だけでなく、例えば、福祉施設や商業施設のオープンスペース、統廃合された学校施設など、スポーツ施設以外の既存施設の有効活用により、スポーツができる場の創出を図ります。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;            ・既存施設の有効活用（スポーツ課）            ・ワーキンググループ（スポーツ課）</p> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p>	<p>ア 既存施設の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回高知県スポーツ振興推進本部会議(4/17)</li> <li>第1回高知県スポーツ振興県民会議【競技力向上部会】(5/13)</li> <li>第1回高知県スポーツ振興県民会議【地域スポーツ推進部会】(5/16)</li> <li>第1回高知県スポーツ振興県民会議(6/12)</li> </ul> <p>イ ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回新たなスポーツ施設等の整備構想に係る検討ワーキンググループ(5/29)</li> <li>先進施設の視察(7/30~8/1)</li> <li>第2回新たなスポーツ施設等の整備構想に係る検討ワーキンググループ</li> </ul>																																														

対策  
の  
概要

既存の施設の有効活用やオープンスペース等のスポーツ施設以外の施設におけるスポーツができる場の創出を図るとともに、誰もが安心して活用できるスポーツ施設や地域の活性化につながるスポーツ施設の整備を図ります。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開放している学校の使用施設数及び団体登録数が昨年度を上回る。 ※H30 開放学校数 29 校 (17 市町村) 56 施設 うち、利用学校数 22 校 (14 市町村) 33 施設 団体登録数：83 団体</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>団体登録数は、現時点では昨年度を下回っているが、1 団体あたりの登録人数は、昨年度を上回っている。(R 元:21.5 人/団体 H30:20.5 人/団体)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は体育施設の耐震化に伴う工事等のために利用期間が限られる状況がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村には、地域の方々に学校体育施設を利用してもらえるよう、地域のスポーツ団体等への広報活動を依頼する。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ参加人口の拡大や競技力向上、新たな大会の開催や合宿誘致など、多面的なスポーツ振興につながる整備計画（案）ができている。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおり整備が進んでいる。 (計画変更が必要な場合は、関係者と協議を行い、計画の見直しを行っている。)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のスポーツ参加人口の拡大や競技力の向上、オリンピック・パラリンピック事前合宿やプロ・アマ合宿の誘致など、新たな整備に向けた関係者との調整・検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備施設の進捗管理</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <p>-</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>-</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用可能な施設の把握</li> <li>関係部局との連携・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統廃合された学校や民間企業の施設など、施設の有効活用について、県民会議等で検討する。</li> <li>新たなスポーツ施設を整備することでスポーツ振興を図るとともに、スポーツを通じた地域の活性化やまちづくり、防災などの幅広い視点から新たなスポーツ施設の整備の方向性やあり方を検討する。</li> </ul>

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組④】</b> 市町村が行う、地域の特色あるスポーツの競技力向上やスポーツツーリズムの推進につながる施設整備を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt; ・スポーツ推進交付金（スポーツ課）</p> <p>&lt;取組のKPI&gt; -</p>	<p>ア スポーツ推進交付金 ・スポーツ推進交付金交付要綱及び実施要領の制定（7/11）</p>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
身近な地域でスポーツ活動する場が増えている	-	-	-

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <p>—</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>—</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業実施計画の提出に向けた市町村との連携</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業実施計画の進捗管理</li></ul>

**基本方向 10** スポーツの振興を図る

**対策 2- (1)** 新たなスポーツ推進体制による戦略的な競技力強化

**1** 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>各競技ごとに県内の小学生から一般までの有望選手を強化選手に指定し、県外の優秀な指導者を特別強化コーチとして配置して、年間を通じて定期的に質の高い強化練習を行う「全高知チーム」の活動を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業〔全高知チームの活動支援〕(スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全高知チームの数(13団体)</li> </ul>	<p>ア 「全高知チーム」への活動支援</p> <p>①「全高知チーム」の活動支援(12団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全高知チーム」特別強化コーチによる強化練習(通年)</li> <li>ライフル射撃(4/20,21、5/4~6、6/22,23、7/13,14、8/10,11,17)</li> <li>カヌー(4/27~30、5/2~5,18,19、6/23,29,30、8/10~12)</li> <li>剣道(4/26~28、5/10~12,31~6/2、7/5~7、8/16~18)</li> <li>サッカー(4/8,22、5/7、6/3,19、7/22、8/6~8)</li> <li>飛込(4/27~5/6,11,12,18,19)、レスリング(5/18,19、6/22,23、7/21)</li> <li>柔道(5/18,19、6/22、7/14、8/12~16,25)、陸上(7/27,28、8/15~17)</li> <li>ソフトボール(6/2,29、7/6)、バドミントン(7/14,15、8/24,25)</li> <li>ラグビー(5/3~5、7/27,28、8/3、4,14~16,19~25)</li> <li>卓球(7/14,15、8/11,12)</li> </ul> <p>②「全高知チーム」の立ち上げ支援(1団体)</p>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>子どもたちが、自分の適正に応じたスポーツと出会い、可能性をつなぐ「高知県バスウェイシステム」を推進します。「高知県バスウェイシステム」では、子どもたちが自分にあった競技を見つけることのできる測定会や、県内の優れたジュニア選手が多様な運動プログラムを経験し、運動能力を高めることができる取組、さらに、中央競技団体と連携し、種目変更を含めて競技ごとに有望な選手を発掘する選考会を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業〔高知県バスウェイシステム事業〕(スポーツ課)</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングプログラムへの参加者数(150名)</li> <li>・体験プログラムを実施する競技団体数(12団体)</li> <li>・高知くろしおキッズ選考会への参加者数(200名)</li> </ul>	<p>ア 高知県バスウェイシステムによる選手の発掘・育成</p> <p>①マッチングプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングプログラムの開催 体験プログラム10競技団体</li> <li>東部(7/14:安田町中芸広域体育館)             <ul style="list-style-type: none"> <li>申込者17名 参加者16名 測定補助員(大学生)11名</li> <li>※体験プログラム(アルティメット・ラグビー・ハンドボール・ダンス)</li> </ul> </li> <li>西部(7/21:西南大規模公園園体育館)             <ul style="list-style-type: none"> <li>申込者48名 参加者41名 測定補助員(大学生)7名</li> <li>※体験プログラム(アルティメット・ラグビー・レスリング・陸上)</li> </ul> </li> <li>中部(7/28:野市青少年センター体育館)             <ul style="list-style-type: none"> <li>申込者52名 参加者46名 測定補助員(大学生)12名</li> <li>※体験プログラム(スポーツチャンバラ・体操・ホッケー・バドミントン)</li> </ul> </li> </ul> <p>②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア(※タレント発掘事業)</p> <p>○くろしおキッズ(小学生)72名(4年:20名、5年:24名、6年:28名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定式:[4/14]</li> <li>・プログラム検討委員会[6/1]</li> <li>・キッズ夏季合宿(8/2~8/4)</li> <li>・プログラム(4・5・6年生で実施日が異なるため同じ回に複数日を記載。ただし、12回目以降は4・5年生が同一回数のため、まとめて記載)             <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回(4/14)、第2回(4/20)、第3回(4/28)、第4回(5/11)</li> <li>第5回(5/18)、第6回(5/25・6/1・6/1)、第7回(6/1・6/8・6/8)、</li> <li>第8回(6/8・6/15・6/22)、第9回(6/29・6/22・6/29)、</li> <li>第10回(7/6・6/29・7/15)、第11回(7/13,7/6,8/24)、第12回(7/15,8/31)、</li> <li>第13回(7/20 荒天の為中止:[9/7])</li> </ul> </li> </ul> <p>○くろしおジュニア(中学生)23名(1年:7名、2年:8名、3年:8名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1年生と2・3年生で実施日が異なるため同じ回に複数日を記載)</li> <li>・認定式[8/3]</li> <li>・プログラム             <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回(1年:8/3・2・3年:6/1)、第2回(1年:[10/19]・2・3年:8/3)</li> </ul> </li> </ul>



対策  
の  
概要

早い段階から自分にあった競技に出会い、障害の有無に関わらず、誰もがトップ選手を目指すことができる仕組みの構築と、選抜された有望選手が優秀な指導者に日常的に質の高い指導を受けられる環境の充実を図り、裾野の拡大と重点的な競技力の強化が継続的に行われる体制をつくります。

## C 取組の成果・課題

## A 今後の取組の方向

## 【KPI の状況】

- ・全高知チームの数 13 団体
- ※既設 12 団体

## &lt;成果&gt;

- ・特別強化コーチによる質の高い指導により、選手たちの意識も高まり、県外遠征等も実施するなど競技団体の実情に応じた強化活動が実施されている。

## &lt;課題&gt;

- ・特別強化コーチとの日程調整等で活動頻度に差ができています。
- ・全高知チームの活動に参加する県内指導者が一部の指導者に限定されている団体が見られる。
- ・各全高知チームの活動をさらに充実させるため、PDCA による進捗管理をさらに徹底する必要がある。
- ・目標としている 13 団体における全高知チームの立ち上げに向けて、あと 1 団体がまだ決まっていない。

- ・年間強化計画が予定通り進んでいるか、適宜ヒアリングを実施する。

- ・各全高知チームの活動の質的充実を図るため、現状や課題を競技団体と共有するとともに、課題解決に向けて効果的に PDCA が回せるよう支援する。

- ・複数の候補団体に対し、設立に向けて協議を行う。

## 【KPI の状況】

- ・マッチングプログラムへの参加者数 (目標 150 名)
- ※参加者数：102 名 (東部：15 名、西部：41 名、中部：46 名)

## &lt;成果&gt;

## ① マッチングプログラム

- ・AM 測定会、PM 競技体験プログラムの流れにしたことで、今後の運動への取組に関して肯定的な意見が約 9 割あり、昨年度よりも向上した。

## ② 高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア

- ・プログラム検討委員会の委員から、プログラム実施に係る留意点や評価基準の明確化などについて助言があり、事業の運営に反映できている。
- ・普段の生活では体験できない競技に触れ、興味を持たせることに繋がっている。
- ・保護者プログラム  
キッズ・ジュニアと一緒にプログラムを行い知識を共有させることで、コミュニケーションや栄養に対する意識が、双方に高まった。

## &lt;課題&gt;

## ① マッチングプログラム

- ・参加人数が少ない。
- ・体験できる競技が少ない。
- ・対象学年を小学 3 年生から 6 年生としているが、対象者の見直しが必要。
- ・参加者の受け入れ体制や参加者へフィードバックする内容の精選が必要。

## ② 高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア (※タレント発掘事業)

- ・プログラム内容のさらなる充実を図る必要がある。
- ・6 年生や中学生の出席率が低い。
- ・意図的に伸ばす運動能力を明確にしてプログラムを設定する必要がある。
- ・個々の能力に応じた競技適性の検証において、評価基準の設定や専門指導者による判断を取り入れる必要がある。
- ・選考会への参加者増に向けた取組が必要。

## ① マッチングプログラム

- ・より多くの子ども達が参加でき、多様なスポーツと出会う機会として、プログラム内容や対象学年、プログラムの実施方法などを抜本的に見直す。

## ② 高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア (※タレント発掘事業)

- ・より多くの子ども達が挑戦し、参加しやすい環境づくりに向けて、事業の見直しを行い次年度につなげる。

- ・効果的なプログラムを実施するため、講師との事前打ち合わせを充実させるとともに、プログラム検討会で協議を行う。

- ・事業の効果をより明確にするるとともに、効果につなげる手立てを再検討する。

- ・選考会への参加者増に向けて、事前の周知を徹底する。

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組③】</b>            競技団体が各々の実情に応じて、効果的な強化や全高知チームによる重点強化、選手強化におけるPDCAの徹底を着実に進めることができるよう、県スポーツ協会が各競技団体を多方面からサポートすることを支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;            ・競技スポーツ選手育成強化事業（全高知チームの質的充実に向けた支援）（スポーツ課）</p> <p>&lt;取組のKPI&gt;            ・全ての全高知チームにおいて、PDCAサイクルの徹底により効果的な強化が行われる。</p>	<p>①PDCAシートの進捗管理の徹底            ・四半期ごとのPDCAシートの進捗管理（4月・7月・10月・1月）の実施。            ・記載内容についての確認（スポーツ協会・スポーツ課）</p> <p>②強化練習訪問時のヒアリング（随時）（スポーツ協会・スポーツ課）</p>
<p><b>【取組④】</b>            地域スポーツハブの取組において、総合型地域スポーツクラブや学校、競技団体、地区体育（協）会などが連携し、子どもたちが、身近な地域で自らが望むスポーツを続けられる機会を提供する取組を支援します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;            ・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）【再掲】</p> <p>&lt;取組のKPI&gt;            ・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標6）</p>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充</p> <p>①地域スポーツハブの設置等に向けた打ち合わせ会の開催            ・南国市（2回実施） ・土佐市（2回実施） ・土佐清水市（2回実施）            ・室戸市（3回実施） ・香南市（1回実施）</p> <p>②地域スポーツコーディネーターの設置            ・南国市（まほろばクラブ南国）：5月            ・土佐市（総合クラブとさ）：4月            ・土佐清水市（スポーツクラブスクラム）：4月            ・室戸市（むろとスポーツクラブ）：4月            ・香南市（こうなんスポーツクラブ）：7月</p> <p>③促進委員会の開催            ・南国市（3回実施） ・土佐市（1回実施） ・土佐清水市（3回実施）            ・室戸市（1回実施）</p> <p>④事業の実施            ・南国市【1事業（1回）】 ・土佐市【2事業（5回）】            ・土佐清水市【2事業（2回）】</p>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
全高知チームの数	2 競技団体	10 競技団体	13 競技団体
競技者育成プログラムに基づく育成強化を実践している競技団体数	36 競技団体	42 競技団体	45 競技種目

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての全高知チームにおいて、PDCA サイクルの徹底により効果的な強化が行われる。</li> <li>※各全高知チームの活動は年間を通して状況把握を行うが、R1.10 月末（国体終了時）、R2.2 月末に取組状況詳細を確認。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>競技団体から提出された PDCA シートがより具体的な内容となり、競技団体ごとに強化活動に対する考え方が整理できた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全高知チームの活動に参加する県内指導者が一部の指導者に限定されている団体が見られる。</li> <li>各全高知チームの活動をさらに充実させるため、PDCA による進捗管理をさらに徹底する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技団体の担当者の負担軽減に向けて、進捗管理票の整理をはじめ、全高知チームの活動に係る事務処理などについて、できる限りのサポートを行う。</li> <li>各全高知チームの活動の質的充実を図るため、現状や課題を競技団体と共有するとともに、課題解決に向けて効果的に PDCA が回せるよう県スポーツ協会と連携して引き続き支援する。</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 6）</li> <li>※設置数：5（南国市、土佐市、土佐清水市、室戸市、香南市）</li> <li>※四万十町は調整中</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度から継続している 3 市（南国市、土佐市、土佐清水市）の地域スポーツハブに加え、2 市（室戸市、香南市）の新規地域スポーツハブが立ち上がり、促進委員会が開催された。</li> <li>南国市、土佐市、土佐清水市で事業が開始された。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のニーズや課題を継続して収集する仕組みが十分でない。</li> <li>各地域スポーツハブにおいて実施される取組を次年度以降に継続するための工夫が必要。</li> <li>地域スポーツハブがない地域への支援が不十分。</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域スポーツハブの次回の促進委員会において、定期的なニーズ等の把握や各取組の継続について協議するよう促す。</li> <li>各取組を効果的に継続させるため、関係市町村を訪問し、本事業へのさらなる理解と協力を求める。</li> <li>次年度、新たに地域スポーツハブを立ち上げる候補地域の関係者に説明し、立ち上げに向けた準備を進める。</li> <li>地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める。</li> </ul>

**基本方向 10** スポーツの振興を図る

**対策 2- (2)** 系統立てた育成・強化体制の確立

**7** 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>各競技団体ごとに競技者育成プログラムに基づいた育成・強化を推進するとともに、PDCA サイクルにより、競技団体の取組の評価・改善を徹底します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業（育成プログラムによる育成強化）（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技者育成プログラム作成種目（45 種目）</li> </ul>	<p>ア 競技者育成プログラムによる育成強化</p> <p>①競技団体の取組状況を把握 PDCA シートの確認（4月～） *作成種目：43 種目（全 47 種目中）</p> <p>②育成プログラムの作成方法（見本）を県スポーツ協会の HP に掲載。</p>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>競技団体が各々の実情に応じて、効果的な強化や全高知チームによる重点強化、選手強化における PDCA の徹底を着実に進めることができるよう、県スポーツ協会が各競技団体を多方面からサポートすることを支援します。【再掲】</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業（全高知チームの質的充実に向けた支援）（スポーツ課）【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての全高知チームにおいて、PDCA サイクルの徹底により効果的な強化が行われる。</li> </ul>	<p>①PDCA シートの進捗管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四半期ごとの PDCA シートの進捗管理（4月・7月・10月・1月）の実施。</li> <li>・記載内容についての確認（スポーツ協会・スポーツ課）</li> </ul> <p>②強化練習訪問時のヒアリング（随時）（スポーツ協会・スポーツ課）</p>
<p><b>【取組③】</b></p> <p>子どもたちが、自分の適正に応じたスポーツと出会い、可能性をつなぐ「高知県パスウェイシステム」を推進します。「高知県パスウェイシステム」では、子どもたちが自分にあった競技を見つけることのできる測定会や、県内の優れたジュニア選手が多様な運動プログラムを経験し、運動能力を高めることができる取組、さらに、中央競技団体と連携し、種目変更を含めて競技ごとに有望な選手を発掘する選考会を行います。【再掲】</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業（高知県パスウェイシステム事業）（スポーツ課）【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングプログラムへの参加者数（150 名）</li> <li>・体験プログラムを実施する競技団体数（12 団体）</li> <li>・高知くろしおキッズ選考会への参加者数（200 名）</li> </ul>	<p>ア 高知県パスウェイシステムによる選手の発掘・育成</p> <p>①マッチングプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングプログラムの開催 体験プログラム 10 競技団体</li> <li>東部（7/14：安田町中芸広域体育館 申込者 17 名 参加者 16 名 測定補助員（大学生）11 名） *体験プログラム（アルティメット・ラグビー・ハンドボール・ダンス）</li> <li>西部（7/21：西南大規模公園体育館 申込者 48 名 参加者 41 名 測定補助員（大学生）7 名） *体験プログラム（アルティメット・ラグビー・レスリング・陸上）</li> <li>中部（7/28：野市青少年センター体育館 申込者 52 名 参加者 46 名 測定補助員（大学生）12 名） *体験プログラム（スポーツチャンバラ・体操・ホッケー・バドミントン）</li> </ul> <p>②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア（※タレント発掘事業）</p> <p>○くろしおキッズ（小学生）72 名（4 年：20 名、5 年：24 名、6 年：28 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定式：（4/14）</li> <li>・プログラム検討委員会（6/1）</li> <li>・キッズ夏季合宿（8/2～8/4）</li> <li>・プログラム（4・5・6 年生で実施日が異なるため同じ回に複数日を記載。ただし、12 回目以降は 4・5 年生が同一回数のため、まとめて記載） 第 1 回（4/14）、第 2 回（4/20）、第 3 回（4/28）、第 4 回（5/11） 第 5 回（5/18）、第 6 回（5/25・6/1・6/1）、第 7 回（6/1・6/8・6/8）、 第 8 回（6/8・6/15・6/22）、第 9 回（6/29・6/22・6/29）、 第 10 回（7/6・6/29・7/15）、第 11 回（7/13、7/6、8/24）、第 12 回（7/15、8/31）、 第 13 回（7/20 荒天の為中止・[9/7]）</li> </ul> <p>○くろしおジュニア（中学生）23 名（1 年：7 名、2 年：8 名、3 年：8 名） （1 年生と 2・3 年生で実施日が異なるため同じ回に複数日を記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定式（8/3）</li> <li>・プログラム 第 1 回（1 年：8/3・2・3 年：6/1）、第 2 回（1 年：[10/19]・2・3 年：8/3）</li> </ul>

**対策  
の  
概要**

各競技団体によるジュニアから成人まで系統立てた一貫指導を促進するとともに、各年代に応じた重点的な育成・強化を進め、幅広い年代の競技力向上を図ります。

**C 取組の成果・課題**
**A 今後の取組の方向**
**【KPI の状況】**

- ・競技者育成プログラム作成種目 (45 種目)
- ※既作成種目 : 43 種目

**<成果>**

- ・組織的・計画的な選手育成の重要性について、競技団体 (競技種目) の理解が進んでいる。

**<課題>**

- ・全ての競技種目において、育成プログラムによる組織的・計画的な選手育成が展開されるとともに、より質の高い取組を目指して継続した改善が図られることが必要。

- ・国民体育大会 (10 月) の終了時に、各競技種目の現状を分析し、次年度に向けて、選手の育成・強化方法の見直しを確認する。

**【KPI の状況】**

- ・全ての全高知チームにおいて、PDCA サイクルの徹底により効果的な強化が行われる。
- ※各全高知チームの活動は年間を通して状況把握を行うが、R1.10 月末 (国体終了時)、R2.2 月末に取組状況詳細を確認。

**<成果>**

- ・競技団体から提出された PDCA シートがより具体的な内容となり、競技団体ごとに強化活動に対する考え方が整理できた。

**<課題>**

- ・全高知チームの活動に参加する県内指導者が一部の指導者に限定されている団体が見られる。
- ・各全高知チームの活動をさらに充実させるため、PDCA による進捗管理をさらに徹底する必要がある。

- ・競技団体の担当者の負担軽減に向けて、進捗管理票の整理をはじめ、全高知チームの活動に係る事務処理などについて、できる限りのサポートを行う。

- ・各全高知チームの活動の質的充実を図るため、現状や課題を競技団体と共有するとともに、課題解決に向けて効果的に PDCA が回せるよう県スポーツ協会と連携して引き続き支援する。

**【KPI の状況】**

- ・マッチングプログラムへの参加者数 (目標 150 名)
- 参加者数 : 102 名 (東部 : 15 名、西部 : 41 名、中部 : 46 名)

**<成果>**
**① マッチングプログラム**

- ・AM 測定会、PM 競技体験プログラムの流れにしたことで、今後の運動への取組に関して肯定的な意見が約 9 割あり、昨年度よりも向上した。

**② 高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア**

- ・プログラム検討委員会の委員から、プログラム実施に係る留意点や評価基準の明確化などについて助言があり、事業の運営に反映できている。
- ・普段の生活では体験できない競技に触れ、興味を持たせることに繋がっている。
- ・保護者プログラム

キッズ・ジュニアと一緒にプログラムを行い知識を共有させることで、コミュニケーションや栄養に対する意識が、双方に高まった。

**<課題>**
**① マッチングプログラム**

- ・参加人数が少ない。
- ・体験できる競技が少ない。
- ・対象学年を小学 3 年生から 6 年生としているが、対象者の見直しが必要。
- ・参加者の受け入れ体制や参加者へフィードバックする内容の精選が必要。

**② 高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア (※タレント発掘事業)**

- ・プログラム内容のさらなる充実を図る必要がある。
- ・6 年生や中学生の出席率が低い。
- ・意図的に伸ばす運動能力を明確にしてプログラムを設定する必要がある。
- ・個々の能力に応じた競技適性の検証において、評価基準の設定や専門指導者による判断を取り入れる必要がある。
- ・選考会への参加者増に向けた取組が必要。

**① マッチングプログラム**

- ・より多くの子も達が参加でき、多様なスポーツと出会う機会として、プログラム内容や対象学年、プログラムの実施方法などを抜本的に見直す。

**② 高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア (※タレント発掘事業)**

- ・より多くの子も達が挑戦し、参加しやすい環境づくりに向けて、事業の見直しを行い次年度につなげる。

- ・効果的なプログラムを実施するため、講師との事前打ち合わせを充実させるとともに、プログラム検討会で協議を行う。

- ・事業の効果をより明確にするるとともに、効果につなげる手立てを再検討する。

- ・選考会への参加者増に向けて、事前の周知を徹底する。

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組④】**

ジュニアからの系統立てた指導体制の確立を進めるうえで核となる、高等学校の運動部活動の充実を図るため、県立高等学校の中から運動部活動強化拠点校及び運動部活動強化推進校を指定し、専門的な指導ができる顧問の配置や活動費の支援を行います。

また、県内の私立高等学校の中で、近年の競技実績が高い運動部がある学校を強化推進校として指定し、活動費の支援を行います。

**<具体的な事業>**

- ・運動部活動強化校支援事業（保健体育課）
- ・高知県私立高等学校運動部活動強化校支援事業（スポーツ課）

**<取組のKPI>**

- ・強化校の実績（大会入賞数・部員数）：昨年度を上回る。（県立学校）  
H30：全国高等学校総合体育大会結果  
個人入賞5名
- ・私立高等学校の強化推進校である、明德義塾高校の卓球部（男・女）、相撲部、硬式野球部の4部活動が全国大会で団体入賞する。

**ア 運動部活動の支援**

- ・運動部活動強化拠点校（4校）、強化推進校A（3部）、強化推進校B（11部）を指定
- ・強化校の活動開始

区分	学校名
強化拠点校 (東・中・西部の各地域の拠点校)	東部：安芸高等学校 中部：岡豊高等学校、高知工業高等学校 西部：中村高等学校
強化推進校 A (優秀な実績を有する部)	高知東高等学校 レスリング部 高知南高等学校 レスリング部 高知丸の内高等学校 女子ソフトボール部
強化推進校 B (地域の特色を生かした活動を行う部)	幡多農業高等学校 ボート部 構原高等学校 アーチERY部 佐川高等学校 男子ソフトボール部 嶺北高等学校 カヌー部 室戸高等学校 女子硬式野球部 須崎総合高等学校 カヌー部 構原高等学校 硬式野球部 幡多農業高等学校 馬術部 山田高等学校 陸上競技部 四万十高等学校 男子ソフトボール部 高知海洋高等学校 カヌー部

**②私立高等学校の強化**

- ・卓球（男子）  
強化合宿（4月）、大会参加（4月・5月・7月・2月）
- ・卓球（女子）  
強化合宿（4月）、大会参加（4月・5月・7月・2月）
- ・相撲  
県外遠征（4月・7月）、強化合宿（8月）、大会参加（8月、10月）
- ・硬式野球  
県外遠征（5月、6月、7月）

**【取組⑤】**

県内トップ選手の活動をさらに充実させるための経費面の支援を行うとともに、県競技団体が中央競技団体と連携し、計画的・戦略的にトップ選手の育成・強化を行う一貫指導体制の整備を支援します。【再掲】

**<具体的な事業>**

- ・競技スポーツ選手育成強化事業【特別強化選手支援】（スポーツ課）【再掲】

**<取組のKPI>**

- ・特別強化選手の指定選手数  
(S指定：15名、A指定：35名、B指定：40名)

**ア トップ選手の育成・強化**

- ・活動費の交付（4月～）
- \*S指定 12名（うち障害者2名）  
(飛込、レスリング、ソフトボール、卓球、ハンドボール、ウイリアーラグビー、近代五種、バドミントン)
- \*A指定 30名（うち障害者5名）  
(ゴルフ、クレー射撃、レスリング、ライフル射撃、卓球、競泳、陸上、飛込、ソフトボール、パラリンピック)
- \*B指定 38名（うち障害者1名）  
(飛込、ゴルフ、陸上、卓球、レスリング、ソフトボール、車いすバスケットボール、柔道、自転車)

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>強化校の実績（大会入賞数・部員数）：昨年度を上回る。（県立学校） H30：全国高等学校総合体育大会結果 個人入賞 5名</li> <li>私立高等学校の強化推進校である、明德義塾高校の卓球部（男・女）、相撲部、硬式野球部の4部活動が全国大会で団体入賞する。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において計画に基づく強化が進んでいる。</li> <li>四国大会では、多くの強化校の活躍が見られた。</li> <li>卓球部女子団体が全国選抜大会において3位入賞（3月）</li> <li>卓球部（男・女）が四国高等学校選手権大会にて団体優勝。（6月）</li> <li>硬式野球部が甲子園出場。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な部活動運営や教員の業務改善、令和4年度に開催される全国高等学校総合体育大会（四国ブロック）といった視点から、今後の運動部活動の充実に向けた支援の在り方について見直しを図る必要がある。</li> <li>強化校の指定について、あまり認知されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に向けて、新たな運動部活動の充実に向けた支援の在り方について検討する。</li> <li>県のホームページや9月に開設するスポーツウェブサイトを活用するとともに、強化校の認定の機会を捉えて、強化校について周知を図る。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別強化選手の指定選手数（S指定：15名、A指定：35名、B指定：40名） ※2019年度の特別強化選手の名カテゴリーの指定選手数の確定数 （S指定：12名、A指定：30名、B指定：38名）</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>競技スポーツ選手育成強化事業の取組により、特別強化選手の中で、全国大会入賞や世界大会出場・優勝などの成果が出ている。</li> </ul> <p>【主な成績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*S指定：飛込（日本選手権1位、世界大会2位）、レスリング（世界大会1位、アジア大会複数入賞）</li> <li>*A指定：レスリング（全国選抜、IH2位）、競泳（全国大会6位）、陸上（日本選手権2位）、ソフトボール（世界選手権2位）、飛込（日本選手権入賞）</li> <li>*B指定：飛込（関西選手権3位）、ゴルフ（全国大会4位）、柔道（全日本選手権2位）、レスリング（全日本選手権複数入賞）</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別強化選手が選ばれている競技種目がまだ少ない。（全47種目中、12種目：26%）</li> <li>特別強化選手数を増やすとともに、ハイレベルの指定を受ける選手を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全高知チームを立ち上げている競技をはじめ、競技団体において、より質の高い戦略的な育成・強化が実践されるよう、県スポーツ協会と連携して引き続き支援する。</li> </ul>

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組⑥】</b></p> <p>各競技団体の選手強化に関する取組が、競技団体の実情に応じて、計画的・戦略的に進められるよう、目標の明確化や目標達成に向けた対策の着実な実行、計画の評価・改善など、PDCA サイクルを徹底し、さらなる強化を図ります。また、全高知チームにおいて、さらに質の高い強化が行われるよう、特別強化コーチの監修の徹底や遠征・合宿の拡充などの支援を行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業〔育成プログラムによる育成強化〕(スポーツ課)〔再掲〕</li> <li>・競技スポーツ選手育成強化事業〔全高知チームの質的充実に向けた支援〕(スポーツ課)〔再掲〕</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技者育成プログラム作成種目(45 種目)</li> <li>・全ての全高知チームにおいて、PDCA サイクルの徹底により効果的な強化が行われる。</li> </ul>	<p>ア 競技者育成プログラムによる育成強化</p> <p>①競技団体の取組状況を把握 PDCA シートの確認(4月～) *作成種目:43 種目(全 47 種目中)</p> <p>②育成プログラムの作成方法(見本)を県スポーツ協会の HP に掲載。</p> <p>イ PDCA の徹底による質的充実</p> <p>①PDCA シートの進捗管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四半期ごとの PDCA シートの進捗管理(4月・7月・10月・1月)の実施。</li> <li>・記載内容についての確認(スポーツ協会・スポーツ課)</li> </ul> <p>②強化練習訪問時のヒアリング(随時)(スポーツ協会・スポーツ課)</p>
<p><b>【取組⑦】</b></p> <p>障害者スポーツ関係者等と連携し、障害者スポーツの競技力向上を図るため、既存チームへの活動支援や新たなチームの立ち上げ支援、選手の実情に応じた支援を実施します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツ競技力向上支援事業(スポーツ課)〔再掲〕</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <p>—</p>	<p>○障害者スポーツ競技力向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの配置(4/1)</li> <li>・県立盲学校に対するヒアリング(4/3)</li> <li>・県立青少年の家に対するヒアリング(4/10)</li> <li>・障害者スポーツセンターに対するヒアリング(5/28)</li> </ul>

## 2 第 2 期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
国民体育大会の入賞競技数	15 競技	10 競技	17 競技
特別強化選手の数	73 名	81 名	85 名
全国中学校体育大会の入賞競技数	6 競技	5 競技	9 競技
全国高等学校総合体育大会の入賞競技数	6 競技	5 競技	9 競技
中央競技団体等(障害者スポーツ)に登録されている県内競技者数	192 名		200 名



## C 取組の成果・課題

## A 今後の取組の方向

## 【KPI の状況】

- ・競技者育成プログラム作成種目 (45 種目)  
※既作成種目: 43 種目
- ・全ての全高知チームにおいて、PDCA サイクルの徹底により効果的な強化が行われる。  
※各全高知チームの活動は年間を通して状況把握を行うが、R1.10 月末 (国体終了時)、R2.2 月末に取組状況詳細を確認。

## &lt;成果&gt;

- ア 競技者育成プログラムによる育成強化
  - ・組織的・計画的な選手育成の重要性について、競技団体 (競技種目) の理解が進んでいる。
- イ PDCA の徹底による質的充実
  - ・競技団体から提出された PDCA シートがより具体的な内容となり、競技団体ごとに強化活動に対する考え方が整理できた。

## &lt;課題&gt;

- ア 競技者育成プログラムによる育成強化
  - ・全ての競技種目において、育成プログラムによる組織的・計画的な選手育成が展開されるとともに、より質の高い取組を目指して継続した改善が図られることが必要。
- イ PDCA の徹底による質的充実
  - ・全高知チームの活動に参加する県内指導者が一部の指導者に限定されている団体が見られる。
  - ・各全高知チームの活動をさらに充実させるため、PDCA による進捗管理をさらに徹底する必要がある。

## 【KPI の状況】

-

## &lt;成果&gt;

-

## &lt;課題&gt;

- ・障害者スポーツをサポートする人材が不足している。
- ・既存のチームや団体の活動が十分に認知されていない。
- ・個人や団体の活動を支援する制度や体制が不十分。

## ア 競技者育成プログラムによる育成強化

- ・国民体育大会 (10 月) の終了時に、各競技種目の現状を分析し、次年度に向けて、選手の育成・強化方法の見直しを確認する。

## イ PDCA の徹底による質的充実

- ・競技団体の担当者の負担軽減に向けて、進捗管理票の整理をはじめ、全高知チームの活動に係る事務処理などについて、できる限りのサポートを行う。
- ・各全高知チームの活動の質的充実を図るため、現状や課題を競技団体と共有するとともに、課題解決に向けて効果的に PDCA が回せるよう県スポーツ協会と連携して引き続き支援する。

- ・地域地域における障害者スポーツをコーディネートする人材として、スポーツ推進員に協力を求めるとともに、スポーツ推進員の障害者スポーツの理解を深めるための研修会を実施する。

- ・県のホームページや 9 月に開設するスポーツウェブサイトを活用し、既存のチームや団体の紹介を行うとともに、県に配置している障害者スポーツ競技力向上支援コーディネーターによる関係者への情報提供を行う。

- ・個人や団体の活動の充実に向けて、支援制度の在り方や支援体制について関係団体等と協議し、具体的な対策をまとめ、次年度につなげる。

**基本方向 10** スポーツの振興を図る

**対策 2-(3)** 指導者の育成及び受け入れの推進

**1** 対策に位置付けた取組の実施状況

**P** 対策に位置付けた主な取組

**D** これまでの取組状況

**【取組①】**

さらなる競技力の向上や地域におけるスポーツ活動の充実を図るため、指導者のリスト化やマッチング、活動の場の拡充など、スポーツ現場に指導者を提供する取組を行うとともに、民間クラブチーム等を含めた県内指導者の資質を継続的に高める資格取得・研修の拡充を行います。【再掲】

<具体的な事業>

- ・スポーツ指導者の資質向上・対象者の拡大・活動の場の拡充（スポーツ課）

<取組の KPI>

- ・指導者リストの登録数（調整中）
- ・公認指導者資格取得者数（前年度比増）

**ア** 人材バンク（指導者のリスト化）によるマッチング

県立学校長会での取り組みの周知(4/12)  
各学校からの要望に応じた競技団体との調整(4/15~)  
各団体への周知(5/17・5/24・5/27・5/31)

- ・高知県レクリエーション協会
- ・高知県スポーツ推進委員連絡協議会
- ・高知県障害者スポーツ指導者協議会
- ・スポーツ協会加盟団体
- ・市町村担当者会

運動部活動指導者研修会での周知(6/29・7/6・7/13)

**イ** 資質向上及び対象者の拡大

- ・スポーツ少年団の指導者登録（4月～9月）
- ・スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団養成講習会の実施(6/22)
- ・スポーツ指導者研修会の実施(6/29)
- ・スポーツ推進委員初任者研修会の実施(7/21)
- ・日本スポーツ協会公認指導者資格取得講習会の開催  
ウエイトリフティング（6月/6名）、バドミントン【10月】、水泳【2月】
- ・障がい者スポーツ指導員養成講習会【9月・11月】
- ・研修会の開催  
全高知チームによる実践研修（4月～3月）  
SSCによるスポーツ医科学研修【11月】

**【取組②】**

「スポーツの楽しさを伝え、様々な動きを取り入れながら、基礎基本を身につけることのできる」指導者、「全国入賞レベルの指導ができる」指導者、「競技団体のマネジメントができる」指導者など、育成する指導者像を明確にし、計画的な指導者の育成を行います。

<具体的な事業>

- ・コーチアカデミーの開催（スポーツ課）

<取組の KPI>

- ・コーチアカデミーの修了者数（25名）

**ア** 指導者の育成

- ・コーチアカデミー年間8回開催（9月開始予定）

回	月	内容	講師
1	9	コミュニケーション ～相互の信頼関係がもたらす成長～	粟木一博 (仙台大)
2	10	コーチに求められる能力としてのトレーニング科学～医科学の活用に関する理論と実践の事例から～	杉田 正明 (日本体育大)
3	11	新しい時代にふさわしいコーチング ～選手から見た望ましいスポーツ環境をさぐる～	土屋 裕睦 (大阪体育大)
4	11	7つの習慣 ～パラダイムシフトと成功原則～	川西 茂 (アカデミージャパン 代表取締役社長)
5	12	スポーツマネジメント	前田 和範 (高知工大)
6	12	女性のスポーツの広がり と女性アスリートへの配慮	山下 修平 (JSC)
7	1	障がい者スポーツとは ～東京パラリンピック大会に向けて	佐野 潤一 (JSC)
8	2	地域タレントの育成におけるフィジカルトレーニング	豊田 太郎 (ベースボール&スポーツクリニック) 井場 正知 (トレーニングコーチ)

対策  
の  
概要

継続的に質の高い指導が実践されるよう、育成する指導者像を明確にした計画的な指導者育成を進めるとともに、県外や国外の優秀な指導者の招へいや本県への受入れを積極的に進めます。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組の方向

【KPI の状況】

- ・指導者リストの登録数（調整中）  
※R2.3月に集計
- ・公認指導者資格取得者数（前年度比増）  
※R2.3月に集計

<成果>

- ア 人材バンク（指導者のリスト化）によるマッチング
  - ・学校からの要望に対して情報提供することで、指導者の配置につながった
- イ 資質向上及び対象者の拡大
  - ・全高知チームにおける実践研修が行われ、県内指導者の意識の変容につながっている。

<課題>

- ア 人材バンク（指導者のリスト化）によるマッチング
  - ・リストへの登録者が少ない。
  - ・人材バンク制度が十分に認知されていない。
- イ 資質向上と対象者の拡大
  - ・公認指導者資格を持たない指導者に対する研修が少ない。

ア 人材バンク（指導者のリスト化）によるマッチング

- ・人材バンク制度について、県が9月に開設するスポーツウェブサイトや関係団体のホームページ等を活用して周知を図る。
- ・県内の大学生に指導者として人材バンクに登録してもらえよう、各大学の運動部に理解・協力を求める。

イ 資質向上及び対象者の拡大

- ・より多くのジュニア指導者の資質向上を図るための対策について、競技団体等からのヒアリングや関係団体との協議を行い、次年度からの実施につなげる。

【KPI の状況】

- ・コーチアカデミーの修了者数（25名）  
※R2.2月に確認

<成果>

-

<課題>

- ・各競技団体において、ジュニア指導に携わる指導者により、選手の年齢や技術レベルに応じた柔軟な指導が実践されるよう、計画的な指導者育成を図る必要がある。

- ・来年度に向けて、各競技団体において、計画的な指導者育成が実践されるよう、競技団体等にヒアリングを行うなどして、具体的な対策をまとめる。

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組③】**

すべてのスポーツ指導者の障害者スポーツに関する意識が高まるよう、障害者スポーツに関する理解啓発や研修会の充実を図ります。

<具体的な事業>

- ・コーチアカデミーの開催（スポーツ課）【再掲】
- ・障がい者スポーツ指導員養成事業（スポーツ課）【再掲】
- ・障害者スポーツ指導員養成講習会派遣事業（スポーツ課）【再掲】

<取組の KPI>

- ・コーチアカデミーの修了者数（25名）
- ・障がい者スポーツ指導員の増加（240名）

**ア 指導者の育成**

- ・コーチアカデミー年間8回開催（9月開始予定）

回	月	内容	講師
1	9	コミュニケーション ～相互の信頼関係がもたらす成長～	栗木一博 (仙台大)
2	10	コーチに求められる能力としてのトレーニング科学～医学の活用に関する理論と実践の事例から～	杉田 正明 (日本体育大)
3	11	新しい時代にふさわしいコーチング ～選手からみた望ましいスポーツ環境をさぐる～	土屋 裕睦 (大阪体育大)
4	11	7つの習慣 ～パラダイムシフトと成功原則～	川西 茂 (アカデミージャパン 代表取締役社長)
5	12	スポーツマネジメント	前田 和範 (高知工大)
6	12	女性のスポーツの広がりや女性アスリートへの配慮	山下 修平 (JSC)
7	1	障がい者スポーツとは ～東京パラリンピック大会に向けて～	佐野 潤一 (JSC)
8	2	地域タレントの育成におけるフィジカルトレーニング	豊田 太郎 (ベースボール&スポーツクリニック) 井場 正知 (トレーニングコーチ)

- ・障がい者スポーツ指導員養成事業委託契約締結
- ・障がい者スポーツ指導員養成講習会（中級）【9月・11月】
- ・障がい者スポーツ指導員養成講習会派遣（上級）【8月～9月・10月～11月】

**【取組④】**

生涯スポーツの実践や競技力の向上に大きな影響を与えるジュニアスポーツ指導者の資質向上を図る取組を進めます。

<具体的な事業>

- ・スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団養成講習会（スポーツ課）
- ・スポーツ指導者研修会（スポーツ課）

<取組の KPI>

- ・スポーツリーダー等資格取得者の増加

- ・第1回スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団養成講習会（6月）
- ・第2回スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団養成講習会（10月）
- ・スポーツ少年団指導者研修会【3月】

**【取組⑤】**

「全高知チーム」の取組や有望選手を発掘する取組などを通して、県外の優秀な指導者に特別強化コーチとして、本県スポーツに関わってもらふ機会を増加させるなど、移住を含めて本県への受入れに向けた取組を進めます。

<具体的な事業>

- ・競技スポーツ選手育成強化事業（全高知チームの活動支援）（スポーツ課）【再掲】

<取組の KPI>

- ・全高知チームの数（13団体）

**ア 「全高知チーム」への活動支援**

①「全高知チーム」の活動支援（12団体）

- ・「全高知チーム」特別強化コーチによる強化練習（通年）

ライフル射撃（4/20,21、5/4～6、6/22,23、7/13,14、8/10,11,17）

カヌー（4/27～30、5/2～5,18,19、6/23,29,30、8/10～12）

剣道（4/26～28、5/10～12,31～6/2、7/5～7、8/16～18）

サッカー（4/8,22、5/7、6/3,19、7/22、8/6～8）

飛込（4/27～5/6,11,12,18,19）、レスリング（5/18,19、6/22,23、7/21）

柔道（5/18,19、6/22、7/14、8/12～16,25）、陸上（7/27,28、8/15～17）

ソフトボール（6/2,29、7/6）、バドミントン（7/14,15、8/24,25）

ラグビー（5/3～5、7/27,28、8/3,4,14～16,19～25）

卓球（7/14,15、8/11,12）

②「全高知チーム」の立ち上げ支援（1団体）

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチアカデミーの修了者数 (25 名) ※R2. 2月に確認</li> <li>・障がい者スポーツ指導員の増加 (240 名) ※H30 年度: 224 名 R1.3 月に確認</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技団体において、ジュニア指導に携わる指導者により、選手の年齢や技術レベルに応じた柔軟な指導が実践されるよう、計画的な指導者育成を図る必要がある。</li> <li>・資格取得を目指す人材を増やすための手立てが必要。</li> <li>・日本障がい者スポーツ協会公認資格である「障がい者スポーツ指導員」が十分に認知されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度に向けて、各競技団体において、計画的な指導者育成が実践されるよう、競技団体等にヒアリングを行うなどして、具体的な対策をまとめる。</li> <li>・障がい者スポーツ指導員及びその資格を取得する講習会について、県のホームページや9月に開設するスポーツウェブサイト等を活用して周知するとともに、県に配置している障害者スポーツ競技力向上支援コーディネーターによる関係者への直接の説明等を行い、広く周知する。</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツリーダー・スポーツ少年団等資格取得者の増加</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得者の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団関係者を中心に、資格や研修の必要性を伝えるとともに、講習会や研修会について広く周知する。</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全高知チームの数 13 団体 ※既設 12 団体</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別強化コーチによる質の高い指導により、選手たちの意識も高まり、県外遠征等も実施するなど競技団体の実情に応じた強化活動が実施されている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別強化コーチとの日程調整等で活動頻度に差ができています。</li> <li>・全高知チームの活動に参加する県内指導者が一部の指導者に限定されている団体が見られる。</li> <li>・各全高知チームの活動をさらに充実させるため、PDCA による進捗管理をさらに徹底する必要がある。</li> <li>・目標としている 13 団体における全高知チームの立ち上げに向けて、あと1 団体がまだ決まっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間強化計画が予定通り進んでいるか、適宜ヒアリングを実施する。</li> <li>・各全高知チームの活動の質的充実を図るため、現状や課題を競技団体と共有するとともに、課題解決に向けて効果的に PDCA が回せるよう支援する。</li> <li>・複数の候補団体に対し、設立に向けて協議を行う。</li> </ul>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
日本スポーツ協会公認指導者数	1,237名	1,243名	1,350名
コーチアカデミー修了者数(累積)	45名 (H29)	66名 (H30)	70名
障害者スポーツ指導員数	初級:133名 中級:69名 上級:16名	初級:138名 中級:67名 上級:17名	初級:140名 中級:80名 上級:20名



基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 2- (4) スポーツ医科学の効果的な活用

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組①】</b></p> <p>県内全域において、スポーツ活動を行う者が質の高いスポーツ医科学サポートを受けられるよう、高知県スポーツ科学センター（SSC）を核として、医療機関やスポーツ団体、大学、スポーツ医科学専門機関等と幅広く連携した取組を進めます。同センターには、スポーツ医科学に専門的な知見を有するスタッフを配置するとともに、複数の医科学専門スタッフによる競技別サポートチームを編成し、競技特性に応じたサポートを展開します。さらには、地域でのスポーツ医科学サポートが効果的に進められるよう、地域のトレーニング施設のスタッフや学校の運動部活動の指導者にトレーニング指導者プログラムの提供などを行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医科学の活用（パフォーマンス向上支援事業、研修・支援事業、研究・情報活用事業）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全高知チーム（13 競技団体）すべてが SSC によるパフォーマンス向上支援事業を活用する。</li> </ul>	<p>ア パフォーマンス向上支援事業</p> <p>○健康づくりや競技力向上の実践に対するスポーツ医科学面からのサポート強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*一般スポーツ愛好者向け体力測定 4月～7月</li> <li>*専門体力測定 4月：ソフトボール（38名）、剣道（56名）、ラグビー（17名）、カヌー（1名） 5月：サッカー（27名）、飛び込み（5名） 6月：柔道（27名）、ソフトボール（9名）、卓球（19名）、レスリング（4名） 7月：サッカー（33名）、ソフトボール（1名）、テニス（6名）、陸上（1名）</li> <li>*メンタルサポート 5月：剣道（成年男子）</li> <li>*栄養サポート 5月：ソフトボール（成年男子）</li> <li>*トレーニングサポート 6月：ソフトボール（少年女子） 7月：剣道（少年男女）</li> <li>*メディカルチェック 7月：第1回メディカルチェック委員会の実施</li> </ul> <p>イ 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートチーム研修会（8月）</li> <li>・サポートチームスタッフ養成研修会【～12月】</li> <li>・競技ごとのスポーツ医科学担当者を対象とした研修会【～2月】</li> </ul> <p>※高知県スポーツ科学センター推進協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回【9/3】</li> <li>・第2回【2月】</li> </ul>
<p><b>【取組②】</b></p> <p>スポーツ医科学面からのサポートの質的向上を図るため、大学や日本スポーツ振興センターと連携し、スポーツ医科学の専門的な知見を有する人材の活用を積極的に行い、各競技団体や運動部活動、障害者スポーツチームなどのスポーツ現場に対して、データによる動作分析やメンタルトレーニング、専門的な体力測定に基づくトレーニング指導などを広く提供します。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医科学の活用（パフォーマンス向上支援事業）</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全高知チーム（13 競技団体）すべてが SSC によるパフォーマンス向上支援事業を活用する。</li> </ul>	<p>ア パフォーマンス向上支援事業</p> <p>○健康づくりや競技力向上の実践に対するスポーツ医科学面からのサポート強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*一般スポーツ愛好者向け体力測定 4月～7月</li> <li>*専門体力測定 4月：ソフトボール（38名）、剣道（56名）、ラグビー（17名）、カヌー（1名） 5月：サッカー（27名）、飛び込み（5名） 6月：柔道（27名）、ソフトボール（9名）、卓球（19名）、レスリング（4名） 7月：サッカー（33名）、ソフトボール（1名）、テニス（6名）、陸上（1名）</li> <li>*メンタルサポート 5月：剣道（成年男子）</li> <li>*栄養サポート 5月：ソフトボール（成年男子）</li> <li>*トレーニングサポート 6月：ソフトボール（少年女子） 7月：剣道（少年男女）</li> <li>*メディカルチェック 7月：第1回メディカルチェック委員会の実施</li> </ul>



対策  
の  
概要

競技力向上や健康づくりなど様々なスポーツ活動において、スポーツ医学が効果的に活用されるよう、多様な団体や個人に対してスポーツ医学面からのサポートを展開します。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組の方向

【KPIの状況】

- ・全高知チーム（13 競技団体）すべてが SSC によるパフォーマンス向上支援事業を活用する。  
※利用団体数：8 チーム（8 月末現在）

<成果>

- ・全高知チームを中心に 236 名が専門体力測定を実施しており、徐々に施設の認知度も上がっている。
- ・サポートチーム（スポーツ医学サポーター）が県内のアスレティックトレーナー、管理栄養士等の専門家の協力の下結成され、サポート体制が一定整った。

<課題>

ア パフォーマンス向上支援事業

- ・SSC でのサポート内容が競技団体等に周知されていない
- ・SSC によるサポート実施数が目標値よりも下回っている。
- ・主に専門体力測定を受ける利用者が多く、サポート内容に偏りが見られる。
- ・SSC のスタッフによる出張型のサポートができるようにする必要がある。

イ 研修・支援事業

- ・サポートチームがより多くの選手や団体にサポートできるよう、スタッフをさらに確保することが必要。
- ・全高知チームの競技ではスポーツ医学担当者を配置されているが、その他の競技団体においては、スポーツ医学を担当するスタッフが配置されていない。

ア パフォーマンス向上支援事業

- ・県のホームページや 9 月に開設するスポーツウェブサイトを活用し、高知県スポーツ科学センターについて広く周知する。
- ・SSC の利用者数を増やすため、全高知チーム以外にも競技団体や広く県民に利用を促す。
- ・国民体育大会四国ブロック大会終了後に、本国会及び次年度の国民体育大会に向けて、必要なサポートについて、競技団体と調整する。

イ 研修・支援事業

- ・高知県アスレティックトレーナー協会や高知県スポーツドクター協会等の協力を得て、サポートチームのスタッフとして協力が可能な人材の掘り起こしを行う。
- ・全高知チーム以外の競技団体に対して、SSC の活動やスポーツ医学の活用の必要性について理解を求めよう直接説明するとともに、スポーツ医学担当者の配置を促す。

【KPIの状況】

- ・全高知チーム（13 競技団体）すべてが SSC によるパフォーマンス向上支援事業を活用する。  
利用団体数：8 チーム（目標 12 チーム）

<成果>

- ・全高知チームを中心に 236 名が専門体力測定を実施しており、徐々に施設の認知度も上がっている。
- ・サポートチーム（スポーツ医学サポーター）が県内のアスレティックトレーナー、管理栄養士等の専門家の協力の下結成され、サポート体制が一定整った。

<課題>

ア パフォーマンス向上支援事業

- ・SSC でのサポート内容が競技団体等に周知されていない
- ・SSC によるサポート実施数が目標値よりも下回っている。
- ・主に専門体力測定を受ける利用者が多く、サポート内容に偏りが見られる。
- ・SSC のスタッフによる出張型のサポートができるようにする必要がある

ア パフォーマンス向上支援事業

- ・県のホームページや 9 月に開設するスポーツウェブサイトを活用し、高知県スポーツ科学センターについて広く周知する。
- ・SSC の利用者数を増やすため、全高知チーム以外にも競技団体や広く県民に利用を促す。
- ・国民体育大会四国ブロック大会終了後に、本国会及び次年度の国民体育大会に向けて、必要なサポートについて、競技団体と調整する。

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組③】</b></p> <p>運動部活動や競技ごとの強化事業を通じて、アシスタントトレーナーなどの有資格者からサポートを受けることのできる機会の拡大を図るため、スポーツトレーナーの資格取得につながる県独自の講習会を実施することなどにより、スポーツトレーナーの養成を図ります。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県スポーツ科学センター (SSC) によるスポーツ医学の活用 (研修・支援事業)</li> </ul> <p>&lt;取組の KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ医学コーディネーターの競技団体への配置 (13 競技団体 (全高知チーム))</li> </ul>	<p>ア 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートチーム研修会 (8月)</li> <li>・サポートチームスタッフ養成研修会【～12月】</li> <li>・競技ごとのスポーツ医学担当者を対象とした研修会【～2月】</li> </ul>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
スポーツ医学担当者を配置し、組織的にスポーツ医学を活用している競技団体の数	-		13 団体以上

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ医科学コーディネーターの競技団体への配置（13 競技団体（全高知チーム））</li> <li>※12 競技団体（8月末現在）</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートチーム（スポーツ医科学サポーター）が県内のアスレティックトレーナー、管理栄養士等の専門家の協力の下結成され、サポート体制が一定整った。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートチームがより多くの選手や団体にサポートできるよう、スタッフをさらに確保することが必要。</li> <li>・全高知チームの競技ではスポーツ医科学担当者を配置されているが、その他の競技団体においては、スポーツ医科学を担当するスタッフが配置されていない。</li> </ul>	<p>ア 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県アスレティックトレーナー協議会や高知県スポーツドクター協議会等の協力を得て、サポートチームのスタッフとして協力が可能な人材の掘り起こしを行う。</li> <li>・全高知チーム以外の競技団体に対して、SSCの活動やスポーツ医科学の活用必要性について理解を求めよう直接説明するとともに、スポーツ医科学担当者の配置を促す。</li> </ul>

<b>基本方向 10</b>	スポーツの振興を図る
<b>対策 2- (5)</b>	スポーツ施設・設備の整備

**1 対策に位置付けた取組の実施状況**

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況																																														
<p><b>【取組①】</b></p> <p>スポーツ施設や設備について、市町村や競技団体と連携し、必要な整備を計画的に進めます。【再掲】</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設の整備（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ参加人口の拡大や競技力向上、新たな大会の開催や合宿誘致など、多面的なスポーツ振興につながる整備計画ができています。</li> </ul>	<p>ア 拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアの拠点となるスポーツ施設や各競技団体の活動拠点となるスポーツ施設の整備</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #cccccc;">施設名</th> <th style="background-color: #cccccc;">整備内容</th> <th style="background-color: #cccccc;">取組状況</th> <th style="background-color: #cccccc;">所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年センター</td> <td>陸上競技場の改修</td> <td>計画どおり</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>高知東高校リンク場</td> <td>空調の整備</td> <td>計画どおり</td> <td>学校安全対策課</td> </tr> <tr> <td>山田高校トラック</td> <td>トラックの改修</td> <td>計画どおり</td> <td>学校安全対策課</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">須崎市海洋スポーツパーク</td> <td>体験学習棟・観覧席の</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="2">須崎市 (スポーツ課)</td> </tr> <tr> <td>カーコース（500m）整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">さめうら湖及び周辺</td> <td>艇庫の整備</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="3">土佐町 (スポーツ課)</td> </tr> <tr> <td>カー用レーン2本の整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td>伴走艇（カヌー）整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">春野総合運動公園</td> <td>野球場の耐震改修</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="4">公園下水道課</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場防球ネットの</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td>体育館防災施設照明</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場防災施設</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">県民体育館</td> <td>トイレの改修</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="2">スポーツ課</td> </tr> <tr> <td>補助競技場空調整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	整備内容	取組状況	所管課	青少年センター	陸上競技場の改修	計画どおり	生涯学習課	高知東高校リンク場	空調の整備	計画どおり	学校安全対策課	山田高校トラック	トラックの改修	計画どおり	学校安全対策課	須崎市海洋スポーツパーク	体験学習棟・観覧席の	計画どおり	須崎市 (スポーツ課)	カーコース（500m）整備	計画どおり	さめうら湖及び周辺	艇庫の整備	計画どおり	土佐町 (スポーツ課)	カー用レーン2本の整備	計画どおり	伴走艇（カヌー）整備	計画どおり	春野総合運動公園	野球場の耐震改修	計画どおり	公園下水道課	屋内運動場防球ネットの	計画どおり	体育館防災施設照明	計画どおり	屋内運動場防災施設	計画どおり	県民体育館	トイレの改修	計画どおり	スポーツ課	補助競技場空調整備	計画どおり
施設名	整備内容	取組状況	所管課																																												
青少年センター	陸上競技場の改修	計画どおり	生涯学習課																																												
高知東高校リンク場	空調の整備	計画どおり	学校安全対策課																																												
山田高校トラック	トラックの改修	計画どおり	学校安全対策課																																												
須崎市海洋スポーツパーク	体験学習棟・観覧席の	計画どおり	須崎市 (スポーツ課)																																												
	カーコース（500m）整備	計画どおり																																													
さめうら湖及び周辺	艇庫の整備	計画どおり	土佐町 (スポーツ課)																																												
	カー用レーン2本の整備	計画どおり																																													
	伴走艇（カヌー）整備	計画どおり																																													
春野総合運動公園	野球場の耐震改修	計画どおり	公園下水道課																																												
	屋内運動場防球ネットの	計画どおり																																													
	体育館防災施設照明	計画どおり																																													
	屋内運動場防災施設	計画どおり																																													
県民体育館	トイレの改修	計画どおり	スポーツ課																																												
	補助競技場空調整備	計画どおり																																													
<p><b>【取組②】</b></p> <p>全高知チームの活動拠点や、学校のトレーニング設備など、スポーツ活動の基盤となる施設・設備について、関係者が検討する場を設け、必要な整備を計画的に進めます。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキンググループ（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <p>-</p>	<p>ア ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回新たなスポーツ施設等の整備構想に係る検討ワーキンググループ（5/29）</li> <li>・先進施設の視察（7/30～8/1）</li> <li>・第2回新たなスポーツ施設等の整備構想に係る検討ワーキンググループ</li> </ul>																																														
<p><b>【取組③】</b></p> <p>市町村が行う、地域の特色あるスポーツの競技力向上やスポーツツーリズムの推進につながる施設整備を支援します。【再掲】</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進交付金（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <p>-</p>	<p>ア スポーツ推進交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進交付金交付要綱及び実施要領の制定（7/11）</li> </ul>																																														

**対策  
の  
概要**

競技者がより質の高い活動ができるよう、各競技の拠点となる施設を中心に必要な施設・設備の整備を計画的に進めます。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【【KPI の状況】】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ参加人口の拡大や競技力向上、新たな大会の開催や合宿誘致など、多面的なスポーツ振興につながる整備計画（案）ができています。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね計画どおり整備が進んでいる。</li> <li>（計画変更が必要な場合は、関係者と協議を行い、計画の見直しを行っている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のスポーツ参加人口の拡大や競技力の向上、オリンピック・パラリンピック事前合宿やプロ・アマ合宿の誘致など、新たな整備に向けた関係者との調整・検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備施設の進捗管理</li> </ul>
<p>【【KPI の状況】】</p> <p>-</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>-</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係部局との連携・調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなスポーツ施設を整備することでスポーツ振興を図るとともに、スポーツを通じた地域の活性化やまちづくり、防災などの幅広い視点から新たなスポーツ施設の整備の方向性やあり方を検討する。</li> </ul>
<p>【【KPI の状況】】</p> <p>-</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>-</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施計画の提出に向けた市町村との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施計画の進捗管理</li> </ul>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
日常的な活動の拠点となる施設がある競技団体が増えている	-	-	-



基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 3-(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化

## 1 対策に位置付けた取組の実施状況

### P 対策に位置付けた主な取組

### D これまでの取組状況

#### 【取組①】

数多くのプロスポーツのキャンプや大会、アマチュアスポーツ合宿を誘致し、県民のスポーツに対する機運の醸成を図るとともに、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげます。

#### <具体的な事業>

- ・プロスポーツの誘致（スポーツ課）
- ・アマチュアスポーツの誘致（スポーツ課）

#### <取組の KPI>

- ・アマチュアスポーツ合宿による県外宿泊者数（人泊）50,000人泊

#### ア プロスポーツの誘致

##### ①プロ野球球団へのキャンプ誘致・プレシーズンマッチ開催

- ・各球団訪問による誘致活動（4月～ 計7回）
- ・高知県フェアの開催：西武ライオンズ（4/19）、千葉ロッテ（5/19）、阪神タイガース（6/16）

##### ②Jリーグチームへのキャンプ誘致活動

- ・各チーム訪問による誘致活動（4月～ 計26回）
- ・高知県フェアの開催：徳島ヴォルティス（4/14）、アルビレックス新潟（4/20）、東京ヴェルディ（4/20）、町田ゼルビア（4/21）、アビスパ福岡（4/27）、アルビレックス新潟レディース（5/31）、アルビレックス新潟（6/2）、岐阜フットボール（6/20）、京都パープルサンガ（6/25）、カターレ富山（6/29）、町田ゼルビア（7/31）、

##### ③プロゴルフ大会の継続開催に向けた活動

- ・各主催社へ継続開催の協議交渉（4/10、7/4）
- ・ギャラリー数の増加に向けた受入定例会（5月～ 計2回）
- ・カシオワールドオープン 2019 高知県定例会（第1回 6/11 第2回 8/9）

#### イ アマチュアスポーツの誘致

##### ①戦略的な誘致活動

- ・高知県スポーツ協会、高知県観光コンベンション協会と連携した、県内強豪校・チームや、競技団体からのニーズ等のヒアリング（バスケ、ラグビー、ハンド、剣道、水泳、卓球）

#### 【取組②】

新たなターゲットの受入れを実現するため、スポーツ施設の利用状況の把握や、競技の特性を踏まえた対策の検討を行う場を設けるほか、新たなターゲットの受け入れに向けて県競技団体を通じたPRの強化を行い、アマチュアスポーツの誘致を進めます。

#### <具体的な事業>

- ・アマチュアスポーツの誘致（スポーツ課）

#### <取組の KPI>

- ・アマチュアスポーツ合宿による県外宿泊者数（人泊）50,000人泊

#### ア アマチュアスポーツの誘致

##### ①戦略的な誘致活動

- ・高知県スポーツ協会、高知県観光コンベンション協会と連携した、県内強豪校・チームや、競技団体からのニーズ等のヒアリング（バスケ、ラグビー、ハンド、剣道、水泳、卓球）



対策の概要

プロやアマチュアスポーツのキャンプや大会・合宿の誘致及び自然環境を生かしたスポーツツーリズムを推進するとともに、地域におけるスポーツサービスの提供を行うことにより、スポーツ産業の創出や若者の定着につなげます。

C 取組の成果・課題

A 今後の取組の方向

【KPIの状況】

- ・アマチュア合宿助成金（前期）の申請宿泊数増（6,922人泊、対前年度比-174人泊）
- ※H31.7月に集計

<成果>

- ・アマチュア合宿助成金（前期）の申請宿泊数増（6,922人泊、対前年度比-174人泊）

<課題>

ア プロスポーツの誘致

- ①プロ野球球団へのキャンプ誘致・プレシーズンマッチ開催
  - ・新規誘致先の選定及び、球団キーパーソンの確保
  - ・継続的な誘致は、定期的に球団からアドバイスを受けながら、球団や他県の動きを情報収集し、効果的に参加の要請を行うことが必要
- ②Jリーグチームへのキャンプ誘致活動
  - ・可能性のあるJ2にターゲットを絞る等の誘致先の選択と集中
- ③プロゴルフ大会の継続開催に向けた活動
  - ・大会開催時の集客数拡大に向けた取組の検討が必要

イ アマチュアスポーツの誘致

- ①戦略的な誘致活動
  - ・県内強豪校・チームや、競技団体のネットワークを通じた、県外のキーパーソンの確保
  - ・大阪等他都市圏への訪問協議が必要。

ア プロスポーツの誘致

- ①プロ野球球団へのキャンプ誘致・プレシーズンマッチ開催
  - ・高知県観光コンベンション協会と連携した、各球団との継続的な協議
- ②Jリーグチームへのキャンプ誘致活動
  - ・高知県観光コンベンション協会と連携した、各球団との継続的な協議
- ③プロゴルフ大会の継続開催に向けた活動
  - ・高知県観光コンベンション協会と連携した、両大会の継続開催に向けた関係者との継続的な協議

イ アマチュアスポーツの誘致

- ①戦略的な誘致活動
  - ・県内スポーツ施設の利用状況の把握と誘致ターゲットの選定
  - ・競技特性を踏まえた効果的な誘致対策の検討
- ②新たな合宿誘致や全国規模の大会の誘致
  - ・競技団体との連携強化
- ③受入体制の強化
  - ・市町村等との連携強化

【KPIの状況】

- ・アマチュア合宿助成金（前期）の申請宿泊数増（6,922人泊、対前年度比-174人泊）
- ※H31.7月に集計

<成果>

- ・アマチュア合宿助成金（前期）の申請宿泊数増（6,922人泊、対前年度比-174人泊）

<課題>

①戦略的な誘致活動

- ・県内強豪校・チームや、競技団体のネットワークを通じた、県外のキーパーソンの確保
- ・大阪等他都市圏への訪問協議が必要。

①戦略的な誘致活動

- ・県内スポーツ施設の利用状況の把握と誘致ターゲットの選定
  - ・競技特性を踏まえた効果的な誘致対策の検討
- ②新たな合宿誘致や全国規模の大会の誘致
    - ・競技団体との連携強化
  - ③受入体制の強化
    - ・市町村等との連携強化

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組③】</p> <p>サイクリングや登山、カヌーなど本県の自然環境を生かしたスポーツアクティビティの活性化に向けて、インフルエンサーからのアドバイスなどを環境整備や効果的なプロモーションに生かし取組を進めます。【再掲】</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）1,500人（5大会）</li> <li>・サイクリングイベントの県外参加者数1,500人</li> </ul>	<p>ア サイクリング</p> <p>①「ぐるっと高知サイクリングロード」環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングコース環境整備に向けた道路課との協議（随時）</li> <li>・サイクリングアイランド四国・4県連携サイクリングイベントキャンペーン(5/12～12/1)</li> </ul> <p>②サイクリング観光のプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSやパンフレットを活用したPR活動（随時）</li> <li>・高知仁淀ブルーライド(5/26)</li> </ul> <p>③県境をまたぐサイクリングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十・南予横断2リバービューライド担当者会（5/14）</li> <li>・四国4県連携イベント担当者会（4/2、7/17）</li> <li>・サイクリングアイランド四国推進協議会（4/26）</li> </ul> <p>イ サーフィン</p> <p>①サーフィン高知県知事杯担当者会（随時）</p>
<p>【取組④】</p> <p>国内外で開催されるサイクリングイベントへの出展やサイクリング関連雑誌等での紹介などにより、県推奨のサイクリングコース（「ぐるっと高知サイクリングロード」）のプロモーション強化を行うとともに、四国一周サイクリングルートのプロモーションの実施や、県域を跨ぐサイクリングイベント等を開催します。【再掲】</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）1,500人（5大会）</li> <li>・サイクリングイベントの県外参加者数1,500人</li> </ul>	<p>ア サイクリング</p> <p>①「ぐるっと高知サイクリングロード」環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングコース環境整備に向けた道路課との協議（随時）</li> <li>・サイクリングアイランド四国・4県連携サイクリングイベントキャンペーン(5/12～12/1)</li> </ul> <p>②サイクリング観光のプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSやパンフレットを活用したPR活動（随時）</li> <li>・高知仁淀ブルーライド(5/26)</li> </ul> <p>③県境をまたぐサイクリングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十・南予横断2リバービューライド担当者会（5/14）</li> <li>・四国4県連携イベント担当者会（4/2、7/17）</li> <li>・サイクリングアイランド四国推進協議会（4/26）</li> </ul> <p>イ サーフィン</p> <p>①サーフィン高知県知事杯担当者会（随時）</p>
<p>【取組⑤】</p> <p>高知龍馬マラソンなど、広域から誘客できる魅力あるスポーツ大会の県内での開催の拡充を図ります。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知龍馬マラソン（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1万人規模の大会継続</li> </ul>	<p>ア 高知龍馬マラソンの開催</p> <p>①高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンラン種目に関する協議（4月～）</li> <li>・他県大会の聞き取り調査（4月～）</li> <li>・関係機関等との調整 県警（5/8、6/6、6/24、7/1、7/5、7/26）</li> <li>・高知龍馬マラソン関連イベント「FREE10」の実施（7/15）</li> </ul>

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 1,500人(5大会)</li> <li>・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 54人(1大会)</li> <li>・サイクリングイベントの県外参加者数 625人(2大会)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア サイクリング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自然環境を生かしたスポーツ補助金活用後の自立したイベントの実施(計3年)</li> <li>②出展イベントの選定が必要(効果の大きいイベントの調査)</li> <li>③参加者増に向けた大会の磨き上げが必要</li> <li>④集客増につながる取組の検討が必要(効率の良い集客方法等)</li> <li>⑤4県連携事業の協議が必要(開催方法などで課題がある)</li> </ol> <p>イ サーフィン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①サーフィン高知県知事杯のPR強化が必要(ギャラリーなど)</li> </ol>	<p>ア サイクリング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①道路課と連携したコース環境の整備</li> <li>②高知県サイクリングロード環境整備調査</li> <li>③インフルエンサーを活用したPR活動(招請、動画UP等)</li> <li>④各イベント開催に向けた関係者との協議</li> <li>⑤イベントの開催</li> <li>⑥4県連携サイクリングイベントの検討(サイクリングアイランド四国)</li> </ol> <p>イ サーフィン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①担当者の開催</li> <li>②第54回全日本サーフィン大会の開催(8/19~24)</li> <li>③サーフィン知事杯の開催(11/3)</li> </ol>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 1,500人(5大会)</li> <li>・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 54人(1大会)</li> <li>・サイクリングイベントの県外参加者数 625人(2大会)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア サイクリング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自然環境を生かしたスポーツ補助金活用後の自立したイベントの実施(計3年)</li> <li>②出展イベントの選定が必要(効果の大きいイベントの調査)</li> <li>③参加者増に向けた大会の磨き上げが必要</li> <li>④集客増につながる取組の検討が必要(効率の良い集客方法等)</li> <li>⑤4県連携事業の協議が必要(開催方法などで課題がある)</li> </ol> <p>イ サーフィン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①サーフィン高知県知事杯のPR強化が必要(ギャラリーなど)</li> </ol>	<p>ア サイクリング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①道路課と連携したコース環境の整備</li> <li>②高知県サイクリングロード環境整備調査</li> <li>③インフルエンサーを活用したPR活動(招請、動画UP等)</li> <li>④各イベント開催に向けた関係者との協議</li> <li>⑤イベントの開催</li> <li>⑥4県連携サイクリングイベントの検討(サイクリングアイランド四国)</li> </ol> <p>イ サーフィン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①担当者の開催</li> <li>②第54回全日本サーフィン大会の開催(8/19~24)</li> <li>③サーフィン知事杯の開催(11/3)</li> </ol>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知龍馬マラソン:1万人規模の大会継続</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去最高のフルマラソンエントリー数を記録。</li> <li>・龍馬マラソン関連イベント「FREE10」の新規開催(54人)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートゲートでのランナーの滞留による、大幅な遅れによる第一関門収容者数の大幅な増加。警備の強化。</li> </ul>	<p>①高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県警との警備計画についての協議</li> <li>・大幅な遅れの原因となった、警備会社、仮設トイレ業者、コーン設置・除去会社との改善に向けた協議。また、大会終了後、課題の洗い出し及び改善に向けた報告の義務化。</li> </ul>

**P 対策に位置付けた主な取組**

**D これまでの取組状況**

**【取組⑥】**

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会や2019ラグビーワールドカップなどの大規模なスポーツイベントにおける事前合宿を受け入れるとともに、国内外に本県をPRするため、来高した選手やメディアによる情報発信を積極的に行います。

<具体的な事業>

・オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿招致活動(スポーツ課)

※事前合宿招致活動を通じた情報発信を含む

<取組のKPI>

- ・海外スポーツ団体等による合宿
- ・各種メディアによる情報発信数の増加(前年度比)

**ア オリンピック・パラリンピック事前合宿招致活動**

2019年事前合宿の実施

シンガポール 水泳(7/7~7/16 くらしおアリーナ)

卓球(7/24~8/9 県民体育館)

バドミントン(7/27~8/3 南国市立スポーツセンター)

①練習相手の確保

・ネットワークアドバイザーを通じた国内企業チームとの調整

シンガポール事前合宿時の対戦相手…ユニシス(バドミントン)、愛媛銀行・サンリツ・十六銀行(卓球)

②受入体制の構築

・関係機関との打合せ及び協議等(随時)

高知県スポーツ振興財団、高知東高校、高知県薬剤師会、医療機関(もりもと整形外科・内科、田中整形外科病院、近森病院、内田脳神経外科病院)、高知空港ビル高知県キャンプサポーター、国際ビジネスコミュニケーション協会、義務教育学校土佐山学舎、ハラル食提供飲食店、県農業振興部

・シンガポール事前合宿受入連絡協議会の開催(6/3、6/28、7/18)

(高知市、南国市、高知県卓球協会、高知県水泳連盟、高知県バドミントン協会、ホテル日航高知旭ロイヤル、施設管理者等)

**イ RWC2019(トンガ)**

・第1回トンガ代表事前キャンプ受入委員会発足(4/2)

・アドバイザー(ラトゥ氏)との協議(5/16)

・トンガコミュニティ交流事業 料理教室(6/8)、ラグビー教室(6/9)

・トンガ代表来高 RWC2019PR及びラグビー教室(8/3)

**ウ 事前合宿招致活動を通じた取り組み(インフルエンサーを活用した情報発信)**

①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信

・チェコソフトボール男子U19関係者のSNSによる情報発信

・チェコ陸上競技リレー選手等のSNSによる情報発信

・ポーランド陸上競技リレー選手等のSNSによる情報発信

・四万十・足摺無限大チャレンジライド参加者のSNSによる情報発信

・オランダのサイクリング雑誌における県内自転車イベントの紹介

・シンガポール水泳及びバドミントン選手等のSNSによる情報発信

・シンガポールメディアによるシンガポール事前合宿の取材と本国での情報発信

・シンガポールのスポーツスクール関係者のSNSによる情報発信

・豪州ソフトボールクイーンズランド関係者のSNSによる情報発信

・国際ビジネスコミュニケーション協会公式HPにおける情報発信

・高知工科大学公式HPにおける情報発信

②ホストタウンの取り組み等を通じた継続的な交流

○スポーツ交流(海外トップ選手等の地域スポーツイベントへの参加)

・シンガポール事務所による関係者への聞き取り(5/13)

○文化交流

・「よさこい高知賞」受賞者の来県による文化交流(7/10~7/12)

○聖火リレーの取組

・東京2020オリンピック聖火リレー市町村担当者説明会(4/12)

・第3回東京2020オリンピック聖火リレー高知県ランナー検討委員会(4/26)

・第4回東京2020オリンピック聖火リレー高知県実行委員会(5/24)

・第4回東京2020オリンピック聖火リレー高知県ランナー検討委員会(6/12)

**【取組⑦】**

スポーツツーリズムを中山間振興につなげるため、スポーツ合宿誘致等における集落活動センターの受入体制(宿泊・食の提供等)の充実や誘客の仕組みづくりを支援します。

<具体的な事業>

・集落活動センター推進事業(中山間地域対策課)

【再掲】

<取組のKPI>

**ア スポーツ合宿誘致等における集落活動センターの受入体制の充実支援**

・集落活動センター推進事業費補助金等による支援

宿泊:集落活動センターであいの里鱈川(延べ397人泊)

集落活動センターかきせ(延べ82人泊)

集落活動センターおちめん(延べ376人泊 R1.7.31末現在)

食の提供:集落活動センター佐賀北部(12回1,545食)

集落活動センター北郷(3回105食)

集落活動センターうらのうち(第1回の提供を12月開始予定)

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外スポーツ団体等による合宿（前年度以上） ※H32.3月に最終確認</li> <li>各種メディアによる情報発信数の増加（前年度比） ※H32.3月に最終確認</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シンガポール 2019 事前合宿の実施</li> <li>海外スポーツ団体等との交流</li> <li>対戦相手として招へいする国内企業チームとの関係性構築</li> <li>市町村や競技団体などと連携した受入体制の構築</li> <li>海外メディア等による情報発信</li> <li>県民の受入体制作りの機運醸成</li> <li>高知県ラグビーフットボール協会とのネットワークの構築</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア オリンピック・パラリンピック事前合宿招致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2020 年度事前合宿に向けた交渉</li> <li>練習相手、施設、必要な機材等の調達</li> <li>受入体制の更なる強化</li> <li>機運醸成に向けた取組の強化</li> </ul> <p>イ RWC2019（トンガ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トンガ代表事前キャンプ受入後のレガシーの創出</li> </ul> <p>ウ 事前合宿招致活動を通じた取り組み（インフルエンサーを活用した情報発信）</p> <p>①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選手等に情報を発信してもらう必要がある</li> </ul> <p>②ホストタウンの取り組み等を通じた継続的な交流の促進</p> <p>〇スポーツ交流（海外トップ選手等の地域スポーツイベントへの参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シンガポールから龍馬マラソンへ誘客するための仕組みづくり</li> <li>市町村と相手国関係者の連絡体制の構築</li> </ul>	<p>ア オリンピック・パラリンピック事前合宿招致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各チームの事前合宿終了後、フィードバックをもらうとともに、2020 年度事前合宿の実施について招致活動を行う</li> <li>施設管理者等への事前連絡、調整会議等におけるスポーツ施設の確保</li> <li>受入体制の強化に向けた関係機関等との協議</li> </ul> <p>イ RWC2019（トンガ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トンガ代表事前キャンプ受入実施【9/9～13】</li> <li>ウエルカムパーティーの実施【9/9】</li> <li>ラグビー教室の実施【9/10、12】</li> </ul> <p>ウ 事前合宿招致活動を通じた取り組み（インフルエンサーを活用した情報発信）</p> <p>①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選手等による SNS を活用した情報発信</li> <li>招へいする参加者のネットワークを活用したメディアによる情報発信</li> </ul> <p>②ホストタウンの取組等を通じた継続的な交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オランダ自転車関係者による地域イベントへの参加（3月）</li> </ul>
<p>【KPI の状況】</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>&lt;課題&gt;</p>	

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p><b>【取組⑧】</b></p> <p>高知龍馬マラソンにおいて、障害のある人や特別な配慮が必要な人も安心・安全に参加することができるよう多様性を重視した大会として、県内外、国外から多く参加者が集う魅力ある大会づくりを行います。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知龍馬マラソン（スポーツ課）</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1万人規模の大会継続</li> </ul>	<p>ア 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンラン種目に関する協議（4月～）</li> <li>・他県大会の聞き取り調査（4月～）</li> <li>・関係機関等との調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>県警（5/8、6/6、6/24、7/1、7/5、7/26）</li> </ul> </li> <li>・高知龍馬マラソン関連イベント「FREE10」の実施（7/15）</li> </ul>
<p><b>【取組⑨】</b></p> <p>総合型地域スポーツクラブ等を各市町村のスポーツ活動の拠点（「地域スポーツハブ」）として育成し、地域のニーズに応じた公益性の高いスポーツ活動の展開を支援することにより、地域スポーツを通じたビジネス化の促進や地域におけるスポーツ活動の活性化につなげます。【再掲】</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標6）</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充</p> <p>①地域スポーツハブの設置等に向けた打ち合わせ会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（2回実施） ・土佐市（2回実施） ・土佐清水市（2回実施）</li> <li>・室戸市（3回実施） ・香南市（1回実施）</li> </ul> <p>②地域スポーツコーディネーターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（まほろばクラブ南国）：5月</li> <li>・土佐市（総合クラブとさ）：4月</li> <li>・土佐清水市（スポーツクラブスクラム）：4月</li> <li>・室戸市（むろとスポーツクラブ）：4月</li> <li>・香南市（こうなんスポーツクラブ）：7月</li> </ul> <p>③促進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市（3回実施） ・土佐市（1回実施） ・土佐清水市（3回実施）</li> <li>・室戸市（1回実施）</li> </ul> <p>④事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市【1事業（1回）】 ・土佐市【2事業（5回）】</li> <li>・土佐清水市【2事業（2回）】</li> </ul>
<p><b>【取組⑩】</b></p> <p>県内で開催される大会や合宿、イベント等の開催情報など SNS 等を活用した情報の収集・発信の強化を図ります。</p> <p>&lt;具体的な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県スポーツ情報総合サイト「こうちスポーツ NAVI」の新設【再掲】</li> </ul> <p>&lt;取組のKPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトの閲覧者数（10月以降の設定）</li> </ul>	<p>ア SNS 等を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタグラム、フェイスブックによる情報発信（4/24～）</li> <li>・高知工科大学との意見交換（5/29）</li> </ul> <p>イ スポーツ情報発信ウェブサイトによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札（4/18）</li> <li>・サイト名（こうちスポーツ NAVI）の決定（5/9）</li> <li>・市町村担当者会での概要説明（5/31）</li> <li>・ウェブサイトで紹介するイベントや大会、サークルやクラブの募集（7/5～）</li> <li>・管理者（市町村、スポーツ関係団体）へのイベント情報等登録依頼（7/25）</li> </ul>

## 2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
県外からのスポーツによる入込客数	8万9千人		11万人
市町村で行われているスポーツイベント（大会）の数	271回		330回

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知龍馬マラソン：1万人規模の大会継続</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去最高のフルマラソンエントリー数を記録。</li> <li>・龍馬マラソン関連イベント「FREE10」の新規開催(54人)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートゲートでのランナーの滞留による、大幅な遅れによる第一関門収容者数の大幅な増加。警備の強化。</li> </ul>	<p>①高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県警との警備計画についての協議</li> <li>・大幅な遅れの原因となった、警備会社、仮設トイレ業者、コーン設置・除去会社との改善に向けた協議。また、大会終了後、課題の洗い出し及び改善に向けた報告の義務化。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標6） ※設置数：5（南国市、土佐市、土佐清水市、室戸市、香南市） ※四万十町は調整中</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から継続している3市（南国市、土佐市、土佐清水市）の地域スポーツハブに加え、2市（室戸市、香南市）の新規地域スポーツハブが立ち上がり、促進委員会が開催された。</li> <li>・南国市、土佐市、土佐清水市で事業が開始された。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のニーズや課題を継続して収集する仕組みが十分でない。</li> <li>・各地域スポーツハブにおいて実施される取組を次年度以降に継続するための工夫が必要。</li> </ul>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域スポーツハブの次回の促進委員会において、定期的なニーズ等の把握や各取組の継続について協議するよう促す。</li> <li>・各取組を効果的に継続させるため、関係市町村を訪問し、本事業へのさらなる理解と協力を求める。</li> <li>・次年度、新たに地域スポーツハブを立ち上げる候補地域の関係者に説明し、立ち上げに向けた準備を進める。</li> <li>・地域スポーツハブがない地域への支援の在り方について関係団体等と協議するとともに、高知県スポーツ振興県民会議において議論を進める。</li> </ul>
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトの閲覧者数（10月以降の設定） ※10月以降に毎月集計</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうちスポーツ NAVI に掲載するスポーツ情報の集約が進んだ。サイトは概ね順調に作成できている。【再掲】</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうちスポーツ NAVI の周知【再掲】</li> </ul> <p>(来年度に向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージ別のニーズに適した情報発信対策</li> <li>・こうちスポーツ NAVI 内で、イベント等への応募ができる応募フォームの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こうちスポーツ NAVI の運用開始【9/1～】</li> </ul>

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 4- (1) オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興

## 1 対策に位置付けた取組の実施状況

### P 対策に位置付けた主な取組

#### 【取組①】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ 2019 大会の事前合宿の受入れや、ホストタウンの取組、オリンピック・パラリンピック教育などを実施することにより、同大会の機運の醸成を図るとともに、大会後のレガシーとして、世界レベルの指導者の招へいや、相手国との指導者や選手の交流などのスポーツ振興、来県する世界レベルの選手による県内体験型観光資源の磨き上げなどといった観光振興のほか、相手国の文化を学ぶ教育活動といった教育面の交流などにつながる取組を進めます。

#### <具体的な事業>

- ・オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（保健体育課）
- ・オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿招致活動（スポーツ課）

#### <取組の KPI>

- ・海外スポーツ団体等の合宿や視察受入回数の増加（前年度以上）
- ・来県時等のスポーツ交流の増加（来県等により交流する団体数の増加）

### D これまでの取組状況

#### ア オリンピック・パラリンピック事前合宿招致活動

2019 年事前合宿の実施

シンガポール・水泳（7/7～7/16 くろしおアリーナ）

卓球（7/24～8/9 県民体育館）

バドミントン（7/27～8/3 南国市立スポーツセンター）

#### ①練習相手の確保

- ・ネットワークアドバイザーを通じた国内企業チームとの調整
- ・シンガポール事前合宿時の対戦相手…ユニシス（バドミントン）、愛媛銀行・サンリツ・十六銀行（卓球）

#### ②受入体制の構築

- ・関係機関との打合せ及び協議等（随時）
- ・高知県スポーツ振興財団、高知東高校、高知県薬剤師会、医療機関（もりもと整形外科・内科、田中整形外科病院、近森病院、内田脳神経外科病院）、高知空港ビル
- ・高知県キャンプサポーター、国際ビジネスコミュニケーション協会、義務教育学校土佐山学舎、ハラル食提供飲食店、県農業振興部
- ・シンガポール事前合宿受入連絡協議会の開催（6/3、6/28、7/18）
- （高知市、南国市、高知県卓球協会、高知県水泳連盟、高知県バドミントン協会、ホテル日航高知旭ロイヤル、施設管理者等）

#### イ オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツ参加の拡大

#### ①ホストタウン登録国等との交渉強化

- ・シンガポール（チームシンガポール）事前合宿受入に向けた継続的協議
- ・シンガポールスポーツスクールとのスポーツ交流に向けた継続的協議
- ・兼州ソフトボールクイーンズランドとの交流に向けた継続的協議
- ・ポーランド（陸上リレーチーム）合宿時に 2020 年事前合宿を打診（5/2）
- 2020 年事前合宿は山形県の予定
- ・チェコ共和国（陸上リレーチーム）合宿時に 2020 年事前合宿を打診（5/3）
- 継続協議
- ・駐キルギス特命全権大使の高知県訪問時に協力を要請（7/4）
- ・駐日キルギス共和国大使の高知県訪問時に協力を要請（7/31）

#### ②海外ナショナルチーム等の県内合宿

- ・チェコ共和国
- ソフトボール男子 U19（4/27～5/8）
- 陸上競技リレーチーム（5/1～5/9）
- ・ポーランド
- 陸上競技リレーチーム（4/24～5/9）
- ・シンガポール
- シンガポールスポーツスクール（8/22～8/28）
- ・オーストラリア
- ソフトボールクイーンズランド（8/23～9/1）

#### ③ホストタウンの取り組み

#### ○ホストタウン登録

- ・トリニダード・トバゴ（中土佐町）を登録（5/30）

#### ④オリンピック・パラリンピック教育

- ・オリンピック・パラリンピック教育研修会の実施・2回
- 地域セミナー：高知市 7/29 宿毛市 8/16
- 地域ワークショップ：【2/20（予定）】
- ・ホストタウンと連携した地域の取組実践モデルの構築
- 宿毛市との委託契約完了 7月
- ・推進校と連携した取組実践モデルの構築
- 須崎市立朝ヶ丘中学校、香美市立片地小学校、香美市立香長小学校
- ・出前授業等の実施：市町村へ募集要項配布 6/10 →8月中に派遣校を選定し中
- あすチャレ！ School in KOCHI：7校（全校種対象）
- ゆめチャレ！ School in KOCHI：2校（全校種対象）



## 対策 の 概要

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ 2019大会の開催を好機と捉え、参加国の事前合宿の招致を通じて大会の機運の醸成を図るとともに、スポーツの振興や地域の活性化につながる取組を行います。

### C 取組の成果・課題

#### 【KPIの状況】

- 海外スポーツ団体等による合宿の増加（前年度以上）  
※H32.3月に最終確認
- 各種メディアによる情報発信数の増加（前年度比）  
※H32.3月に最終確認

#### <成果>

- シンガポール 2019 事前合宿の実施
- 海外スポーツ団体等との交流
- 対戦相手として招へいする国内企業チームとの関係性構築
- 市町村や競技団体などと連携した受入体制の構築
- 海外メディア等による情報発信
- オリンピック・パラリンピック教育においては、推進校を新たに3校増やすことができた。

#### <課題>

- ア** オリンピック・パラリンピック事前合宿招致活動
- 2020年度事前合宿に向けた交渉
  - 練習相手、施設、必要な機材等の調達
  - 受入体制の更なる強化
  - 機運醸成に向けた取組の強化
- イ** オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツ参加の拡大
- (1) 事前合宿の招致活動を通じた取り組み
- ①ホストタウン登録国等の交渉強化
    - 2020年度事前合宿招致活動として継続的に交渉を行う必要がある
  - ②海外ナショナルチーム等の県内合宿
    - 合宿受入体制を強化する必要がある
  - ④オリンピック・パラリンピック教育
    - オリンピック・パラリンピック教育を実施する（実施予定）学校が少ない。取組の具体的な方法をさらに広げる必要がある。
- ウ** オリンピック・パラリンピック等を契機とした競技力の向上
- (1) 事前合宿招致活動を通じた取り組み
- ①県内合宿時における海外ナショナルチームコーチ等からの技術指導 等
    - チェコ等合宿時の指導等について調整が必要
  - ③大会後のレガシーとなる継続した交流
    - 競技団体と相手国関係者の連絡体制の構築
- エ** オリンピック・パラリンピック等を契機とした地域の活性化
- (1) 事前合宿招致活動を通じた取り組み（インフルエンサーを活用した情報発信）
- ①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信
    - 選手等に情報を発信してもらう必要がある
  - (2) ホストタウンの取り組み等を通じた継続的な交流の促進
  - ④スポーツ交流（海外トップ選手等の地域スポーツイベントへの参加）
    - シンガポールから龍馬マラソンへ誘客するための仕組みづくり
    - 市町村と相手国関係者の連絡体制の構築

### A 今後の取組の方向

#### ア オリンピック・パラリンピック事前合宿招致活動

- 各チームの事前合宿終了後、フィードバックをもらうとともに、2020年度事前合宿の実施について招致活動を行う
- 施設管理者等への事前連絡、調整会議等におけるスポーツ施設の確保
- 受入体制の強化に向けた関係機関等との協議

#### イ オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツ参加の拡大

- ②海外ナショナルチームの県内合宿
  - チェコ共和国  
カヌー関係者との事前協議【9月】  
カヌーチームの事前合宿【11月】
  - キルギス共和国  
レスリング【11月】
  - 日本代表チームの県内合宿  
ソフトボール女子ナショナルチーム【12月】
- ③ホストタウンの取組
  - 交流事業等の開催  
ホストタウン登録市町及び競技団体と県の連携を強化するための競技の場の継続
- ④オリンピック・パラリンピック教育
  - 今年度中に、推進校等の実践等をもとに、オリパラ教育の具体的な取組の進め方について資料を作成しHP等に掲載する。

#### ウ オリンピック・パラリンピック等を契機とした競技力の向上

- (1) 事前合宿招致活動を通じた取組（合宿時における技術指導等）
- ①海外ナショナルチーム
    - キルギスレスリングの県内合宿の招致
  - ②日本代表チーム
    - 競技団体を通じた日本代表チームとの調整が必要

#### エ オリンピック・パラリンピック等を契機とした地域の活性化

- (1) 事前合宿招致活動を通じた取り組み（インフルエンサーを活用した情報発信）
- ①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信
    - 選手等による SNS を活用した情報発信
    - 招へいする参加者のネットワークを活用したメディアによる情報発信
  - ②ホストタウンの取組等を通じた継続的な交流の促進
    - オランダ自転車関係者による地域イベントへの参加（3月）

【取組①】(つづき)

・バラスポ体験教室：10校（全校種対象）  
 ・障がい者スポーツ選手による記念講演会の実施：4校（全校種対象）  
 ・スポチャレ！School in KOCHI：6校（特別支援学校対象）  
 ・オリパラ教材（指導資料（I'mPOSSIBLE））の活用促進  
 ・小学校、中学校、高等学校・特別支援学校の体育主任研修会等で周知

ウ オリンピック・パラリンピック等を契機とした競技力の向上

（1）事前合宿招致活動を通じた取り組み

- ①県内合宿時における海外ナショナルチームコーチ等からの技術指導 等
- ・チェコスロバキア男子U19 合宿期間中に、県内高校チーム及び社会人チームと練習試合を実施（4/28～5/6）
- ・ポーランド陸上競技リレーチームが高知県陸上競技選手権に出場（5/3）
- ・シンガポール（水泳）合宿期間中に、県内高校水泳選手（強化指定選手）に対して技術指導を実施（7/10）
- ・シンガポール（バドミントン）合宿期間中に、県内小学生に対して技術指導を実施（7/30）
- ・シンガポールスポーツインスティテュート職員と高知県スポーツ科学センター職員の意見交換会（8/1,8/2）
- ・シンガポールスポーツインスティテュート職員と高知県スポーツ協会職員の意見交換会（8/6）
- ・シンガポール（卓球）合宿期間中に、日本人対戦相手（十六銀行）が県内小中学生に対して技術指導を実施（8/7）
- ・豪州ソフトボールクイーンズランド合宿期間中に、県内高校チームと練習試合を実施（8/22～9/1）

エ オリンピック・パラリンピック等を契機とした地域の活性化

（1）事前合宿招致活動を通じた取り組み（インフルエンサーを活用した情報発信）

- ①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信
- ・チェコスロバキア男子U19 関係者の SNS による情報発信
- ・チェコ陸上競技リレー選手等の SNS による情報発信
- ・ポーランド陸上競技リレー選手等の SNS による情報発信
- ・四万十・足摺無限大チャレンジライド参加者の SNS による情報発信
- ・オランダのサイクリング雑誌における県内自転車イベントの紹介
- ・シンガポール水泳及びバドミントン選手等の SNS による情報発信
- ・シンガポールメディアによるシンガポール事前合宿の取材と本国での情報発信
- ・シンガポールスポーツスクール関係者の SNS による情報発信
- ・豪州ソフトボールクイーンズランド関係者の SNS による情報発信
- ・国際ビジネスコミュニケーション協会公式 HP における情報発信
- ・高知工科大学公式 HP における除法発信
- （2）ホストタウンの取り組み等を通じた継続的な交流
- ①スポーツ交流（海外トップ選手等の地域スポーツイベントへの参加）
- ・シンガポール事務所による関係者への聞き取り（5/13）
- ②文化交流
- ・「よさこい高知賞」受賞者の来県による文化交流（7/10～7/12）
- ③聖火リレーの取組
- ・東京 2020 オリンピック聖火リレー市町村担当者説明会（4/12）
- ・第 3 回東京 2020 オリンピック聖火リレー高知県ランナー検討委員会（4/26）
- ・第 4 回東京 2020 オリンピック聖火リレー高知県実行委員会（5/24）
- ・第 4 回東京 2020 オリンピック聖火リレー高知県ランナー検討委員会（6/12）

2 第 2 期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
オリンピック・パラリンピック等を契機に、県民のスポーツに対する意識が高まり、大会後もスポーツの価値や魅力を通じた活力ある地域づくりが行われている。	-	-	-

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向